令和8年度
第2回国分寺市地域包括支援センター運営協議会　次第

日　時：令和8年8月4日（火）午後2時～午後3時 30 分
場　所：市役所　会議室201

1　開会

事務局より委員の出席状況、配布資料の確認

2　審議事項

（1）　介護予防支援業務　委託先居宅介護支援事業所について

3　報告事項

（1）　令和7年度　地域包括支援センター評価結果の確定について
（2）　令和7年度　基幹的機能業務評価結果の確定について
（3）　地域包括支援センター業務状況報告について
（4）　地域包括支援センター取組状況（全国比較）について

4　その他

5　閉会

【次回開催予定】
第３回：令和８年 11 月 16 日（月）
《時間》午後２時～午後３時 30 分
《会場》市役所　会議室 201

【配付資料一覧】

資料番号	枝番	資料名	配付日
2-1		介護予防支援業務　委託先居宅介護支援事業所一覧	事前配布
2-2		介護予防支援業務報告　令和８年５月	事前配布
2-3		令和７年度地域包括支援センター業務チェック票　結果	事前配布
2-4		令和７年度基幹的機能業務チェック票　結果	事前配付
2-5	①～⑥	地域包括支援センター業務状況報告	事前配付
2-6	①～③	令和６年度地域包括支援センター取組状況(全国比較)について	事前配付
2-7		認知症検診チラシ	当日配付
2-8		あたまの健康チェック会チラシ	当日配付
2-9		令和８年度認知症月間チラシ	当日配付
2-10		高齢者補聴器購入費用の助成チラシ	事前配布
2-11		市民フォーラムチラシ	当日配付
2-12		令和７年度国分寺市地域包括支援センター事業報告	事前配布
2-13		令和８年度国分寺市地域包括支援センター事業計画	事前配付

令和8年度　第2回
地域包括支援センター運営協議会
資料2－1

介護予防支援業務　委託先居宅介護支援事業所一覧

R８.5.31現在

No.	契約包括	契約年月日	居宅介護支援事業者名	住所	事業開始日	他包括契約・契約日						ケアマネ人数	主マネ人数
						もとまち	こいがくぼ	ひかり	ひよし	ほんだ	なみき		
1	なみき	R7.8.1 新規契約	居宅介護支援事業所さくらんぼ小平	小平市	R7.8.1							2	1
2	ひかり	R8.8.18 新規契約	愛の泉居宅介護支援事業	埼玉県加須市水深811-2	H12.4.1							12	5
3	ひかり	R7.10.10 新規契約	ケアプランセンターなごみ	立川市若葉町3-71-15 A-102	R7.8.1							1	1
4	ひかり	R８.2.1 事業所番号変更による再契約	（株）みるくゆ国立駅前ケアプラン受付センター	国立市北1-7-1クレッセント国立ディアナプレイス125Ｂ	R8.2.1							2	1
5	もとまち	R８.4.10 新規契約	ケアプランセンターなごみ	立川市若葉町3-71-15 A-102	R7.8.1			R7.10.10				1	1
6	ひかり	R８.5.1 新規契約	チームエール	立川市若葉町１－９－５	R8.4.1							1	1
7	ひかり	R８.5.14 新規契約	チームエール	立川市若葉町１－９－５	R8.4.1			R8.5.1				1	1

令和8年度　第2回
地域包括支援センター運営協議会
資料2－2

介護予防支援業務報告 令和８年５月

１．認定者数　（全市）

	要支援１	要支援２	計
1号	968	781	1749
2号	11	15	26
総数	979	796	1775

２．更新者数　（全市）

今回結果		前回結果	
支援１	31	支援１	19
		支援２	5
		要介護	7
支援２	31	支援１	3
		支援２	20
		要介護	8
合　計	62	支援１	22
		支援２	25
		要介護	15

介護認定	9	支援１	2
		支援２	7
非該当	0	支援１	0
		支援２	0
未更新	11		

４．委託契約事業者数　（包括別）

	市内	市外	都外	計
もとまち	20	16	3	39
ひかり	20	21	5	46
ひよし	16	11	0	27
こいがくぼ	18	20	2	40
なみき	19	46	5	70
ほんだ	19	38	2	59
合　計	112	152	17	281

（ご参考）	契約事業者 総件数	**120**

３．予防給付・総合事業実績数　（包括別）

	予防給付(介護保険)				総合事業（みなし）				総合事業				合計			
	直営	委託	計	委託率	直営	委託	計	委託率	直営	委託	計	委託率	直営	委託	計	委託率
もとまち	40	56	96	58.3%	0	0	0	0.0%	28	38	66	57.6%	68	94	162	58.0%
こいがくぼ	64	49	113	43.4%	0	0	0	0.0%	40	31	71	43.7%	104	80	184	43.5%
ほんだ	33	82	115	71.3%	0	0	0	0.0%	35	47	82	57.3%	**67**	**129**	197	65.8%
ひよし	33	71	104	68.3%	0	0	0	0.0%	16	41	57	71.9%	49	112	161	69.6%
ひかり	26	89	115	77.4%	0	0	0	0.0%	15	55	70	78.6%	41	144	185	77.8%
なみき	28	52	80	65.0%	0	0	0	0.0%	27	36	63	57.1%	55	88	143	61.5%
合　計	224	399	623	64.0%	0	0	0	0.0%	161	248	409	60.6%	384	647	1032	62.8%

令和8年度　第2回
地域包括支援センター運営協議会
資料2－3

令和7年度　地域包括支援センター　業務チェック票　センター名：もとまち

1　センター記入欄

①独自に取り組んだ項目・特に力を入れた取組

・地域ネットワークづくりにかかわる事業（認知症支援、第二層、介護予防）の担当間の連携。
・小地域ケア会議のテーマである「オートロックマンション」に関わる地域課題について、作業チームを立ち上げ、検討を重ねた。
・はらからの家福祉会との勉強会第3弾を開催し、互いの相互理解を深めた。
・認知症当事者の本人ミーティングを年度初めより準備し、定期開催を目指した。
・本人ミーティング、チームオレンジの後方支援として若年性認知症当事者の講演会を開催した。
・集いの場の後方支援として各グループを訪問し、特に課題のあるグループに関しては訪問回数を増やし、活動の担い手と連絡を重ねた。時には市との間に入り、市からの回答の説明を行った。
・虐待に関わるケースについて、センター内での共有や個別ケース会議の事前の話し合いを意識的に多く持てた。
・ケース対応について、地域のケアマネジャーへ丁寧な対応と引き継ぎをおこなった。
・外部研修の内容を資料回覧だけでなく、意識的にミーティングで共有した。

②地域課題を踏まえ取り組んだこと・特に意識的に取り組んだ地域との関わり

・オートロックマンションに関わる地域課題について、内部活動に参加し住民との交流に繋がった。
・地域まるごと戦略シートのアセスメントにより、南町をターゲットにしたフレイル予防と住民同士の通いの場作り（モルック）に取り組んだ。モルックグループの定期開催に向けた、場所探しや資金面獲得（社協助成金申請）、ちらしの印刷方法（ネット注文）、配布方法(効果的な周知）などを介護予防推進員と話し合いを重ねた。
・チームオレンジの集まりに月1回参加した。また年2回、活動の振り返りの場を持ち今後の活動の方向性について話し合った。
・認知症サポーターステップアップ講座を地域のサービス事業所とタイアップして開催。地域と事業所の認知症支援について相互理解を深めた。
・成年後見制度普及啓発のための講座を開催、新たな参加者を増やすため地域の関心のあるテーマを設定し、参加者が大きく増加した。

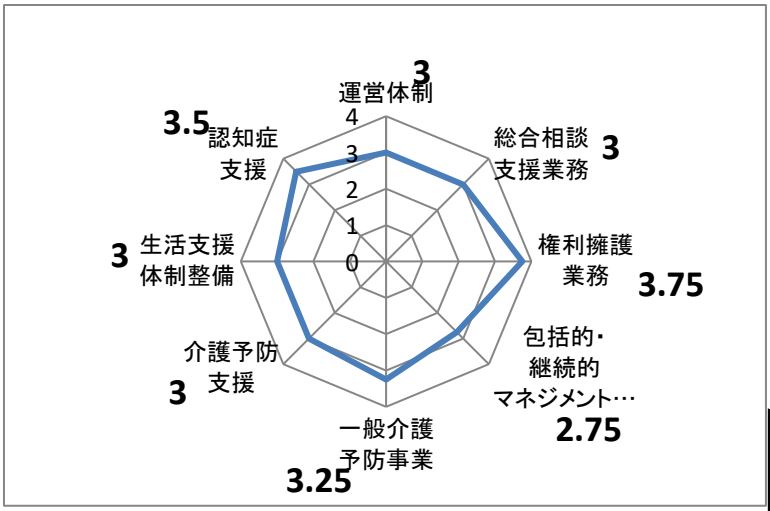
③取組から見えた成果・解決に進んだ課題

・センター内三職種（認知症支援、第二層、介護予防）のミーティングを行ったことにより、重複し合う業務の協力体制、来年度の方針検討が出来、業務の効率化につながった。
・オートロックマンションに関わる地域課題への取組の中で、「地域とのつながりが希薄なマンションがある、緊急対応時の実態が見えない」等の課題を把握できた。また、当初ターゲットにしようとしていたマンションから、先ずは包括の説明を皮切りとして接点を持つことができた。
・モルックグループ継続支援を通じた介護予防推進員、社会資源や多機関との連携ができた。ぶんぶんウオークに参加、社協と協働でカフェでモルックを多世代に周知することができた。
・チームオレンジの内容充実。キャラバンメイトが認知症のミニ講座を毎回開催。また認知症当事者が参加できるよう、メンバーが送り迎えを支援するようになった。
・認知症支援について、R6年度サービス事業所に認知症サポーター養成講座や認知症講演会、チームオレンジなどの参加を促した結果、2事業所3名の職員がキャラバンメイトを取得した。
・認知症支援について、本人ミーティングが9月から定期開催となった。

④次年度取り組みたい項目（事業計画への反映）

・小地域ケア会議についてオートロックマンションに関わる地域課題への取組からの新たなテーマ設定を行う。
・はらからの家福祉会との勉強会を継続的に開催し、相互交流及び理解促進を図る。
・モルックグループの後方支援継続（資金面の自立に向けた支援、効果的な周知方法模索など）。
・認知症当事者とチームオレンジを繋ぐ体制づくりの検討を行う。
・地域まるごと戦略シートにそった、集いの場の立ち上げに向けた説明会について、場所や参加者、開催時期を検討、開催に向けた取り組みを行う。

2　結果



※グラフは各質問項目の平均値にて作成。

平均値	3.16

3　市による確認結果

令和8年3月５日に地域包括支援センターヒアリングを実施。
今年度は、認知症支援・第二層・介護予防等における担当間の連携強化やオートロックマンションに関する地域課題への組織的な検討が進められていることを確認した。
また、認知症関係の取組として、本人ミーティングの立ち上げ準備やチームオレンジへの継続的関与、講演会の開催など、当事者視点を重視した取組が展開されていることは成果に挙げられる。
そのほか、地域課題への対応としては、南町におけるフレイル予防と通いの場としてのモルックの取組について、関係者と調整を重ねながら進めていることを確認した。

4　運営協議会からの意見

5月15日開かれた、第1回国分寺市地域包括支援センター運営協議会において確認。
自己評価結果に相違なし。
はらからの家福祉会と連携し、障害に関する勉強会を継続的に実施していることは評価できる。今後、さらなる障害に対する相互交流及び理解促進への取組みに期待する。

5　市による総評

市の事業実施方針に基づき、円滑な事業実施ができている。東地区のリーダーセンターとして会議の運営・調整を行うほか、地域ネットワークを活かしながら中心的な役割を担っている。認知症当事者本人ミーティングやモルックグループへの後方支援など、地域実情に即したネットワーク構築の更なる推進を期待する。

令和7年度　地域包括支援センター　業務チェック票　センター名：こいがくぼ

1　センター記入欄

①独自に取り組んだ項目・特に力を入れた取組

・個別支援における対応力向上のため、支援終結ケースの振り返りミーティングを年6回実施し、支援内容の評価を行った。今年度は多職種連携、安否確認対応、虐待対応等を振り返った。
・あらためて介護保険を学ぶ場を設けた。転居や住所地特例での留意点、緊急対応で必要となるショートステイ等について、包括内勉強会で共有した。
・デイサービス相談員とケアマネジャーとの交流会を開催し、連携の土台となる関係づくりと相互理解に取り組んだ。
・認知症サポーター養成講座では、当事者が話す動画を視聴する等、当事者の視点を重点的に発信した。認知症サポーターステップアップ講座では、認知症のある方の意思決定支援について理解を深めた。
・キャラバンメイト、民間の飲食店、包括が協力して運営するおれんじカフェを拠点として、当事者を含む地域の方の社会参加を推進するチームオレンジ活動（カフェへのお誘い、送迎の支援等）を実施した。包括は、カフェでのプログラム作りや地域への広報等を支援した。

②地域課題を踏まえ取り組んだこと・特に意識的に取り組んだ地域との関わり

・地域のケアマネジャーからの相談ケースにおいて、必要な関係機関を招集して個別支援会議を開催し、課題を検討した。今年度は金銭面や権利擁護の課題を含むケースが多かった。その状況もふまえ、小地域ケア会議では独居高齢者の権利擁護、特に身元保証における課題を検討した。
・地域活動団体の代表者、民生委員、ケアマネジャー、介護サービス事業所等に声をかけて地域懇談会を開催し、小地域ケア会議で検討した課題を共有した。
・介護予防推進員や認知症サポーター等、地域の様々な支え手が分野の垣根なく活動できるよう、介護予防関連や認知症関連の講座において相互に参加を呼びかけた。
・消費者被害防止のため、ケアマネジャーや介護サービス事業所に向けて啓発チラシ等の情報を定期的に発信した。また、地域住民が参加する各種講座や懇談会等でも啓発チラシを配布し、最新情報の周知に努めた。
・介護予防に取り組む団体（集いの場、通いの場等）を訪問して、活動内容の相談や参加者の希望に応じた出張講座の実施など、活動継続の支援を行った。

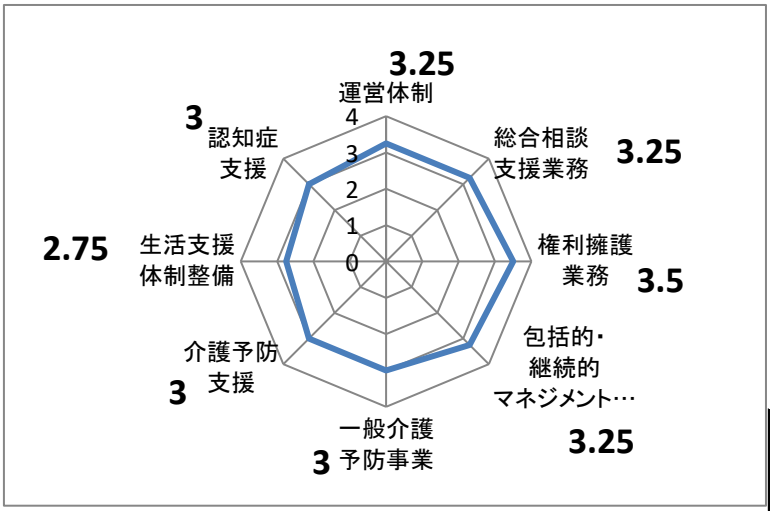
③取組から見えた成果・解決に進んだ課題

・振り返りミーティングでは、支援過程を振り返って担当職員を労い、包括全体で達成感を共有できた。また、今後の支援につながる課題を共有することにより、包括全体の対応力が向上した。
・介護保険の包括内勉強会では、留意点や疑問などを職員が分担して自分で調べ、それを共有することにより、主体的な学びができた。
・デイサービス相談員とケアマネジャーとの交流会では、互いの業務内容や課題等を共有し、連携の土台となる関係づくりができた。包括としても社会資源を把握する貴重な機会となった。
・個別支援会議、小地域ケア会議、地域懇談会を通して、権利擁護や身元保証の課題について包括職員の理解も深まり、それを日々の総合相談や支援に活かすことができた。
・地域の様々な支え手を、分野の垣根なく多様な講座等にお誘いし、そこで有益な情報を提供したことにより、その方々が包括の活動に繰り返し参加してくれるようになってきた。
・おれんじカフェを拠点としたチームオレンジ活動と認知症サポーター養成講座や認知症サポーターステップアップ講座とが連動して、キャラバン・メイトとの協働によるチームオレンジの活動基盤が整備できた。

④次年度取り組みたい項目（事業計画への反映）

・内部勉強会やミーティング等を通して、引き続き包括職員としての対応力向上に取り組む。
・自治会、老人クラブ、集いの場、通いの場等、既存の地域活動団体への出張講座（介護予防、認知症予防、消費者被害防止等）を積極的に働きかけていく。
・コロナ禍以降、実施回数を減らして開催していた各種講座をコロナ禍以前の水準に戻し、地域住民との交流機会を増やす。
・住民同士のつながりが希薄で閉じこもり高齢者の多い地域において、自治会等と協力して新たな集いの場の立ち上げを目指す。
・地域向け、学校や企業向けの認知症サポーター養成講座を実施し、「新しい認知症観」の普及に取り組む。
・チームオレンジにおいて、引き続き包括もチームの一員としてチームメンバーの意向や意欲を大切にしながら、活動の更なる発展を目指して支援していく。

2　結果



※グラフは各質問項目の平均値にて作成。

平均値	3.13

3　市による確認結果

令和8年3月10日に地域包括支援センターヒアリングを実施。
今年度は、ケースの振り返りや包括内研修の実施により、ケースの対応力向上に取り組んでいることを確認した。また、デイサービス相談員とケアマネジャーとの交流会等を通じ、関係機関との連携強化と相互理解の促進が図られている。
認知症施策においては、当事者視点を取り入れた講座の実施や、おれんじカフェを拠点としたチームオレンジ活動への支援などに取り組んでいた。
また、消費者被害防止に関する継続的な啓発や、通いの場への訪問支援等を通じて、最新情報の周知に努め地域活動の維持・活性化に貢献していることを把握した。

4　運営協議会からの意見

5月15日開かれた、第1回国分寺市地域包括支援センター運営協議会において確認。
自己評価結果に相違なし。

5　市による総評

市の事業実施方針に基づき、円滑な事業実施ができている。
職員が分担して行う包括内研修で研修体制が強化され、キャラバンメイトとの協働によりチームオレンジの活動基盤が整備された点は評価できる。今後は、住民同士のつながりが希薄な地域で自治会等と連携し、新たな集いの場を創出して、地域社会の結びつきが深まることを期待したい。

令和7年度　地域包括支援センター　業務チェック票　センター名：ほんだ

1　センター記入欄

①独自に取り組んだ項目・特に力を入れた取組

・介護支援専門員の業務負担軽減を目指し、個別支援会議などで意見交換した内容を踏まえ、ケアプラン以外の課題を確認し、役割分担を行い他機関へも支援の輪を広げた。
・民生委員連絡会で課題を抱える地域住民へのアプローチや支援方法について、共有できた。
・ケアマネジャー連絡会で、「消費者被害の連絡先が分からない・知りたい」というニーズを把握した為、今後の周知内容や方法を検討した。
・多世代交流と地域住民のつながりづくりを目的としたイベント（ふらっとけやき公園）に、実行委員として参加。公園会場予約が、スムーズに行えるよう行政側への橋渡しを担い、つながっていなかった地域資源（法人）を紹介するなどの仲介役を担った。当日は、500人以上が参加した。
・介護予防推進員連絡会や介護予防教室のアンケートから導いた地域のニーズを介護予防教室に盛り込んで実施した。
・認知症支援に興味があり、包括事業にも参加いただけるような方を探し、キャラバン・メイト養成講座への参加案内をした。5名のキャラバンメイトが誕生した。

②地域課題を踏まえ取り組んだこと・特に意識的に取り組んだ地域との関わり

・介護支援専門員が利用者本人の強みを生かせるケアプラン作成に注力できるよう、介護支援専門員に入る複雑な相談やその課題を分類・整理し、解決に向けともに検討した。
・民生委員からの情報を積極的に聞く機会が減っている為、民生委員連絡会を活用し、顔の見える関係を構築した。
・包括広報誌で消費者被害を取り上げ、相談先を明記したチラシを配布した。また「もしもの時の相談先」を関係機関に情報提供した。
・地域イベント（ふらっとけやき公園）のブースでは「高齢になっても住みやすい街ってどんな街」をテーマに、若い世代を中心に地域包括支援センターの周知を行った。
・包括開催の教室事業に講師の役割を民生委員に担っていただいた。
・認知症サポーター養成講座に、認知症基本法の「新しい認知症観」を盛り込んで実施した。アンケートに「新しい認知症観」の記載があり、伝えたい内容を受け取ってもらえた。

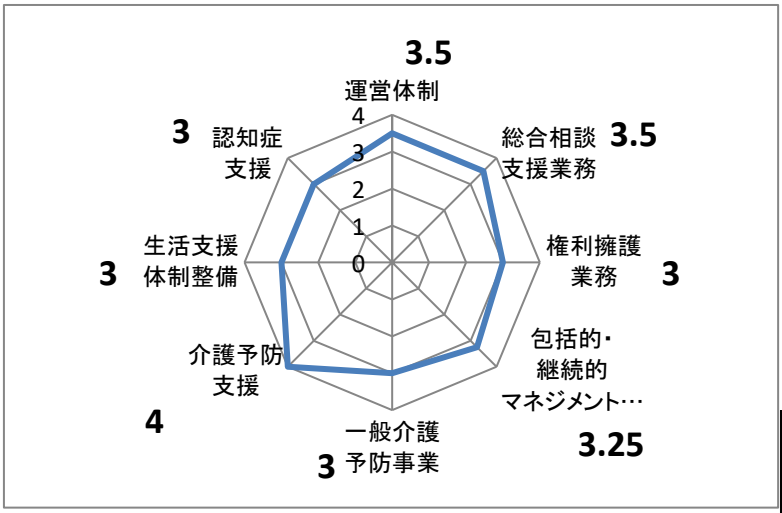
③取組から見えた成果・解決に進んだ課題

・介護支援専門員が安心してケアマネジメント業務に専念できるように、課題調整の役割を包括が担った。個別支援会議等を活用して他分野(障害等)との役割分担を明確にすることで、チームで支援方針を共有し、支援者の負担軽減につなげた。
・地域イベント（ふらっとけやき公園）は、有志で集まった実行委員が先導し、住民主導のイベントとして開催できた。また、地域包括支援センターの周知という点で、一定程度の成果が得られた。
・介護予防教室事業では、民生委員に講師に招いたことで、地域の課題や情報発信についての協力関係が深まった。
・消費者被害の相談先が、他機関で共有できていない為、だれでも専門部署につなげられるツールが必要である。
・若い世代から自分の身体の変化や将来像を予測して介護予防について、知ってもらいたいが、普及啓発には難しさがある。

④次年度取り組みたい項目（事業計画への反映）

・地域イベント（ふらっとけやき公園）は、実行委員のチーム力が、更に醸成され、確固たるものとなった。次年度は、住民主体の活動へと完全移行としたい。
・集いの場の説明会について、ターゲットを絞り込み開催いたしたい。地域の活動ができる拠点となるような場所探しと介護予防の必要性を醸成できるような地盤づくりを検討したい。
・介護支援専門員から相談があったら、利用者の強みを活かした支援やケアプランが立てられるよう意識して対応していきたい。
・警察からの相談や確認等連絡が増えてきた。今後に向けて、スムーズな連絡調整のために、警察との勉強会の必要性を感じた。

2　結果



※グラフは各質問項目の平均値にて作成。

平均値	3.28

3　市による確認結果

令和8年3月10日に地域包括支援センターヒアリングを実施。
今年度は、個別支援会議等を通じた課題整理と役割分担により、関係機関との連携強化およびケアマネジャー支援に取り組んでいた。
また、民生委員やケアマネジャーとの連絡会を通じた地域課題の把握や、多世代交流イベントへの参画による地域のつながりづくりが進められていることは成果と考えられる。
認知症施策では、キャラバン・メイトの養成や講座の工夫により、普及啓発と担い手育成が図られていることを確認した。

4　運営協議会からの意見

5月15日開かれた、第1回国分寺市地域包括支援センター運営協議会において確認。
自己評価結果に相違なし。
イベント「ふらっとけやき公園」は幅広い世代が交流でき、地域づくりの取組みとして高く評価できる。
今後は、住民が自ら企画・運営できるよう、企画支援や情報提供等の働きかけを期待したい。

5　市による総評

市の事業実施方針に基づき、円滑な事業実施ができている。
ケアマネジャーとの課題調整により業務負担を軽減、若年層を中心に包括支援センターの認知度向上を実現空いたことは評価できる。今後はケアマネジャーへの支援体制をさらに強化し、全世代への周知活動を拡充するとともに、地域連携の深化を図っていくことを期待する。

令和7年度　地域包括支援センター　業務チェック票　センター名：なみき

1　センター記入欄

①独自に取り組んだ項目・特に力を入れた取組

・年6回、多様な内容でセンター内部勉強会を開催。
・地域のケアマネジャーからの相談をデータで積み上げる仕組みを構築。
・従前相当サービス利用までのフローチャート、ツールを作成。
・プランナーが委託ケースの提出物チェックリストを作成、管理できる仕組みを構築。
・窓口業務時間においてAM・PMの留守番制の仕組みを導入。
・隔月でサービス未利用者の抽出を行い、状況把握に努めた。
・地域のまつりへの出展時や総合相談時に、本人の活動性、意欲等に着目し、介護予防の視点で資源の提案を行った。(集いの場、サービスC、マシン筋トレ等)
・キャラバン・メイト養成講座受講対象者をセンター内で抽出し一人ずつ声掛けした。
・キャラバン・メイト連絡会の開催タイミングを工夫し多くの市民メイトが参加できるよう配慮した。
・ステップアップ講座のチラシ作成・内容決めから市民メイトと連携、実施。
・認知症当事者ミーティングの後方支援。認知症当事者・家族への参加勧奨を行った。
・サービス事業所等の資源情報を種別にファイリングし環境を整えた。

②地域課題を踏まえ取り組んだこと・特に意識的に取り組んだ地域との関わり

・介護予防教室の機会を活用し、地域で活動している方、介護予防に興味のある方が互いに情報交換し、交流・懇談できる場を作った。
・フレイル予防・集いの場に関する広報紙を作成し、活動場所が少ない富士本1～2丁目へ全戸配布。同エリアの店舗・事業所には地域づくりへの協力を働きかける資料を作成し配布した。
・公民館まつりで介護予防に取り組む活動団体のパネル紹介と10の筋力トレーニング体験会を実施。
・来年度の公民館改修工事で活動場所がなくなる団体の悩みを受け止め、場所探し等の後方支援に着手した。
・居宅空き状況をホワイトボードで可視化。
・詐欺被害防止、対応力向上に向けた支援者向けツール「こくぶんじ版もしものときの私のおまもり」を小地域ケア会議で検討・作成、現在試行している。
・消費者被害防止講座を前面に打ち出さず、「暮らしの勉強会」と称した家の管理を学ぶ場として被害防止を広報した。(持ち家が多い地域性を考慮)

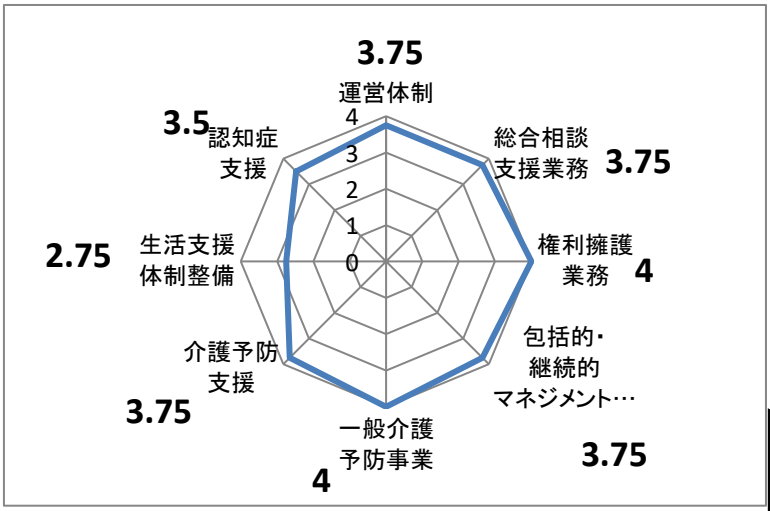
③取組から見えた成果・解決に進んだ課題

・内部勉強会で、職員が共有、意見交換を重ねることでチームの支援力向上に繋がっている。
・居宅の空き状況を可視化することで、ケース依頼の時間短縮に繋がっている。
・留守番制により窓口対応とその他の時間が明確になりスケジュール管理の意識が向上した。
・資源情報を見やすく管理することで総合相談での活用がスムーズになった。
・介護予防教室参加者同士の懇談会でセルフマネジメントの意識が高まった。
・認知症サポーター養成講座で働きかけた結果、新たに4人がキャラバン・メイトとなった。新たなメンバーも出席したキャラバン・メイト連絡会では、改めてチームオレンジの共通認識を持つ機会になった。
・市民メイトがチラシ作り、集客、講師等、特技を生かして認知症関連講座に参画できている。
・「こくぶんじ版もしものときの私のおまもり」の普及啓発をする中で興味関心を向けてくれる支援機関の存在を認識できた。
・自宅の管理を学びたい「暮らしの勉強会」参加者にも自然な形で消費者被害・詐欺等の注意喚起をすることができた。

④次年度取り組みたい項目(事業計画への反映)

・公民館の改修工事に伴う地域活動の縮小・中断が最小限に留まるよう後方支援に努める。
・悪質商法から高齢者を守るためにできることを関係機関、民生児童委員等と検討し続ける。
・「こくぶんじ版もしものときの私のおまもり」の普及啓発と当事者への被害防止啓発を進める。
・地域のケアマネジャーから寄せられた相談・ニーズを集計し、定期的にケアマネジャーへフィードバックする。
・集いの場体験説明会を開催し、介護予防・フレイル予防の啓発に努める。
・委託ケースの提出物管理を全職員で行う。
・家族介護者交流会を参加者のニーズに沿った内容で開催し、参加メンバーの定着を目指す。
・認知症サポーターステップアップ講座等の開催をキャラバン・メイトと協働して行い、チームオレンジ立ち上げに向けた取組を継続する。

2　結果



※グラフは各質問項目の平均値にて作成。

平均値	3.66

3　市による確認結果

令和8年3月４日に地域包括支援センターヒアリングを実施。
詐欺被害防止、対応力向上に向けた支援者向けツール「こくぶんじ版もしものときの私のおまもり」を小地域ケア会議で検討・作成をし、関係機関へ試験的に活用を依頼、またアンケートを実施し、活用に向けての分析をするなど、PDCAも意識した取組は成果に挙げられる。
また、フレイル予防・集いの場に関する広報紙を作成し、活動場所が少ない地域への全戸配布、店舗・事業所へ地域づくりへの協力を働きかける取組を確認した。
また、包括内では勉強会を実施し、高齢福祉分野以外の知識の習得や職員同士でアウトプットすることによるスキルアップ等、問題解決促進につながっていることを確認した。

4　運営協議会からの意見

5月15日開かれた、第1回国分寺市地域包括支援センター運営協議会において確認。
自己評価結果に相違なし。

5　市による総評

市の事業実施方針に基づき、円滑な事業実施ができている。また、西地区のリーダーセンターとして会議の運営・調整を行うほか、地域ネットワークを活かしながら中心的な役割を担っている。
「こくぶんじ版もしものときの私のおまもり」の普及啓発や、認知症支援の取り組みの継続が評価できる。相談データを活用して地域課題を把握し、関係機関と連携しながら、より具体的な解決策を検討・実行することが期待される。

令和7年度　地域包括支援センター　業務チェック票　センター名：ひよし

1　センター記入欄

①独自に取り組んだ項目・特に力を入れた取組

・ひよし新聞を全戸配布し（老人クラブや自治会等地域の団体にも配布）健康管理についての啓発、消費者被害、詐欺被害の情報や対応についての周知、地域の活動の紹介等を行った。
・今年度から、Caféらくだのつぶやきの活動をうれしのの里で行うにあたり、ひよしエリアの市民キャラバン・メイトと相談し、講座を数回開催し周知することができた。
・地域資源について全職員で共有し、要支援の利用者や総合相談の利用者からのニーズがあった際に、紹介できるようにした。
・居宅介護支援事業所に向けて、消費者被害、詐欺被害のパンフレットを配布し、相談について周知した。
・内藤ひよしシニアサロンの講義にて、フレイル予防について使いやすい缶詰等を用いて、タンパク質の摂取量を具体的に伝え、イメージを持ちやすいように工夫した。

②地域課題を踏まえ取り組んだこと・特に意識的に取り組んだ地域との関わり

・集いの場への参加人数減少の声を受け、声掛けや参加募集のチラシについて住民の方々と相談しながら作成した。
・日吉町に集いの場がなかったので、新たな集いの場を立ち上げた。
・小地域ケア会議において、地域課題である移動について市の現状を知った上で、地域に必要な移動について話し合う場を設定した。
・福祉センターまつりに参加し、民生委員、地域の方の協力を得て、子供たちが遊べる場を設定することができた。
・Caféらくだのつぶやきでは、市民キャラバン・メイトとともに、どうすれば会が充実した内容になるかを検討した。
・民生委員との連携強化、顔の見える関係づくりのため、地域懇談会を開催し、地域の状況について共有した。

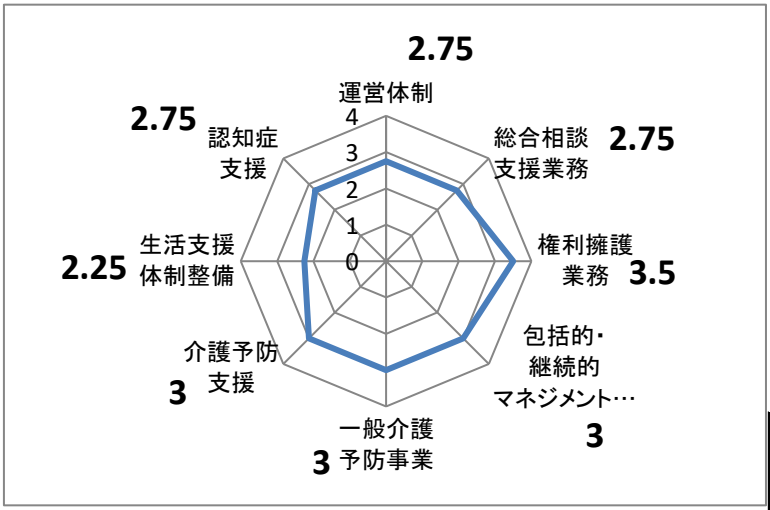
③取組から見えた成果・解決に進んだ課題

・日吉町に集いの場が立ち上がったことにより、近くに通える地域資源の1つとなり、活動に参加できる人が増えた。
・内藤、日吉町、戸倉に集いの場ができたことにより、参加の声掛けを行うと、興味関心を持ってもらえることができ、参加に繋げることができた。
・Caféらくだのつぶやきに関心を持っていただくために、講座を開催したことにより、参加する方が増えた。
・ひよし新聞を配布することにより、包括への相談や問い合わせが増加し、消費者被害についても関心を持った方からの連絡があり、周知を深めることができた。
・小地域ケア会議では、市の他課とも連携し、顔の見える関係ができた。
・福祉センターまつりでは、多世代が参加できる場をつくったことで、若い世代へも包括ひよしの活動を周知することができた。

④次年度取り組みたい項目（事業計画への反映）

・地域資源の活用を広げるために、地域へのひよし新聞の配布を継続する。
・居宅介護支援事業所やサービス事業所に向けてのお便りを配布し、ひよしエリアの特色や地域資源について紹介することを検討する。
・ケアマネジャーの支援を適切に行うための個別支援会議の活用について、居宅介護支援事業所へ周知を行う。
・認知症の方への理解を深める場として、認知症サポーター養成講座の開催を地域やエリアの小・中学校へ働きかける。
・Caféらくだのつぶやきの取組に携わってくれる方が増えるよう、地域へ認知症サポーター養成講座の開催を働きかけていく。
・当事者を含めた参加者が増えるようCaféらくだのつぶやきの後方支援を行う。
・地域課題を地域の方や関係者と考える場として地域懇談会等を開催について、調整や検討を進める。

2　結果



※グラフは各質問項目の平均値にて作成。

平均値	2.88

3　市による確認結果

令和8年3月４日に地域包括支援センターヒアリングを実施。
地域づくりにおいては、介護予防推進員と連携し、集いの場説明会の開催を通じて地域の現状と課題を話合い、新規の集いの場が立ち上がった事は評価に挙げられる。
職員体制の変更もあり、リーダー・サブリーダーのミーティングを開催し、問題解決に向けた意見意見交換、情報共有による認識の統一を強化し、よりよい環境作りに務めた取組を確認した。
また、ひよし新聞を発行を通じて、より多くの市民に地域包括支援センターひよしを周知し、相談のきっかけになったほか、地域の情報を発信することで新たなつながりとなっていることを確認した。

4　運営協議会からの意見

5月15日開かれた、第1回国分寺市地域包括支援センター運営協議会において確認。
自己評価結果に相違なし。

5　市による総評

市の事業実施方針に基づき、円滑な事業実施ができている。
ひよし新聞の全戸配布による相談件数が増加、住民参加型の場の創設による交流と地域連携が活性化したことは評価できる。次年度は、認知症サポーター講座を小学校・中学校で実施することを検討しており、これにより認知症への理解が深まるだけでなく、地域全体での連携が活性化につながることを期待したい。

令和7年度　地域包括支援センター　業務チェック票　センター名：ひかり

1　センター記入欄

①独自に取り組んだ項目・特に力を入れた取組

・地域づくり推進の一環として、消費者被害・詐欺被害防止のため、人が集う場所での日常的な情報提供や、講座開催など、市民への周知をおこなった。
・支援困難ケースが増加していることから、各関係機関の会議体への出席や地域包括支援センターで個別支援会議を開催するなど、これまで以上に広く連携・協働をすすめ問題解決に努めた。
・各職種が連動する地域包括支援センター目指し、上半期の振り返りを実施した。
・新たな活動場所の創設へ向け、現在地域活動が少ないエリアや介護予防教室において、アンケート調査やインタビューをおこない、個人の特技や経験など、得意なことが日々の”いきがい・やりがい”につながる地域活動の創設をすすめた。
・総合相談のアセスメントや、地域のキーマンとのつながりから、地域活動へのマッチングを積極的におこなった。
・集いの場の支え手交流会を開催し、担当エリアに9か所ある各グループの状況や課題、地域全体の課題を共有し、活動の目的を再確認することで継続への意欲向上に向けて取り組んだ。

②地域課題を踏まえ取り組んだこと・特に意識的に取り組んだ地域との関わり

・消費者被害や詐欺被害の不安から、固定電話を引かない世帯が増えていることを踏まえ、スマートフォンでの詐欺被害防止に焦点をあて、消費者被害防止講座を開催したり、訪問時には個別に情報提供・注意喚起を意識的におこなった。
・総合相談では、虐待対応事例の増加にともない警察署との関わりが増えため、ふれあいポリスと連携し刑法を学ぶ機会を設けた。
・これまで繋がった地域活動の担い手との関係性を維持・強化する中で、地域のキーマンと協働し、男性の居場所づくりなど、孤独・孤立予防を目的とした地域活動の更なる拡大を図った。
・既存の集いの場の、高齢化などにともなう参加者減少に対し、10の筋力トレ―ニングの周知と、地域の介護予防推進員の協働により、活動が存続できるよう支援した。
・チームオレンジの活動を視野に入れ、「認知症の人とともに考える」というテーマで当事者を招いた認知症サポーターステップアップ講座を開催した。

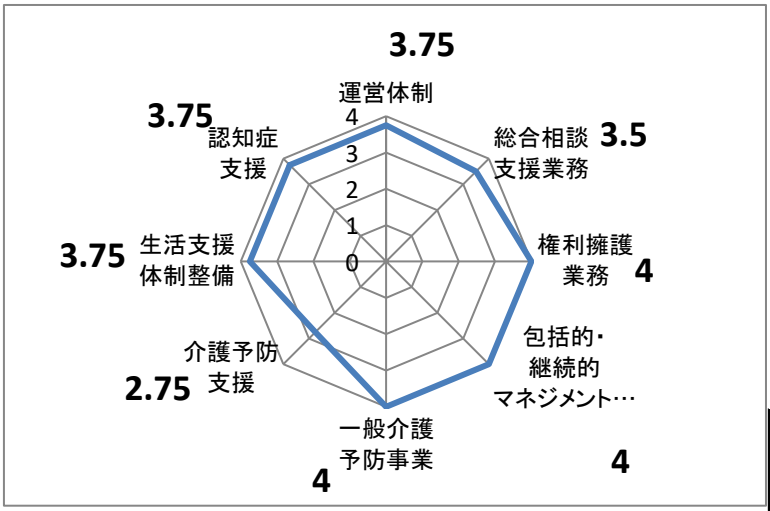
③取組から見えた成果・解決に進んだ課題

・新たに2か所の通いの場が創設され、既存の通いの場と、担い手同士の横のつながりができ、住民主体で活動を継続していくための基盤が強化された。
・近隣に地域活動の場が増えたことで、地域住民の交流や支え合いが生まれ、更には個人の興味・関心・得意なことを活かせる地域づくりをすすめることができた。
・集いの場や通いの場において、総合相談や地域のキーマンとの連携で、地道な声かけをおこなった結果、参加者の拡大につながった。
・市内一か所目となる認知症当事者会を継続支援し、他エリアからも参加者が加わるなど、活動の広がりがみられた。
・上半期の振り返りでは、職員の活動を意識的に見える化することで、各職種の事業を連動させ、総合相談のケース対応と、介護予防支援、地域づくり支援をバランス良く推進することができた。

④次年度取り組みたい項目（事業計画への反映）

・一人暮らしや身寄りのない高齢者の増加が見込まれるため、成年後見制度を市民や関係機関などへ周知すすめる。
・複雑化・複合化した課題のある支援困難ケースに対応していくため、他機関との連携と様々な会議体の活用で支援方針の検討をおこなっていく。
・高齢者のスマートフォン活用支援、居場所としてのスマホ相談室の創設など、時代に即した情報発信力と受信力を高め、孤立・孤独予防を推進していく。
・地域の誰もが参加しやすい集いの場を目指して、立ち上げ支援と継続支援をおこなう。
・認知症になっても自分らしく暮らし続けることができる町づくりに向け、今年度相談が多かった銀行や郵便局、コンビニエンスストアなどと連携ができるよう普及啓発をすすめる。
・『利用者が役割や生きがいを持ちながら生活できる自立支援』をテーマに事例検討をおこない、介護予防プランへ反映させていく。

2　結果



※グラフは各質問項目の平均値にて作成。

平均値	3.69

3　市による確認結果

令和8年3月５日に地域包括支援センターヒアリングを実施。
地域づくりとして、地域活動が少ないエリアや介護予防教室において、アンケート調査やインタビューを行い、分析したこと、関わった協議体への継続支援やこまめな顔出し等の丁寧な取組は成果に挙げられる。
認知症支援では、講座修了者から意見を聞き、認知症サポーターステップアップ講座にて当事者を交えた講座を開催し、より共生や予防を意識した取組をしたことを確認した。
相談業務においては、対人支援能力の向上および職員全員のケース把握を目的に、個別支援会議等の終了後に全員で振返りを実施し、状況や方針を整理していることを確認した。

4　運営協議会からの意見

5月15日開かれた、第1回国分寺市地域包括支援センター運営協議会において確認。
自己評価結果に相違なし。
地域のキーマンとの連携があったことで、「おとこの台所」等の居場所提供が実現したことは評価できる。世代を超えて利用できる拠点を増やし、地域の人々や団体がさらに一緒に活動できるようになる

5　市による総評

市の事業実施方針に基づき、円滑な事業実施ができている。
警察との虐待防止研修や、銀行・郵便局・コンビニ等との情報共有で、複合的課題に対する横断的ネットワークが形成されたことは評価できる。認知症高齢者の日常生活の「身近な拠点」と連携を図り、地域における認知症サポートの充実に期待したい。

令和8年度　第2回
地域包括支援センター運営協議会
資料2－4

令和7年度　基幹的機能業務チェック票（センター支援業務）

1　高齢福祉課　記入欄

①基幹的機能業務（センター支援業務）として，特に力を入れた取り組み

・センターの安定的な運営の確保のため、窓口開設時間の見直しに取り組んだ。
・管理者向けケアマネジメント研修では、センター業務の円滑化をテーマに実施した。
・効果的なセンター運営のため、「要約力」をテーマに研修を開催した。
・複合的な課題を抱えるケースでは可能な限りセンター支援担当が訪問や会議に参加をし、現状の把握とアセスメントに努めた。
・虐待ケースや複雑化ケース等については、センターと個別検討の場を設けたほか、必要に応じアドバイザーの助言を踏まえて支援方針を整理し、安心して対応できる体制づくりに努めた。
・市内の認知症カフェやチームオレンジなど地域で集える場の情報を集約したマップを認知症地域支援推進員とともに作成した。
・活動場所がないという課題について、国分寺市介護保険事業所連絡会登録事業所等に場所貸しのアンケートを実施した。
・サービスC事業への理解を深めるため、介護予防部会において事例を取り上げ、支援内容やアプローチの工夫等について共有する場を設けた。

②基幹的機能業務（センター支援業務）に関して把握している課題

・ケース支援の長期化等によりセンターの業務量が増加しているため、引き続き業務内容を見直し、簡素化や効率化できるものがないか整理していく必要がある。
・記録や帳票に必要な内容を精査し、わかりやすくまとめるためのスキルが必要。
・センター支援担当について、2人体制を生かした効果的な支援に向けた役割分担や体制づくりを進める必要がある。
・認知症サポーターステップアップ講座やキャラバン・メイト連絡会について、より効果的な企画となるよう検討する必要がある。
・小地域ケア会議を含めた地域ケア会議体系について、今期までの取組の振り返りとセンターからの意見集約等を行い、来期に向けて見直しの検討が必要。

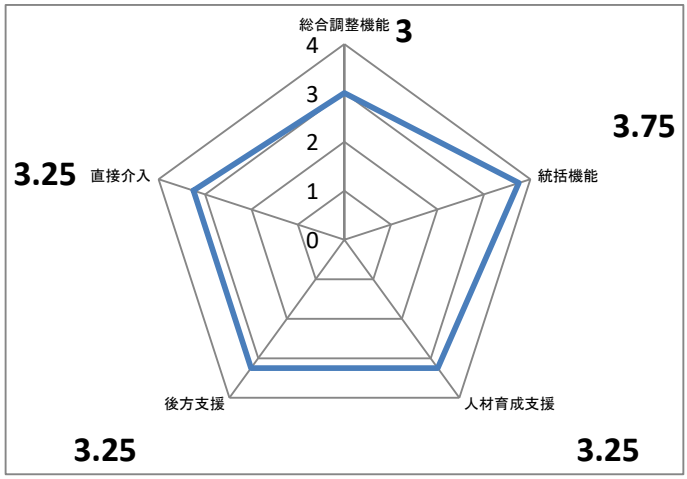
③課題に対する取組及び成果進捗

・負担軽減策の効果、影響をヒアリングで聴取し、センターの業務負担軽減に寄与できていること、負担軽減策等によってセンターの運営に特に影響がないことがわかった。
・「要約力」の研修等を踏まえ、ポイントを絞ったコミュニケーション、時間管理を意識して取り組んだ。
・ケース対応の支援について、同行訪問やケース会議等を通じてケースの理解に努めるとともに、センター職員のエンパワメント、センターと同じ目線でケースをとらえ、意見交換することを心がけた。
・ステップアップ講座は、東西の圏域ごとでの開催も可能とし、圏域ごとに認知症地域支援推進員が連携して企画・開催できるような見直しを行った。
・来期の小地域ケア会議を含めた地域ケア会議体系について、事務局の考えをセンターへ説明、意見聴取を行った。

④次年度取り組みたい項目

・センター業務が促進されるような研修の企画、実施。
・虐待対応や複合的課題を抱えるケースについて、センター支援担当とセンターで振り返る機会を意識的に設けることで、対応力の向上に取り組む。
・センター支援担当がその役割やスキルアップを目指し、研修や会議に積極的に参加する。
・市職員が担当以外の業務の理解を深め、事業推進に向けた意見交換ができるような意識を醸成、メリハリある事業運営を目指す。合わせて、業務全体を俯瞰的に見ることで、引き続き業務内容の効率化や簡素化に取り組む。
・各エリアにおける、チームオレンジにつながる活動の継続支援。
・来期以降の地域ケア会議体系の整理や見直しに向けた協議。

2　結果



※グラフは各質問項目の平均値にて作成。

ア　＝　4点
イ　＝　3点
ウ　＝　2点
エ　＝　1点

平均値	3.30

3　地域包括支援センターからの意見

・窓口開設時間の見直し・変更により、勤務体制が安定し業務が遂行しやすくなった。センターの業務量が増加する中、引き続き業務負担軽減にともに取り組んでいきたい。
・虐待対応、複合的な課題を抱えたケース等の対応において、いつも適切な助言をいただいており大変心強い。必要に応じて対面などの相談も引き続きお願いしたい。
・介護予防支援と介護予防マネジメントが包括の大きな負担となっている。ケアプラン業務の省力化に向け、さらに踏み込んだ取組を期待する。
・組織改革後も、これまで行政と包括とで作り上げてきた信頼関係等が維持されることを期待する。またケース対応では、庁内連携、アドバイザー調整等、センターのバックアップ体制を維持してほしい。

4　運営協議会からの意見

5月15日開かれた、第1回国分寺市地域包括支援センター運営協議会において確認。
自己評価結果に相違なし。

令和8年度　第2回
地域包括支援センター運営協議会
資料2－5　①

令和8年度　センター業務状況報告　〔　8　〕月報告分

◇センター名　〔 地域包括支援センターもとまち 〕　7月31日現在

1　介護予防ケアマネジメント業務　6　月実績

●予防給付，介護予防・日常生活支援総合事業実績数

給付実績	174	件	
直営	77	件	（ 44.3 ） %
委託	97	件	（ 55.7 ） %

2　総合相談支援　6　月実績

●相談件数　285 件

新規　17 件

●主な相談内容（上位3位）

①介護保険サービス（167件）
②保健・医療サービス（100件）
③権利擁護（33件）

●特記事項

権利擁護に関わるような支援が必要なクライアントについて、動いてくださる親族がいる場合でも海外、国内でも遠方などのケースが増えている。つなぎ役としてのケアマネジャーや包括の役割は大きい。

3　会議・講座・教室等開催状況　7　月実績

7月14日　（火）　認知症サポーター養成講座(みずほ銀行 国分寺支店 参加者12名)
7月24日　（金）　小地域ケア会議(参加者20名)

4　地域活動参加状況　7　月実績

7月11日　（土）　もとまち地域会議
7月14日　（火）　もとまち地域会議 防災シンポジウム打ち合わせ
7月17日　（金）　ぶんぶんモルック
7月18日　（土）　チームオレンジえん

5　今後の予定　8・9　月予定

8月15日　（土）　チームオレンジえん
8月21日　（金）　ぶんぶんモルック
9月19日　（土）　チームオレンジえん

6　その他　業務全般

作成：国分寺市福祉部地域包括ケア課

令和8年度　第2回
地域包括支援センター運営協議会
資料2－5　②

令和8年度　センター業務状況報告　〔　8　〕月報告分

◇センター名　〔 地域包括支援センターこいがくぼ 〕　7月31日現在

1　介護予防ケアマネジメント業務　6　月実績

●予防給付，介護予防・日常生活支援総合事業実績数

給付実績	185	件		
直営	108	件	（ 58.4 ）	%
委託	77	件	（ 41.6 ）	%

2　総合相談支援　6　月実績

●相談件数　231 件

新規　15 件

●主な相談内容（上位3位）

①介護保険サービス（151件）
②在宅福祉サービス（33件）
③権利擁護関連（32件）

●特記事項

介護保険サービスの相談があった際、状況に応じて、介護保険外の在宅福祉サービス（配食、有償ホームヘルプ等）も併せて情報提供することが多くなっている。その背景には、ホームヘルパー不足という課題がある。

3　会議・講座・教室等開催状況　7　月実績

7月2日	（木）	小地域ケア会議（参加者20名）
7月6日	（月）	泉一丁目サロン（参加者9名）

4　地域活動参加状況　7　月実績

7月6日	（月）	室内プール前井戸端会議
7月15日	（水）	おれんじカフェびいだま
7月16日	（木）	地域ほっと交流会（恋ヶ窪公民館）
7月25日	（土）	グループホーム愛の家運営推進会議

5　今後の予定　8・9　月予定

8月3日	（月）	泉一丁目サロン
8月8日	（土）	認知症サポーター養成講座
8月27日	（木）	地域懇談会（民生委員、自治会、老人クラブ等）
9月3日	（木）	泉一丁目サロン
9月15日	（火）	サービス事業所との懇談会（ケアマネジャー、訪問介護、介護保険外サービス）
9月30日	（水）	家族介護者交流会

6　その他　業務全般

作成：国分寺市福祉部地域包括ケア課

令和8年度　第2回
地域包括支援センター運営協議会
資料2－5　③

令和8年度　センター業務状況報告　〔　8　〕月報告分

◇センター名　〔 地域包括支援センターほんだ 〕　7月31日現在

1　介護予防ケアマネジメント業務　6　月実績

●予防給付，介護予防・日常生活支援総合事業実績数

給付実績	212	件		
直営	75	件	（ 35.4 ）	%
委託	137	件	（ 64.6 ）	%

2　総合相談支援　6　月実績

●相談件数　374 件

新規　19 件

●主な相談内容（上位3位）

① 介護保険サービ　（192件）
② 在宅サービス　（69件）
③ 保健・医療サービス（60件）

●特記事項

65歳未満のガン末期の方の相談支援が増えている。急変するリスクもあり医療機関などと密に連携を取っている。介護保険未申請の方が大半のため、介護保険申請等に関して説明するとともに、ケアマネジャーの調整や連携も同時に行うケースも多々ある。

3　会議・講座・教室等開催状況　7　月実績

7月2日　（木）　出前講座「ひょうたん島サロン」（参加者10名）
7月22日　（水）　小地域ケア会議（参加者13名）

4　地域活動参加状況　7　月実績

7月15日　（水）　ミライエ筋トレ（10の筋トレ）
7月27日　（月）　小規模多機能型むさし運営推進会議

5　今後の予定　8・9　月予定

※暑さを考慮して事業等開催なし

6　その他　業務全般

7月8日　（水）　地域福祉推進協議会

作成：国分寺市福祉部地域包括ケア課

令和8年度　第2回
地域包括支援センター運営協議会
資料2－5　④

令和8年度　センター業務状況報告　〔　8　〕月報告分

◇センター名　〔 地域包括支援センターなみき 〕　7月31日現在

1　介護予防ケアマネジメント業務　6　月実績

●予防給付，介護予防・日常生活支援総合事業実績数

給付実績	148	件		
直営	57	件	（ 38.5 ）	%
委託	91	件	（ 61.5 ）	%

2　総合相談支援　6　月実績

●相談件数　422 件

新規　23 件

●主な相談内容（上位3位）
①介護保険サービス （229件）
②くらしの相談 （112件）
③家族関係 （94件）

●特記事項
8050問題を抱える世帯の、特に経済的課題や家族関係不和に関する相談が多い。また、認知症のある方のサービス調整、若年性認知症の方への対応もある。ケアマネジャーからの身体拘束に関する相談や家族・親族との関係構築に困難さを感じる支援者からの相談が多い。

3　会議・講座・教室等開催状況　7　月実績

7月2日	（木）	小地域ケア会議(参加者10名)
7月4日	（土）	市民キャラバンメイト連絡会(参加者5名)
7月15日	（水）	カワセミの会＠国分寺(認知症当事者のあつまり　5名)

4　地域活動参加状況　7　月実績

7月8日	（水）	地域福祉推進協議会
7月13日	（月）	ぐるぐる公園井戸端会議
7月18日	（土）	小規模多機能ホーム国分寺北町・グループホームなごみ国分寺北町運営推進会議
7月30日	（木）	つながる懇談会「集まれ！なみき牧場～みんなで話そう　地域と防災～」

5　今後の予定　8・9　月予定

8月8日	（土）	北町地域センター利用者協議会
8月19日	（水）	カワセミの会＠国分寺(認知症当事者のあつまり)
9月7日	（月）	体力測定会＠並木公民館
9月12日	（土）	地域のひろば-並木の会
9月14日	（月）	ぐるぐる公園井戸端会議
9月16日	（水）	カワセミの会＠国分寺(認知症当事者のあつまり)
9月30日	（水）	消費者被害防止講座「暮らしの勉強会第2弾」

6　その他　業務全般

8月3日(月)～		ソーシャルワーク実習受け入れ　23日間
8月・9月		障害者基幹相談支援センターとの意見交換、社会福祉協議会の各事業説明
9月2日	（水）	認知症サポーター養成講座（国分寺市役所職員向け）

作成：国分寺市福祉部地域包括ケア課

令和8年度　第2回
地域包括支援センター運営協議会
資料2－5　⑤

令和8年度　センター業務状況報告

〔　8　〕月報告分

◇センター名　〔 地域包括支援センターひよし 〕

7月31日現在

1　介護予防ケアマネジメント業務　　6　月実績

●予防給付，介護予防・日常生活支援総合事業実績数

給付実績	158	件	
直営	43	件	（ 27.2 ） %
委託	115	件	（ 72.8 ） %

2　総合相談支援　　6　月実績

●相談件数　340 件

新規　19 件

●主な相談内容（上位3位）

①介護保険サービス（197件）
②くらしの相談 （68件）
③介護者支援に関すること（29件

●特記事項

介護保険についてや介護申請がやはり多くあった。配偶者への対応、親への対応での相談が多くあり、介護者支援に関する相談が多くなった。

3　会議・講座・教室等開催状況　　7　月実績

7月1日	（水）	小地域ケア会議（参加者17名）
7月16日	（木）	地域交流会　すみれ会　出張講座　（参加者16名）
7月18日	（土）	家族介護者交流会（参加者3名）

4　地域活動参加状況　　7　月実績

7月7日	（火）	なかよし井戸端会議
7月7日	（火）	さつき公園井戸端会議
7月15日	（水）	カワセミの会＠国分寺（認知症当事者のあつまり）
7月22日	（水）	日吉町防犯パトロール
7月25日	（土）	運営推進会議 グループホームとくら

5　今後の予定　　8・9　月予定

8月4日	（火）	なかよし・内藤橋公園井戸端会議
8月5日	（水）	日吉町防犯パトロール
8月15日	（土）	家族介護者交流会
8月19日	（水）	カワセミの会＠国分寺（認知症当事者のあつまり）
9月1日	（火）	なかよし・さつき公園井戸端会議
9月25日	（金）	民生委員連絡会

6　その他　業務全般

作成：国分寺市福祉部地域包括ケア課

令和8年度　第2回
地域包括支援センター運営協議会
資料2－5　⑥

令和8年度　センター業務状況報告

〔　8　〕月報告分

◇センター名　〔 地域包括支援センターひかり 〕

7月31日現在

1　介護予防ケアマネジメント業務　　6　月実績

●予防給付，介護予防・日常生活支援総合事業実績数

給付実績	197	件		
直営	46	件	（ 23.4 ）	%
委託	151	件	（ 76.6 ）	%

2　総合相談支援　　6　月実績

●相談件数　472 件

新規　30 件

●主な相談内容（上位3位）

①介護保険サービス（263件）

②保健・医療ｻｰﾋﾞｽ（179件）

③家族関係（58件）

●特記事項

・介護保険更新の認定結果が遅れていることで、暫定でのサービス担当者会議に出席する件数が増えている。

・若年性認知症の方、認知症が進みサービスの利用や居所、近隣との関係などに対応するケース複数あり。

3　会議・講座・教室等開催状況　　7　月実績

7月11日	（土）	出張講座（老人会百寿会　参加者21名）
7月13日	（月）	小地域ケア会議（参加者15名）
7月15日	（水）	カワセミの会＠国分寺（認知症当事者のあつまり　参加者5名）

4　地域活動参加状況　　7　月実績

7月9日	（木）	出張相談まるっとひとつ
7月12日	（日）	地域イベント じゃがいも堀り
7月16日	（木）	おれんじカフェ
7月17日	（金）	ひなたぼっこ西町
7月17日	（金）	けやき台分譲団地防災委員会
7月21日	（火）	光公民館運営サポート会議
7月21日	（火）	こじかくらぶ（協議体）
7月25日	（土）	おとこの台所

5　今後の予定　　8・9　月予定

8月7日	（金）	家族介護者交流会（ほっとプラス）
8月13日	（木）	出張相談まるっとひとつ
8月19日	（水）	カワセミの会＠国分寺（認知症当事者のあつまり）
8月22日	（土）	光町北部自治会井戸端会議
9月15日	（火）	光公民館運営サポート会議
9月16日	（水）	カワセミの会＠国分寺（認知症当事者のあつまり）
9月26日	（土）	おとこの台所

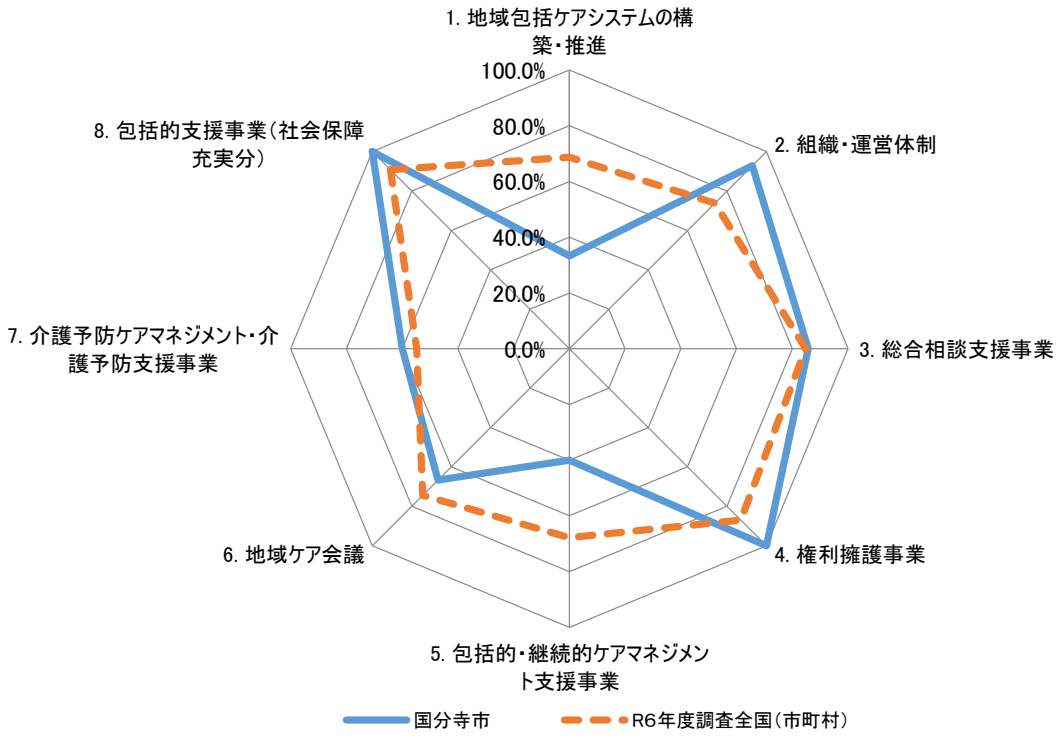
6　その他　業務全般

作成：国分寺市福祉部地域包括ケア課

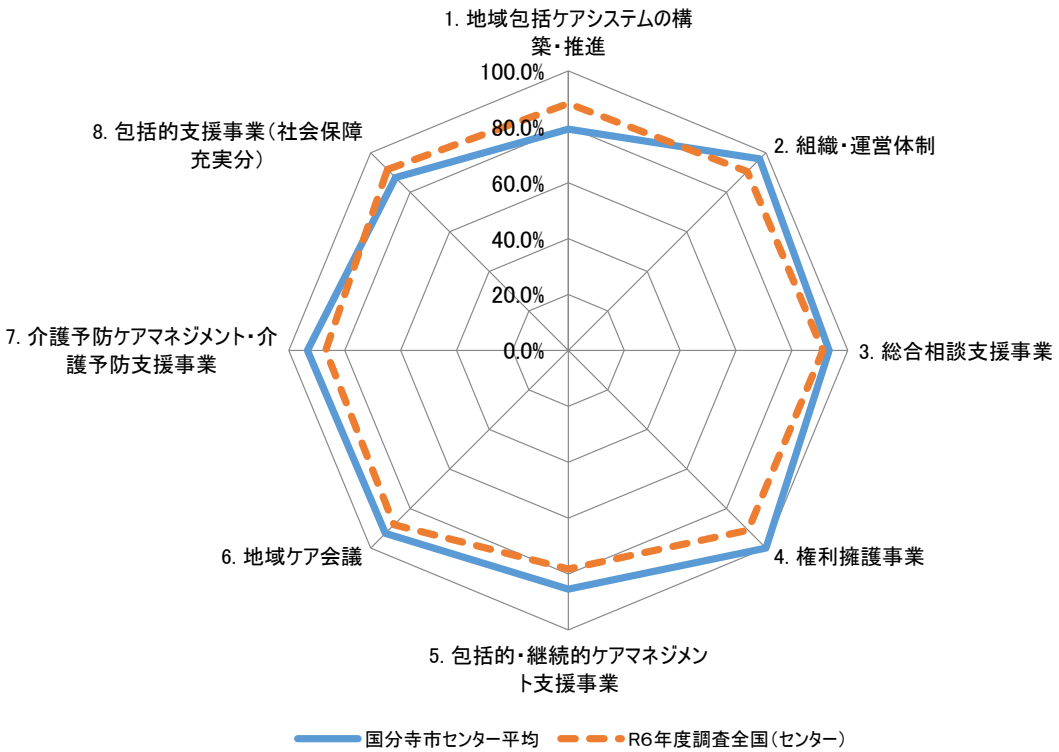
地域包括支援センターの取組状況（令和6年度）

令和8年度　第2回
地域包括支援センター運営協議会資料
資料2－6　①

国分寺市と全国平均の比較



国分寺市の地域包括支援センターの平均と全国平均の比較



【市町村用】 1.業務チェックシート

令和8年度　第2回
地域包括支援センター運営協議会資料
資料2－6　②

※令和5年度調査と令和6年度調査で指標の変更があったため、
「(参考)令和5年度国分寺市」が空欄の箇所は、令和5年度調査で該当がないもの。

	市町村指標	国分寺市	(参考)令和5年度国分寺市	全国調査結果
1	**地域包括ケアシステムの構築・推進**			
(1)	市町村の目指している地域包括ケアシステムの構築において、市町村が計画的にセンターを活用する			
A	市町村および日常生活圏域の高齢者等に関する分析結果や地域課題等をもとに、センター数や設置形態等を協議し見直しているか	×		63.9%
B	市町村における介護保険事業全体の取組状況を踏まえ、センターが担う業務を協議しているか	×		78.6%
C	市町村の総合評価結果や評価分野別評価結果をもとに、センター機能を強化するための取組の見直しを行っているか	○		65.5%
D	【市町村により選択】 センターの機能や実績を踏まえて、包括的支援体制における役割等を決めているか	×		39.4%
	平均点数・個数(必須項目[白色セル]のみカウント)	1		2.1
	平均点数・%(必須項目[白色セル]のみカウント)	33.3%		68.7%
2	**組織・運営体制**			
(2)	評価結果およびそれをもとにした運営協議会の議論やセンターとの協議を踏まえて、事業の実施方針や支援・指導方針を策定し、それを実施できる予算を確保する			
A	(各)センターの総合評価結果や評価分野別評価結果をもとに、センター機能を強化するため、センターごとの運営方針や支援・指導方針を協議しているか	○	○	70.4%
B	前年度の評価結果に関する運営協議会での検討を踏まえて、センターの事業の実施方針や支援・指導方針を策定しているか	○		72.4%
C	センターが実施方針に則った事業運営ができるように、運営予算を毎年見直し、確保しているか	×		84.7%
D	年度ごとのセンターの事業計画の策定にあたり、センターと協議を行っているか	○	○	83.1%
(3)	実施方針に基づいてセンターが効果的に運営できるように、人員配置や人材育成に取り組む			
A	センターの人材確保や定着を進めるための取組を行っているか	○		69.3%
B	評価結果やヒアリングなどからセンターのニーズを把握し、それをもとにセンター職員の資質向上のための研修を計画しているか	○	○	63.1%
C	センターの業務効率化を目的に、センター業務にICTを導入しているか	○		57.0%
D	【市町村により選択】 センターの人員確保の現状を踏まえ、複数圏域で合算した3職種の配置とするなど柔軟な職員配置に取り組んでいるか	○		89.0%

	市町村指標	国分寺市	（参考）令和5年度国分寺市	全国調査結果
(4)	高齢者等が必要な時にセンターを利用できるように、センターの周知を行う			
A	市町村の広報紙とホームページなどでセンターを周知しているか	○	○	95.9%
B	介護サービス情報公表システムでセンターを周知しているか	○	○	64.2%
C	その他、対象に応じた様々な方法でセンターを周知しているか	○		36.2%
D	【市町村により選択】 センターの認知度を踏まえて効果的な周知を計画しているか	―		28.4%
(5)	aa			
	【市町村により選択】＊中間アウトカム指標＊ 地域包括支援センターの認知度を指標として採用	○		
	センターの認知度を日常生活圏域ニーズ調査で把握している場合の割合	70.9%		
(6)	センターが個人情報保護等に留意しながら運営できるように体制支援を行う			
A	個人情報保護に関する市町村の取扱方針をセンターと共有しているか	○	○	94.8%
B	個人情報漏えいが起こった際の対応策をセンターと共有しているか	○	○	85.1%
C	苦情内容の記録等、苦情対応に関する市町村の方針をセンターと共有しているか	○	○	87.3%
D	利用者や家族からのカスタマー・ハラスメントにセンターが対応できるよう支援しているか	○		71.6%
(7)	センター指標の「2. 組織・運営体制」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定する			
	センター指標の「2. 組織・運営体制」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定しているか	○		
	→ 設定している場合、具体的に指標を記入			
	○地域包括支援センターの年度計画「事業計画」について、市の提示する目標や方針を踏まえ作成できている。 ○年度計画（センターの事業計画）について、市の提示する目標や方針を踏まえ作成できている。 ○地域包括支援センター業務を受託する法人が、市の求める役割を理解し、その役割が果たせるよう支援できている。 ○一部の職員に業務が集中することなく、職員一人当たりの業務量が調整できている。			
	平均点数・個数（必須項目[白色セル]のみカウント）	13		10.3
	平均点数・%（必須項目[白色セル]のみカウント）	92.9%		73.9%

	市町村指標	国分寺市	（参考）令和5年度国分寺市	全国調査結果
3	**総合相談支援事業**			
(8)	センターが総合相談支援事業を適切に実践できるよう、総合相談支援体制の構築に取り組む			
A	総合相談支援事業に関するセンターの後方支援体制を構築しているか	○		90.0%
B	センターに対して、夜間・早朝または平日以外の窓口（連絡先）の設置を義務づけ、市町村やセンターのホームページ等で周知しているか	×	○	72.5%
C	センターからの相談事例に関する支援要請に対応しているか	○	○	97.1%
D	市町村レベルの関係団体（民生委員等）の会議に定期的に参加しているか	○	○	88.1%
E	【市町村により選択】 日常生活圏域ごとの相談支援ニーズ等をセンターが効果的に受け止められるようブランチ等を戦略的に活用しているか	―		20.1%
(9)	センターにおける相談件数や相談内容を把握して、相談支援体制の改善を図る			
A	センターにおける相談事例の分類方法を定め、相談件数や相談内容の特徴を把握しているか	○	○	96.4%
B	センターが対応した家族介護者等からの相談について、相談件数や相談内容の特徴を把握しているか	○	○	93.1%
C	センターと協議しつつ、センターにおいて受けた相談事例の終結条件を定めているか	○	○	56.6%
D	【市町村により選択】 センターにおける相談件数や相談内容を分析して、その分析結果をもとに相談支援体制を改善しているか	○		38.8%
(10)	センター指標の「3. 総合相談支援事業」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定する			
	センター指標の「3. 総合相談支援事業」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定しているか	○		
	→ 設定している場合、具体的に指標を記入			
	○1年間の相談件数 ○センターとして抱えている事例や対処方法について相互に報告しあい、職員全体が協働して「チーム」として活動ができている。 ○必要な情報収集、アセスメントを行い、支援が滞りなくできている。 ○地域包括支援センターに寄せられる相談をワンストップで受け止めるために、センター職員が各々の専門・担当以外の業務の趣旨、内容、進め方について理解できている。 ○相談の分析を通じて、相談の傾向や地域課題、不足している社会資源などが把握できている。			
	平均点数・個数（必須項目[白色セル]のみカウント）	6		5.9
	平均点数・%（必須項目[白色セル]のみカウント）	85.7%		84.8%

	市町村指標	国分寺市	（参考）令和5年度国分寺市	全国調査結果
4 権利擁護事業				
(11) センターが権利擁護事業を遂行するための体制構築に取り組む				
A	成年後見制度の市町村長申立てに関する判断基準をセンターと共有しているか	○	○	83.9%
B	高齢者虐待事例及び高齢者虐待が疑われる事例への対応の流れを整理し、センターと共有しているか	○	○	95.3%
C	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論及び報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか	○	○	97.0%
D	消費生活に関する相談窓口及び警察に対して、センターとの連携についての協力依頼を行っているか	○	○	71.9%
(12) センター指標の「4．権利擁護事業」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定する				
	センター指標の「4．権利擁護事業」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定しているか	○		
	→ 設定している場合、具体的に指標を記入			
	○権利擁護に関する相談件数 ○個別ケース会議で共有・検討される情報を整理し、支援課題の抽出と支援方法の検討ができている。 ○虐待ケースや虐待が疑われるケースにおいて、関係機関が適切な役割分担ができるよう、センターがキー機関としてコーディネートできている。 ○成年後見制度全般の利用について、本人、家族からの相談に応じ、方向性の検討や支援を進める体制がととのっている。 ○消費者問題等に関する情報を地域の民生委員や介護支援専門員、住民等に提供できている。			
平均点数・個数（必須項目[白色セル]のみカウント）		4		3.5
平均点数・%（必須項目[白色セル]のみカウント）		100.0%		87.0%
5 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業				
(13) センターが包括的・継続的ケアマネジメント支援事業を適切に行うための体制を支援する				
A	日常生活圏域ごとの居宅介護支援事業所のデータ（事業所ごとの主任介護支援専門員・介護支援専門員の人数等）を把握し、センターに情報提供しているか	×	○	80.1%
B	介護支援専門員を対象に、包括的・継続的ケアマネジメントを行うための課題や支援などに関するアンケートや意見収集を行い、センターに情報提供を行っているか	×	×	55.0%
C	地域の介護支援専門員の実践力向上を図ることなどを目的とした、地域ケア会議や事例検討等を行うことができるように、センター職員を対象とした研修会を開催しているか	×	×	59.3%
D	センターが介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類し、経年的に件数を把握するとともに、そのニーズに応じた介護支援専門員を対象とした研修会等を計画しているか	○	○	60.9%
E	介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者（例：医療機関や地域における様々な社会資源など）との意見交換の場を市町村が設けているか	○	○	83.7%

	市町村指標	国分寺市	（参考）令和5年度国分寺市	全国調査結果
(14) センター指標の「5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定する				
	センター指標の「5. 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定しているか	○		
	→ 設定している場合、具体的に指標を記入			
	○介護支援専門員からの相談に適切に対応するための体制（共有するための媒体の活用、ミーティングの実施等）をセンター内で整備され、高齢者が地域で暮らし続けるための支援に取り組むことができている。 ○介護支援専門員のケアマネジメントに関する相談内容をもとに、介護支援専門員のニーズや環境整備の必要性等の現状を的確に把握・共有することができている。			
	平均点数・個数（必須項目[白色セル]のみカウント）	2		3.4
	平均点数・%（必須項目[白色セル]のみカウント）	40.0%		67.8%
6 地域ケア会議				
(15) 地域ケア会議のすべての機能を発揮する地域ケア会議の体系を構築し、すべての機能を果たす				
A	各レベルに（一つのレベルであっても多様な機能を果たす）地域ケア会議を設置し、それぞれが連動する体系をつくっているか	○		89.3%
B	地域課題や自立促進要因を把握・整理・仕分けする場を設けているか	○		77.4%
C	地域ケア会議と他の会議や事業とが連動する体系をつくっているか	○		85.2%
D	地域ケア会議の5つの機能（①個別課題解決機能、②ネットワーク構築機能、③地域課題発見機能、④地域づくり・資源開発機能、⑤政策形成機能）すべてが果たされているか	×		66.4%
E	地域ケア会議の運営を評価して体系を見直しているか	○		68.6%
(16) 地域ケア会議の運営の仕組みを構築し、関係者に周知する				
A	地域ケア会議の体系や目的、機能、構成員、スケジュール等の開催計画をセンターや関係機関に示しているか	○	○	80.2%
B	地域ケア会議の運営に関してセンターとの役割分担と連携方法を関係者と共有しているか	×		81.3%
C	センターと協力し、地域ケア会議における個人情報の取扱方針を定め、センターと共有するとともに、市町村が主催する地域ケア会議で対応しているか	○	○	85.3%
D	地域ケア会議の議事録や検討事項を構成員全員が共有するための仕組みを構築しているか	○	○	80.6%

市町村指標		国分寺市	（参考）令和5年度国分寺市	全国調査結果
(17) 地域ケア会議を有効に活用する				
A	地域ケア会議において、多職種と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか	○	○	92.9%
B	生活援助の訪問回数の多いケアプラン（生活援助中心のケアプラン）の検証を行い、対応策を講じているか	×		54.2%
C	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築し、かつ、実行しているか	×	○	67.6%
D	高齢者の自立を促進する要因や阻害要因を把握して、それをもとに、高齢者の自立に資する事業（総合事業や生活支援体制整備事業等）の見直しを行っているか	○		66.3%
E	複数の個別事例から地域課題を明らかにし、市町村主催の地域ケア推進会議で検討することで、政策形成につなげているか	×		61.1%
(18) 地域ケア会議の運営において、センター等と協働する				
A	センター主催の個別事例について検討する地域ケア会議（地域ケア個別会議）に参加しているか	○	○	91.4%
B	センター主催の地域課題について検討する地域ケア会議（地域ケア推進会議）に参加しているか	○	○	76.3%
C	センター主催の地域ケア会議で検討された内容を把握しているか	○	○	92.9%
D	センター主催及び市町村主催も含めた地域ケア会議の検討内容をとりまとめて、住民向けに公表しているか	×	○	22.6%
(19) センター指標の「6．地域ケア会議」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定する				
	センター指標の「6．地域ケア会議」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定しているか	○		
	→ 設定している場合、具体的に指標を記入			
	○開催した個別支援会議から地域課題を把握することができている。 ○地域活動や個別支援会議から把握した住民のニーズや地域課題を踏まえた、小地域ケア会議が開催できている。			
平均点数・個数（必須項目[白色セル]のみカウント）		12		13.4
平均点数・%（必須項目[白色セル]のみカウント）		66.7%		74.4%

市町村指標		国分寺市	（参考）令和5年度国分寺市	全国調査結果
7　介護予防ケアマネジメント・介護予防支援				
(20) センターや介護支援専門員が介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施できるよう体制を構築する				
A	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援に関する実態を踏まえ、自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関する市町村の基本方針を定め、センターと共有しているか	○	○	72.2%
B	センター、介護支援専門員、生活支援コーディネーター、協議体に対して、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源に関する情報を提供しているか	○	○	88.0%
C	利用者のセルフマネジメントを推進するため、介護予防手帳などの支援の手法を定め、センターと共有しているか	○	○	41.9%
D	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援におけるセンターの人員体制と実施件数を把握し、人員配置を見直しているか	○	○	70.1%
E	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定について、公平性・中立性確保のための指針を作成し、センターと共有しているか	○	○	60.2%
F	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を居宅介護支援事業所に指定または委託する際のセンターの関与について、市町村の指針をセンターと共有しているか	○	○	60.4%
G	【市町村により選択】 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援について、リハビリ専門職等、多職種からの専門的な助言を得られる体制を整備しているか	○		34.4%
H	【市町村により選択】 介護予防支援を担う居宅介護支援事業所から介護予防サービス計画に係る相談を随時受け付ける体制を整備しているか	○		49.7%
(21) 介護予防支援の実態を踏まえ、介護予防サービス計画の検証方法を定め運営する				
A	介護予防支援の実態を踏まえ、介護予防サービス計画の検証方法について、センターと協議して方針を打ち出しているか	×		41.4%
B	居宅介護支援事業所に対して、介護予防サービス計画の検証方法に関する方針を示しているか	×		33.8%
C	介護予防サービス計画の検証を実施した結果について、センターや居宅介護支援事業所等と共有しているか	×		35.0%
D	介護予防サービス計画の検証を通じて、介護予防支援や介護予防サービス計画の作成に課題がないかを整理し、課題があった場合には、課題解消のための取組を行っているか	×		45.2%
E	【市町村により選択】 利用者の状態の維持・改善に向けた介護予防サービス計画でない場合、その適正化のために、地域ケア会議を活用しているか	○		32.5%

	市町村指標	国分寺市	（参考）令和5年度国分寺市	全国調査結果
(22) センター指標の「7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定する				
	センター指標の「7. 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定しているか	○		
	→ 設定している場合、具体的に指標を記入			
	○把握した情報から、支援ニーズを特定し、課題を分析して、地域にある介護予防に資する活動などの利用を含めた自立支援に向けたケアマネジメントを実施できている。 ○自立支援の視点を持って多様な地域の資源がケアプランに位置づけられるようなケアマネジメントが実施できている。 ○地域で自立した生活を継続するためのケアマネジメントが実施できている。 ○委託先が作成した介護予防支援計画のサービスや事業者の確認、進捗管理などを適切に実施するルールを定め、対応できている。			
	平均点数・個数（必須項目[白色セル]のみカウント）	6		5.5
	平均点数・%（必須項目[白色セル]のみカウント）	60.0%		54.8%
8 包括的支援事業（社会保障充実分）				
(23) 包括的支援事業（社会保障充実分）を推進するために、センターの活動を位置づけ、その支援を行う				
A	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口とセンターとの連携・調整が図られるよう、連携のための会議等の開催といった情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか	○	○	92.1%
B	生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターや協議体とセンターの連携・調整が図られるよう、連携のための会議等の開催といった情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか	○	○	90.5%
C	認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員またはチームオレンジコーディネーターとセンターとの連携・調整が図られるよう、連携のための会議等の開催といった情報共有の仕組みづくりなどの支援を行っているか	○	○	93.2%
D	センターが行う包括的支援事業の充実のために、医療関係者とセンターの合同の事例検討会や講演会等の開催または開催支援を行っているか	○	○	87.0%
(24) センター指標の「8. 包括的支援事業（社会保障充実分）」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定する				
	センター指標の「8. 包括的支援事業（社会保障充実分）」に関するアウトプット指標または中間アウトカム指標を市町村が設定しているか	○		
	→ 設定している場合、具体的に指標を記入			
	○行政サービスや医療機関、インフォーマルな社会資源の情報及び活用方法をセンター内で共有できている。 ○担当地域を取り巻く環境を踏まえた、状況や課題を把握できている。 ○地域住民や団体との連携体制が構築できている。 ○生活支援サービスの開発に向けた取り組みを進めている。 ○認知症の普及啓発に関する取り組みが実施できている。 ○認知症の人や家族のニーズに対して、支援活動を希望する人材を育成できている。また、各種相談に対し、個々の状況に合わせた対応ができている。			
	平均点数・個数（必須項目[白色セル]のみカウント）	4		3.6
	平均点数・%（必須項目[白色セル]のみカウント）	100.0%		90.8%

【地域包括支援センター用】 1.業務チェックシート

令和8年度　第2回
地域包括支援センター運営協議会資料
資料2－6　③

※令和5年度調査と令和6年度調査で指標の変更があったため、「(参考)令和5年度国分寺市包括平均」が空欄の箇所は、令和5年度調査で該当がないもの。

センター指標			国分寺市包括平均	(参考)令和5年度国分寺市包括平均	全国調査結果
1　地域包括ケアシステムの構築・推進					
(1)　市町村全体を踏まえた担当圏域の現状および将来像やニーズを把握する					
	A	人口動態、市町村が行う介護予防・日常生活圏域ニーズ調査、在宅介護実態調査の結果等の量的データによって、地域の高齢者に係る現状や将来の状況等を把握しているか	100%		94.4%
	B	介護保険事業計画、老人福祉計画、地域福祉計画等から、地域の高齢者に係る課題等を把握しているか	83.3%		93.2%
	C	センターが行う実態調査によって、担当圏域の現状やニーズを把握しているか	33.3%		70.4%
	D	相談内容や地域ケア会議等の内容を分析し、担当圏域の地域課題を把握しているか	100%		95.3%
平均点数・個数(必須項目[白色セル]のみカウント)			3.2		3.5
平均点数・%(必須項目[白色セル]のみカウント)			79.2%		88.3%
2　組織・運営体制					
(2)　市町村の実施方針に従って、地域包括支援センターの機能強化に向けた事業計画を作成し、必要に応じて業務改善を図る					
	A	市町村が定めるセンターの事業の実施方針の内容に沿って、センターの事業計画を策定しているか	100%	100%	95.2%
	B	当該年度のセンターの事業計画に、前年度の事業評価における課題への適切な対応策を含めているか	100%	100%	93.5%
	C	市町村の実施方針や担当圏域の地域課題等を踏まえ、センターの事業計画に重点目標を設定しているか	100%	100%	87.2%
	D	センターの事業計画の重点目標に基づいて達成状況を分析し、必要な業務改善を行っているか	100%		87.8%
(3)　センターが効果的に運営できるように、組織マネジメントを行う					
	A	センター長等の責任者の役割を文書で明確に示し、職員に周知しているか	66.7%		80.5%
	B	センターの事業計画を共有する会議等の機会を設け、これに基づく職員個々の取組内容を確認しているか	100%		94.6%
	C	センターの業務量を把握したうえで、業務の最適化を図るための対応を行なっているか	100%		83.7%
	D	特定の職員に業務が偏らず、チームアプローチを推進するために業務分担のルールや仕組みづくりを行なっているか	100%		90.8%
	E	【市町村により選択】 センター業務にICTを活用するなど、センターの業務効率化に取り組んでいるか	83.3%		84.7%

センター指標			国分寺市包括平均	（参考）令和5年度国分寺市包括平均	全国調査結果
(4) センター職員の人材確保および育成を図る					
	A	センターの人材確保や定着を進めるための取組を行っているか	100%		94.8%
	B	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、職場で研修を実施しているか	100%	100%	93.8%
	C	センターに在籍する全ての職員が、計画的に職場での仕事を離れて研修（Off-JT）に参加できるようにしているか	83.3%	100%	90.7%
	D	センターに在籍する全ての職員に対して、センターまたは受託法人が、メンタルヘルス対策を実施しているか	100%		91.2%
	E	【市町村により選択】 スーパービジョンまたはコンサルテーションが受けられる体制を整えているか	100%		74.8%
(5) 市町村が示している個人情報の取扱方針や苦情対応方針に従い、センターにおいて適切に対応する体制を整え実践する					
	A	個人情報保護に関する市町村の取扱方針に従って、センターが個人情報保護マニュアル（個人情報保護方針）を整備しているか	100%	100%	95.0%
	B	個人情報の持出・開示時は、管理簿への記載と確認を行っているか	100%	100%	79.0%
	C	市町村の方針に沿って、個人情報漏えいとセンターが受けた苦情に対して、対処および市町村への報告（共有）の体制を構築しているか	100%	100%	92.0%
	D	センターへの苦情内容をもとに業務を改善しているか	100%	100%	99.0%
	E	【市町村により選択】 センターに対する利用者や家族からのカスタマー・ハラスメントに適切に対応する体制をセンターとして整備しているか	100%		79.1%
(6) ああ					
		【市町村により選択】＊中間アウトカム指標＊ センター職員の定着率（平均±標準偏差）	指標として採用なし		
平均点数・個数（必須項目[白色セル]のみカウント）			15.5		14.5
平均点数・%（必須項目[白色セル]のみカウント）			96.9%		90.5%

センター指標		国分寺市包括平均	（参考）令和5年度国分寺市包括平均	全国調査結果
3 総合相談支援事業				
(7) 地域包括支援ネットワークを構築する				
A	地域における関係機関・関係者のネットワークについて、構成員、連絡先、特性等に関する情報をマップまたはリストで管理しているか	100%	100%	94.8%
B	気になる高齢者等に関して、関係機関、民生委員、地域住民から連絡が寄せられるネットワーク体制を構築しているか	100%		99.7%
C	相談経路を分析して、高齢者等への支援に必要な新たな支援機関等と連携しているか	100%		95.4%
D	【市町村により選択】 高齢者福祉分野以外の関係機関・関係者と意見交換する機会を設けるなど、分野を横断した新たなネットワークを構築しているか	100%		92.0%
(8) 市町村と相談事例を共有・分析し、支援に活かす				
A	相談事例の分類方法に沿って、1年間の相談件数等を市町村に報告しているか	100%	100%	99.1%
B	相談事例の終結条件を、市町村と共有しているか	100%	100%	77.1%
C	相談事例の解決のために、市町村への支援を要請し、その要請に対し市町村から後方支援を得ているか	100%	100%	99.2%
D	相談内容を分析して、対応ルールの作成や研修の開催等を行い、職員の実践力の向上に活かしているか	100%		83.7%
(9) 家族介護者支援に取り組む				
A	夜間・早朝の窓口または平日以外の窓口（連絡先）を設置して住民に周知し、家族介護者等が相談しやすい環境を整えているか	0%	50%	88.5%
B	支援が必要な家族介護者を早期に発見するための取組を行っているか。	100%		92.8%
C	家族介護者に対するアセスメントを行い、状態やニーズに応じて適切な社会資源に関する情報を提供しているか	100%		96.7%
D	家族介護者からの相談について、相談件数や相談内容を記録等に残して取りまとめているか	100%	100%	97.0%
E	【市町村により選択】 家族介護者に対する予防的な取組を行っているか	100%		80.9%

センター指標			国分寺市包括平均	（参考）令和5年度国分寺市包括平均	全国調査結果
(10) 複合的な課題を持つ世帯の相談に適切に対応する(総合相談の一部委託について)					
	A	相談者とともに複合的課題を整理してニーズを明確にしているか	100%		95.1%
	B	ニーズに応じて適切な社会資源につなげ、必要に応じてつなげた社会資源と協働しているか	100%		97.6%
	C	相談内容を整理して、複合的な課題を持つ世帯数・人数・内容等の実態を把握しているか	100%		71.7%
	D	相談内容を分析して、複合的な課題を持つ世帯の相談対応の改善に活かしているか	100%		79.8%
(11) ああ					
		【市町村により選択】＊アウトプット指標＊ 高齢者福祉分野以外の機関からの照会件数:(平均±標準偏差) (中央値 [四分位範囲])	指標として採用なし		
(12) ああ					
		【市町村により選択】＊アウトプット指標＊ 1年間の相談件数	6,142		
(13) ああ					
		【市町村により選択】＊アウトプット指標＊ 支援を拒否する高齢者等へのアウトリーチのケース数	指標として採用なし		
平均点数・個数(必須項目[白色セル]のみカウント)			14.0		13.7
平均点数・%(必須項目[白色セル]のみカウント)			93.3%		91.1%

センター指標		国分寺市包括平均	（参考）令和5年度国分寺市包括平均	全国調査結果
4 権利擁護事業				
(14) 高齢者等の権利擁護のための普及啓発や対応を行う				
A	市町村から共有されている成年後見制度の市町村長申立てに関する判断基準を確認しているか	100%	100%	80.6%
B	消費者被害に関する情報を、民生委員、介護支援専門員、ホームヘルパー等へ提供しているか	100%	100%	83.1%
C	消費者被害に関し、センターが受けた相談内容について、消費生活に関する相談窓口または警察等と連携の上、適切に対応しているか	100%	100%	95.3%
D	高齢者虐待事例および高齢者虐待が疑われる事例への対応の流れについて、市町村と共有しているか	100%	100%	98.6%
E	センターまたは市町村が開催する高齢者虐待防止に関する情報共有、議論、報告等を行う会議において、高齢者虐待事例への対応策を検討しているか	100%	100%	98.2%
F	【市町村により選択】 センターに在籍するすべての職員が高齢者等の権利擁護に関する研修を受講しているか	83.3%		82.2%
(15) ああ				
	【市町村により選択】＊アウトプット指標＊ 権利擁護に関する相談件数	454		
(16) ああ				
	【市町村により選択】＊アウトプット指標＊ 成年後見制度の申立て支援件数	指標として採用なし		
平均点数・個数（必須項目[白色セル]のみカウント）		5.0		4.6
平均点数・%（必須項目[白色セル]のみカウント）		100.0%		91.0%

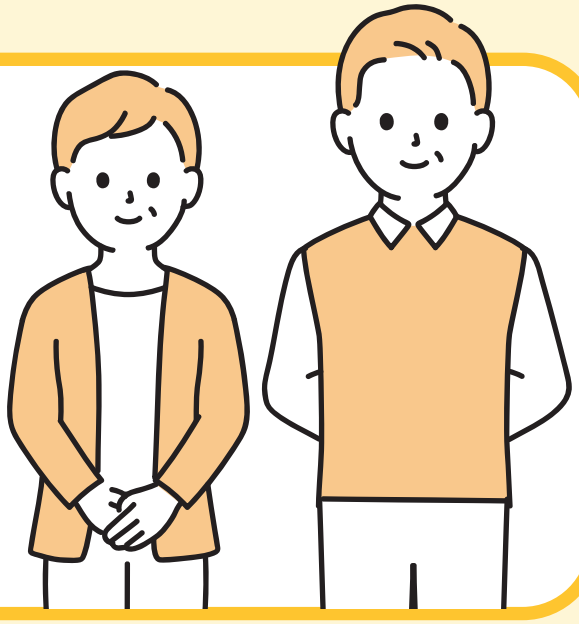
センター指標		国分寺市包括平均	（参考）令和5年度国分寺市包括平均	全国調査結果
5 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業				
(17) 担当圏域の居宅介護支援事業所の状況を把握し、地域のケアマネジャーの支援ニーズに基づいた対応を行う				
A	担当圏域における居宅介護支援事業所のデータ（事業所ごとの主任介護支援専門員、介護支援専門員の人数等）を把握しているか	83.3%	100%	92.7%
B	介護支援専門員から受けた相談事例の内容を整理・分類・件数を把握した上で、研修会、事例検討会、地域ケア会議等を開催しているか	83.3%	100%	89.9%
C	担当圏域の介護支援専門員のニーズに基づいて、多様な関係機関・関係者（例：医療機関や地域における様々な社会資源など）との意見交換の場を設けているか	100%	66.7%	88.7%
D	介護支援専門員が円滑に業務を行うことができるよう、地域住民に対して介護予防・自立支援に関する意識の共有を図るための出前講座等を開催しているか	100%	83.3%	89.0%
E	介護支援専門員を対象にした研修会や事例検討会等の開催計画を策定し、年度当初に指定居宅介護支援事業所に示しているか	50.0%	0%	79.0%
(18) 市町村の方針に則り、介護予防サービス計画の検証を行う				
A	市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成する新規の介護予防サービス計画を確認しているか	100%		77.5%
B	市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成する更新の介護予防サービス計画を確認しているか	100%		76.6%
C	市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成した介護予防サービス計画を抽出し、その検証をしているか	100%		53.5%
D	【市町村により選択】 市町村の方針に沿って、圏域内の居宅介護支援事業所が作成した介護予防サービス計画を抽出し、地域ケア会議でその検証をしているか	16.7%		44.6%
(19) ああ				
	【市町村により選択】＊アウトプット指標＊ 介護支援専門員からの相談受付件数	504		
平均点数・個数（必須項目[白色セル]のみカウント）		7.2		6.3
平均点数・%（必須項目[白色セル]のみカウント）		85.4%		78.2%

センター指標		国分寺市包括平均	（参考）令和5年度国分寺市包括平均	全国調査結果
6 地域ケア会議				
(20) センター主催の個別ケースを検討する地域ケア会議において、多様な視点から個別事例の検討を行い、対応策を講じる				
A	センター主催の地域ケア会議の運営方針を、センター職員、会議参加者、地域の関係機関に対して周知しているか	83.3%		88.5%
B	センター主催の地域ケア会議において、多職種等と連携して、自立支援・重度化防止等に資する観点から個別事例の検討を行い、対応策を講じているか	100%		93.8%
C	市町村が共有した地域ケア会議における個人情報の取扱方針に基づき、センターが主催する地域ケア会議で適切に対応しているか	100%		96.3%
D	地域ケア会議で検討した個別事例について、その後の変化等をモニタリングするルールや仕組みを構築・実行しているか	83.3%		82.8%
E	センター主催の地域ケア会議において、議事録や検討事項をまとめ、参加者間で共有しているか	66.7%		88.4%
(21) 地域ケア会議において、地域課題を把握し、適切に対応する				
A	センター主催の地域ケア会議（地域ケア個別会議）において、地域課題の可能性がある課題を抽出しているか	100%		90.0%
B	センター主催の地域ケア会議（地域ケア推進会議）において、地域課題や自立促進要因について共有し、その後の対応を検討しているか	100%		83.9%
C	センター主催の地域ケア会議（地域ケア推進会議）において把握した地域課題や対応等を、市町村に報告しているか	100%		89.4%
D	地域課題の整理・分析・対応等を行なうために、市町村レベルの地域ケア会議（地域ケア推進会議）等に参加または資料提出しているか	100%		81.9%
(22) ああ				
	【市町村により選択】＊アウトプット指標＊ センター主催の地域ケア会議を経て、市町村レベルの地域ケア会議に地域課題を報告した数	指標として採用なし		
平均点数・個数（必須項目[白色セル]のみカウント）		8.3		7.9
平均点数・%（必須項目[白色セル]のみカウント）		92.6%		88.2%

センター指標		国分寺市包括平均	（参考）令和5年度国分寺市包括平均	全国調査結果
7 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援				
(23) 介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を適切に実施する				
A	自立支援・重度化防止等に資するケアマネジメントに関して、市町村から示された基本方針を、センター職員及び介護支援専門員に周知しているか	100%		87.0%
B	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援のケアプランにおいて、保険給付や介護予防・生活支援サービス事業以外の多様な地域の社会資源を位置づけているか	100%		97.8%
C	利用者のセルフマネジメントを推進するため、市町村から示された支援の手法を活用しているか	83.3%		65.9%
D	介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託した場合は、台帳への記録および進行管理を行っているか	100%		94.5%
E	市町村から示された介護予防ケアマネジメント・介護予防支援を委託する際の事業所選定の公平性・中立性確保のための指針を遵守しているか	83.3%		88.7%
F	【市町村により選択】 介護予防ケアマネジメントの成果を把握するために、要支援者または事業対象者の日常生活の自立度の変化について、定期的な評価を行っているか	50%		55.4%
(24) ああ				
	【市町村により選択】＊中間アウトカム指標＊ 介護予防ケアマネジメント対象者のうち状態が維持または改善した人の割合	指標として採用なし		
平均点数・個数（必須項目[白色セル]のみカウント）		4.7		4,3
平均点数・％（必須項目[白色セル]のみカウント）		93.3%		86.8%
8 包括的支援事業（社会保障充実分）				
(25) 事業間連携を推進する				
A	在宅医療・介護連携推進事業における相談窓口に対して、相談を行っているか	50%	100%	87.6%
B	生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターおよび協議体とともに、地域における高齢者のニーズや社会資源について協議を行っているか	100%	100%	88.4%
C	認知症初期集中支援チーム、認知症地域支援推進員またはチームオレンジコーディネーターと、支援対象者に関する情報共有を図っているか	100%	83.3%	96.0%
D	包括的支援事業の充実のために、医療関係者と合同の事例検討会や勉強会に参加しているか	100%	66.7%	95.3%
E	【市町村により選択】 生活支援コーディネーター・就労的活動支援コーディネーターや協議体と協働して地域活動を促進しているか	100%		87.3%
(26) ああ				
	【市町村により選択】＊アウトプット指標＊ 医療関係者と合同の事例検討会や勉強会の実施数	指標として採用なし		
平均点数・個数（必須項目[白色セル]のみカウント）		3.5		3.7
平均点数・％（必須項目[白色セル]のみカウント）		87.5%		91.5%

令和８年度　国分寺市

備えのための 認知症検診





認知症は誰もがなりうる身近なものです。
早めに気づき対応することで、自分らしい生活を
長く続けるための備えができます。
未来の自分や家族のために認知症検診を受けましょう。

受診期間　令和８年 **９月１日(火)** ～ 令和９年 **１月31日(日)**

※医療機関の診療日により異なります

受診場所　**市内の検診実施医療機関**

費　用　**無料**　※検診後の精密検査・診断・治療にかかる費用は保険診療（自己負担あり）となります

対象者　**70歳以上の市内在住の方**
認知症の診断を受けていない方
※70歳・75歳になる方（令和9年3月時点）には8月中旬頃にご案内をお送りします

詳細は市HPへ

ぶんじ健康アプリ WoLN デジタルギフトのプレゼント企画あり

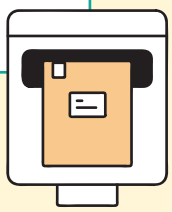
お問合せ

国分寺市
〒185-8501 国分寺市泉町二丁目２番18号国分寺市役所
福祉部　地域包括ケア課
042-312-8642
受付時間：平日 午前8：30～午後5：00

認知症検診の流れ

今年度に
70歳・75歳になる方

8月中旬頃
受診票（薄オレンジ色）等が届く



今年度に
71歳以上になる方
（75歳になる方を除く）

受診票を申し込む 以下のいずれかの方法でお申込みください

二次元コードから電子申請

お電話で
福祉部　地域包括ケア課
042-312-8642

受診票等が届く

① 予　約

検診実施医療機関一覧から受診先を選び、直接電話をして予約をしましょう



② 問診票兼結果通知の記入

市から郵送される問診票兼結果通知（複写用紙）を事前にご記入ください



③ 検　診

医師が問診と認知機能検査を行います

持ち物
- 受診票（薄オレンジ色）　・お薬手帳
- 問診票兼結果通知（複写用紙）
- マイナ保険証または資格確認書

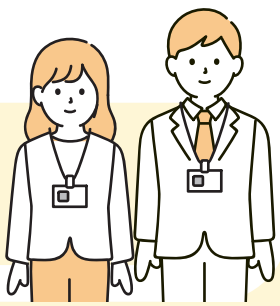


④ 結果の説明

検診日当日に医師が検診結果の説明を行います
検診の結果さらに詳しい検査や診察が必要な場合は、医師から医療機関の説明があります
※検診の結果さらに詳しい検査や診察を受ける場合は、自己負担が生じます

⑤ 早期支援

検診結果に応じて、必要なサービスや支援のご案内をします
対象者の方には、地域包括支援センターから連絡があります



50歳以上の市民の方へ

ぶんじ健康アプリ WoLN
デジタルギフトのプレゼント企画あり

あたまの健康チェック会



各回定員75名



ぶんじほたる ホッチ

© ホッチプロジェクト

検査の流れはこちらでチェック

市内各所で開催
全4回 開催スケジュール

	実施日	時間	会場	申込開始
第1回	令和8年10月17日（土）	午前9時45分～午後4時	本多公民館	9月2日(水)
第2回	令和8年10月31日（土）	午前9時45分～午後4時	福祉センター	9月2日(水)
第3回	令和8年11月14日（土）	午前9時45分～午後4時	西町地域センター	9月2日(水)
第4回	令和8年11月28日（土）午前：手話通訳者配置	午前9時45分～午後4時	cocobunji プラザ リオンホール	9月2日(水)

視覚や聴覚に障害のある方もご利用可能です。聴覚に障害のある方は手話通訳者を配置している日程をご確認ください。

お申込み

二次元コードから希望日時をお申込みください

＊年度内にお一人1回お申込みいただけます。
＊実施会場にお越しの際は、公共交通機関をご利用ください。

お申込みはこちらから

お問合せ

国分寺市　福祉部　地域包括ケア課
042-312-8642　受付時間：月～金（土日祝を除く）8時30分から17時まで

あたまの健康チェック会

健康づくりを始めるきっかけに

今日の状態把握を通じて、
「今のままでいたい」と思う
その気持ちが元気の原動力に



ぶんじほたる ホッチ
© ホッチプロジェクト

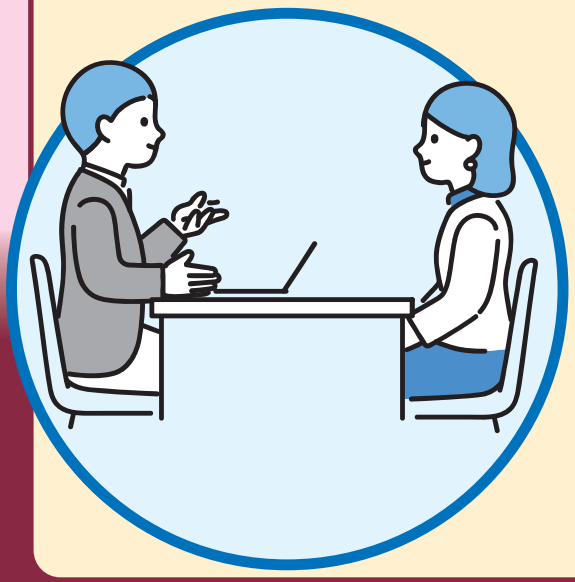


わたしたちの「あたまの健康」を妨げる要因には糖尿病や高血圧、
高LDLコレステロール、睡眠障害などが挙げられます。
日ごろからこれらの要因の改善をはかったり、
外出機会を増やす、自分のペースに合った運動を取り入れる、
十分な栄養摂取を心がけることなど、身近なライフスタイルの改善が
「あたまの健康」の維持・改善に向けた一助となるといわれています。

参考：The Lancet Commissions
"Dementia prevention, intervention, and care: 2024 reprot of the Lanset standing Commission"
Lancet 2024; 404:572-628

あたまの健康チェック会は以下のような記憶力チェックをおこないます

認知症の有無や症状を評価するための検査ではありません。



対面形式で行う10分間の記憶検査です

1. 10単語を復唱して覚え、すぐに思い出す
   同じことを３回続けて行います ▼
2. ３つの動物の中から仲間外れを選ぶ
   同じことを何度か続けて行います ▼
3. 最初に覚えた10単語をもう一度、思い出す

本事業で収集した検査結果は、個人を識別することができないように加工し、事業の効果検証に利用いたします。

令和８年度

みんなで知ろう
認知症月間

～認知症になっても安心して暮らせる国分寺～

認知症は、誰にでも起こりうる身近なことです
正しく理解し温かく見守ることが、安心して暮らせる地域につながります
この機会に、認知症について考えてみませんか

9/11 金
午後６時30分
～８時30分

認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、
身近な応援者としての一歩を学べる講座です

9/12 土
午前10時30分
～12時15分

映画上映会
『父と僕の終わらない歌』

世界中に笑顔と希望を届けた実話をもとにした
感動作です



©2025「父と僕の終わらない歌」製作委員会

9/12 土
午後２時～４時

認知症サポーターフォローアップ講座

※認知症サポーター養成講座を受講された方が対象です



9/26 土
午後２時
～３時30分

認知症予防普及啓発講演会
フレイル予防とあたまの健康

「ぶんじ健康アプリ（WoLN）」
デジタルギフトの
プレゼント企画あり

健康づくりのヒントを専門家がわかりやすくお話します

国分寺市役所１階多目的スペースで
認知症に関する展示を行っております

市内の図書館では
認知症に関する
おすすめ書籍コーナーを
設けております

お問合せ
国分寺市福祉部地域包括ケア課
☎ 042-312-8642
（月～金　土日祝日を除く　午前８時30分～午後５時）

詳細は
裏面へ

開催スケジュール

対象 在住、在勤、在学、在活の方

会場 cocobunjiプラザ　リオンホール
（国分寺駅北口cocobunjiWEST５階）

お申込 右記の二次元コードからお申込ください
申込期間　８月17日（月）～９月７日（月）
認知症予防普及啓発講演会は９月25日（金）まで

お申込はこちら

日時	内容	定員	講師・その他
9/11（金） 午後６時30分 ～８時30分	**認知症サポーター養成講座** 認知症について正しく理解し、 身近な応援者としての一歩を学べる講座です 受講された方にオレンジリングをお渡します	50名 （先着）	東京都認知症介護指導者 キャラバン・メイト 不動田（ふどうた） 敏幸（としゆき） さん
9/12（土） 午前10時30分 ～12時15分	**午前の部** **映画上映会** **『父と僕の終わらない歌』** アルツハイマー型認知症の父と息子が、 歌を通じて家族の絆と夢をつないでいく 「大切な人との時間」を考えるきっかけになる 物語です	120名 （先着）	 ©2025「父と僕の終わらない歌」製作委員会
9/12（土） 午後２時 ～４時	**午後の部**　※認知症サポーター養成講座を受講された方が対象 **認知症サポーターフォローアップ講座** **『認知症とともに暮らす地域へ』** ～認知症サポーターの私ができる次の一歩～ 講義とグループワークで理解を深めます	30名 （先着）	東京都認知症介護指導者 オレンジ・チューター 鈴木（すずき） 恵介（けいすけ） さん
9/26（土） 午後２時 ～３時30分	**認知症予防普及啓発講演会** 「ぶんじ健康アプリ（WoLN）」デジタルギフトのプレゼント企画あり **「フレイル予防と あたまの健康」**	120名 （先着）	 東京都健康長寿医療センター研究所 笹井（ささい） 浩行（ひろゆき） 先生

詳細はこちら

お問合せ
国分寺市福祉部地域包括ケア課
☎042-312-8642
（月～金曜日　土日祝日除く　午前８時30分～午後５時）

令和８年７月～

高齢者補聴器購入費用の助成

目的

加齢等による聞こえにくさから生じるコミュニケーション機会の減少を防ぎ、社会参加と健康づくりを支援するため、高齢者補聴器購入費用の助成をします。

助成額

上限40,000円

※本体購入額が40,000円未満の場合は、かかった費用分を助成します。

申請から助成までの流れ

①助成の対象になるか確認　※窓口に来ることが難しい場合はお電話ください

●地域包括ケア課窓口で対象となる要件を確認

- □ 市内在住の満65歳以上の方
- □ 介護保険料における所得段階が第１～第７段階の方
  （本人合計所得金額が概ね210万円未満、諸条件で異なる場合あり）
- □ 聴覚障害による補聴器の助成対象とならない方
- □ この助成金の交付を過去５年以内に受けていない方



□ お渡しする書類　■ 国分寺市高齢者補聴器購入費助成申請書
（裏面に医師意見書があります。）

② 耳鼻咽喉科を受診

●申請書（裏面は医師意見書）を持って、耳鼻咽喉科で医師の診断・検査を受ける

●補聴器が必要と認められた場合、申請書裏面の医師意見書を記載してもらい、検査結果を添付する

注意！

- **医療機関受診時の診察料・検査料・意見書料等は自己負担**
- **国分寺市医師会加入の耳鼻咽喉科での意見書作成料は1,000円（税込）**

（裏面一覧表参照）

③地域包括ケア課窓口で申請　※窓口に来ることが難しい場合はお電話ください

●必要書類を提出

- □ 申請書（裏面医師意見書を含む）
- □ 聴力検査等の結果（申請書裏面に貼付）

注意！
検査日から３か月以内に申請

裏面へ

④助成金交付決定通知書が届く

●助成金の交付を決定した方に、助成金交付決定通知書、補聴器販売店舗に提出する書類等を送付。

●お送りする書類

- 助成金交付決定通知書
- 助成金交付申請書兼請求書
- 補聴器販売店舗に渡す書類（返信用封筒に封入）



注意！

助成決定通知書が届く前に購入した補聴器は助成対象外！

⑤補聴器を購入する

●必要書類を持って認定補聴器専門店または認定補聴器技能者の在籍する店舗で補聴器を購入。

- ☐ 助成金交付決定通知書
- ☐ 助成金交付申請書兼請求書（上半分の申請書欄に記入）
- ☐ 補聴器販売店舗に提出する書類（返信用封筒に入ったまま店舗へ渡す）

注意！

- **必ず管理医療機器に認定されている補聴器を購入**
- **購入費用が助成額の上限額を超える場合は、超えた分は自己負担**
- **修理費・メンテナンス費、附属品の購入のみにかかる費用や集音器は対象外**

⑥アフターケア

購入後、定期的なアフターケアを受けることで、安心して補聴器を使用し続けることができます。補聴器を購入した店舗等で定期的に調整・点検を受けてください。購入後の調整・点検や認定補聴器技能者のアドバイス等のアフターケアにより、ご自身にあった補聴器に調整していきましょう。

市内実施医療機関（耳鼻咽喉科）一覧

その他・市外医療機関の受診も対象。その他・市外医療機関の意見書作成料は各医療機関にお問い合わせください。

医療機関	住　所	電話番号
中嶋耳鼻咽喉科	東元町4－14－1　東元町メディカルビル3階	042-401-0497
きりたに耳鼻咽喉科	南町3－1－29　国分寺南医療ビル2階	042-328-3387
徳山耳鼻咽喉科医院	南町3－9－25　南町3丁目団地114号	042-323-0671
かわち耳鼻咽喉科	泉町3－35－1　西国分寺レガビル3階	042-320-5177
黄田医院(耳鼻咽喉科)	本町2－19－5　2F	042-325-5355
こくぶんじ耳鼻咽喉科	本町3－11－14　メディカルコア国分寺1階	042-359-3733
恋ヶ窪内科クリニック	東恋ヶ窪5－16－5　ベルフラワー恋ヶ窪1階	042-312-2150



お問合せ
国分寺市福祉部地域包括ケア課
国分寺市泉町２－２－１８　国分寺市役所２階
☎042-312-8642

制度の詳細
申請書のダウンロードはこちらから
⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒⇒

令和８年度国分寺市生活支援体制整備事業　市民フォーラム

地域で支え合うヒント



～共に地域で暮らしていくために～

10/5(月) 14:00～16:00（開場13:30）

◆開会挨拶　14:00～

◆基調講演　14:05～



私たちが地域で
できることを一緒に考えて
みませんか。

「ご近所福祉クリエーターの活動紹介」

講師



ご近所福祉クリエーター
酒井　保　氏

1961年広島生まれ。
知的障がい者福祉施設職員、社会福祉協議会福祉活動専門員、認知症グループホーム・小規模多機能施設の施設長職を経て、2014年８月に『ご近所福祉クリエイション』を創設。講演、執筆活動、イラストレーターとしても活動中。

◆パネルディスカッション　14:40～

地域の団体である『おもしろ研究所』、『おとこの台所』で活躍されている方を迎え、活動内容、やりがいや魅力についてお話を聞きながらできる事を話し合います。

事前予約不要
参加無料

会　場　cocobunjiプラザ　リオンホール

対象者　市内在住・在勤・在学・在活の方　　**定員**　70名

【問合せ】　国分寺市地域包括ケア課
〒185-8501　国分寺市泉町2-2-18
TEL　042-312-8641

令和7年度
国分寺市地域包括支援センター
事業報告

・・・国分寺市福祉部地域包括ケア課・・・

令和8年6月

令和7年度国分寺市地域包括支援センター事業報告

目　　次

【1】国分寺市における地域包括支援センター等の設置状況及び人員体制　1

Ⅰ　国分寺市の地域包括支援センター設置状況　1

Ⅱ　各地域包括支援センターにおける担当高齢者人口　2

Ⅲ　国分寺市の各地域包括支援センターの人員体制　2

Ⅳ　地域包括支援センター運営協議会開催状況　3

【2】地域包括支援センターの業務状況　4

Ⅰ　地域包括ケアシステム構築に向けた取組　5～8

Ⅱ　地域包括支援センターの運営に関する取組　8～9

Ⅲ　介護予防ケアマネジメント　10～11

Ⅳ　介護予防事業　12～13

Ⅴ　総合相談支援　14～19

Ⅵ　権利擁護　20～23

Ⅶ　包括的・継続的ケアマネジメント　24～27

Ⅷ　生活支援体制整備事業　28～29

Ⅸ　認知症に関すること　30～34

Ⅹ　各種講座・教室・イベント関係　35～37

【1】 国分寺市における地域包括支援センター等の設置状況及び人員体制

Ⅰ 国分寺市の地域包括支援センター設置状況

<table>
<tr><th></th><th>地域包括支援センター</th><th>地域相談センター（在宅介護支援センター）</th></tr>
<tr><td>第1期
（H12年～14年）</td><td></td><td>■12年4月
高齢者総合相談室設置
在宅介護支援センター（直営で開設）
基幹型・地域型併設　　1箇所
居宅介護支援事業所併設
■14年4月
在宅介護支援センターたんぽぽ開設
（社会福祉法人心会）
＊基幹型（直営）地域型　直営 1　委託 1</td></tr>
<tr><td>第2期
（H15年～17年）</td><td></td><td>■15年4月
高齢者相談室へ課名変更
■17年4月
在宅介護支援センターひかり開設
（特定医療社団法人　健生会）
在宅介護支援センターにんじん開設
（社会福祉法人　にんじんの会）
＊基幹型（直営）　地域型　直営　1　委託　3</td></tr>
<tr><td>第3期
（H18年～20年）</td><td>●18年4月　　＊直営　1
国分寺市地域包括支援センター開設
●19年4月　　＊直営　1　委託　2
国分寺地域包括支援センターもとまち開設
国分寺地域包括支援センターひかり開設</td><td>■18年4月
在宅介護支援センターもとまち開設
（社会福祉法人　至誠学舎立川）
＊基幹型（直営）　地域型　直営　1　委託　4</td></tr>
<tr><td>第4期
（H21年～23年）</td><td>地域包括支援センター　3（直営1　委託2）
国分寺市地域包括支援センター（高齢者相談室）
国分寺地域包括支援センターもとまち
国分寺地域包括支援センターひかり
（平成22年度より　社会医療法人社団　健生会へ法人名称変更）</td><td>地域相談センター　　3（委託3）　新規開設　1
国分寺地域相談センターひよし　　（旧　たんぽぽ）
国分寺地域相談センターこいがくぼ　（旧　にんじん）
国分寺地域相談センターなみき
（社会福祉法人　至誠学舎立川　21年4月　新規開設）</td></tr>
<tr><td>第5期
（H24年～26年）</td><td colspan="2">■24年4月　（高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画）
＜平成24年度＞
地域包括支援センター　3（直営1　委託2）
国分寺市地域包括支援センター（高齢者相談室）
国分寺地域包括支援センターもとまち
国分寺地域包括支援センターひかり
地域相談センター　　3（委託3）
国分寺地域相談センターひよし
国分寺地域相談センターこいがくぼ
国分寺地域相談センターなみき
→
●平成25年10月
地域包括支援センター　7（基幹型・直営1　委託6）
（基幹型）国分寺市地域包括支援センター（高齢者相談室）
（委託）国分寺地域包括支援センターもとまち
（委託）国分寺地域包括支援センターひかり
〈地域相談センターから移行〉
（委託）国分寺地域包括支援センターひよし
（委託）国分寺地域包括支援センターこいがくぼ
（委託）国分寺地域包括支援センターなみき
（委託・新規）国分寺地域包括支援センターほんだ
（社会福祉法人　至誠学舎立川）</td></tr>
<tr><td>第6期
（H27年～29年）</td><td colspan="2">■27年4月　（高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画）
地域包括支援センター　7（基幹型・直営1　委託6）
（基幹型・直営）国分寺市地域包括支援センター（高齢者相談室）
委託〈東部地域〉
国分寺地域包括支援センターもとまち
国分寺地域包括支援センターこいがくぼ
国分寺地域包括支援センターほんだ
委託〈西部地域〉
国分寺地域包括支援センターひよし
国分寺地域包括支援センターひかり
国分寺地域包括支援センターなみき
■29年4月　介護保険課と統合し、高齢福祉課へ課名変更</td></tr>
<tr><td>第7期
（H30年～R2年）</td><td colspan="2">■平成30年4月　（高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画）
■平成30年4月　福祉保健部が健康部と福祉部の2部体制に変更
■令和3年3月末　国分寺市地域包括支援支援センター（基幹型・直営）の廃止</td></tr>
</table>

第8期 （R3年～R5年）	■令和3年4月（高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画） 地域包括支援センター　6（委託6） 高齢福祉課は基幹的機能を担い地域包括支援センターを支援
第9期 （R6年～R8年）	■令和6年4月（高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画） 地域包括支援センター　6（委託6） 高齢福祉課は基幹的機能を担い地域包括支援センターを支援 ■令和7年10月　窓口開設時間を9時～17時に変更 ■令和8年4月　地域包括ケア課を新設

Ⅱ 各地域包括支援センターにおける担当高齢者人口

令和7年10月1日現在

センター名	町　名	担当高齢者人口（人）
もとまち	東元町・西元町・南町	4,888
こいがくぼ	泉町・西恋ヶ窪・東戸倉	4,478
ほんだ	本町・本多・東恋ヶ窪	5,917
なみき	富士本・新町・並木町・北町	3,748
ひよし	戸倉・日吉町・内藤	5,084
ひかり	光町・高木町・西町	4,869

Ⅲ 国分寺市の各地域包括支援センターの人員体制

地域包括支援センターは、保健師・社会福祉士・主任介護支援専門員の3職種の配置が義務づけられています（国の示した経過措置の有資格者を含むものとする）。

国分寺市においても3職種を配置していて、様々な相談や支援をそれぞれの専門性と相互連携を意識したチームアプローチを重視しながら運営しています。

地域包括支援センター人員体制推移（実人数）

令和7年10月1日現在

名　称	年度	保健師等	社会福祉士等	主任介護支援専門員	介護支援専門員等	認知症地域支援推進員	生活支援コーディネーター	事　務	合　計
国分寺地域包括支援センターもとまち	6	1	1	1	1	1	1	0	6
	7	1	1	1	1	2	1	0	7
国分寺地域包括支援センターこいがくぼ	6	1	1	1	1	1	1	0	6
	7	1	1	1	1	1	1	1	7
国分寺地域包括支援センターほんだ	6	1	1	1	1	1	1	0	6
	7	1	1	1	2	1	2(1)	0	8(1)
国分寺地域包括支援センターなみき	6	1	1	1	1	1	1	0	6
	7	1	1	1	2	1	1	0	7
国分寺地域包括支援センターひよし	6	1	2(1)	0	1	0	1	0	5(1)
	7	1	1	1	2	1	1	0	7
国分寺地域包括支援センターひかり	6	1	2(1)	1	1	1	1	0	7(1)
	7	1	2(1)	1	1	1	1	1	8(1)

（　）は法人の方針で増員して配置、再掲

高齢福祉課（地域包括支援センター支援）人員体制

名　称	年度	保健師等	社会福祉士等	主任介護支援専門員	介護支援専門員等	認知症地域支援推進員	生活支援コーディネーター	事　務	合　計
高齢福祉課	7	6	5	0	0	0	0	5	16

Ⅳ 地域包括支援センター運営協議会開催状況

「国分寺市地域包括支援センター運営協議会設置条例」　（平成18年1月施行）

公正・中立の確保の観点から地域包括支援センターの設置運営に関する事項の協議

［委　員］　公募により選出された市民、識見を有する者、介護保険サービス事業者の代表、国分寺市医師会の代表国分寺市歯科医師会の代表、民生委員の代表、市内の障害者団体の代表、国分寺市社会福祉協議会の代表、権利擁護事業を実施する団体の代表

［事務局］　高齢福祉課

日　程		主な協議事項
第1回	令和7年4月24日	1　答申第1号（案）について
第2回	令和7年6月9日	1　令和6年度　地域包括支援センターの評価について
		2　令和7年度　地域包括支援センター事業計画(案)について
		3　令和6年度 基幹的機能業務評価について
第3回	令和7年8月18日	1　介護予防支援業務　委託先居宅介護支援事業所について



【2】 地域包括支援センターの業務状況

「地域包括支援センターの創設」（平成18年４月）

【設置目的】
「地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために必要な援助を行うことにより、
その保健医療の向上及び福祉の増進を包括的に支援すること」

地域包括支援センターは、公正・中立の立場から地域の中核機関として下記の基本機能を担い、保健や福祉の専門職が配置され、地域からの相談対応を行う等の役割を果たします。

〔基本機能〕

○介護予防ケアマネジメント事業
介護予防事業・予防給付（要支援1・2）が効果的かつ効率的に提供されるような適切なマネジメントを行うこと
○総合相談支援事業
高齢者の心身の状況や生活の実態・必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け地域における適切なサービスや関係機関・制度につなげる支援を行うこと
○権利擁護事業
成年後見制度の利用促進や地域福祉権利擁護事業等の活用、消費者被害防止、高齢者虐待防止等権利擁護につとめること また、そのための連携やネットワークの構築に関すること
○包括的・継続的ケアマネジメント事業
高齢者に対し、包括的・継続的なサービスが提供されるよう地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制を整えること ケアマネジャーに対する個別的な相談や助言、地域のケアマネジャーのネットワークづくり

Ⅰ 地域包括ケアシステム構築に向けた取組

■ Ⅰ－1 地域包括ケアシステムの構築に向けて



［主管課］　高齢福祉課

［目　的］　①保健・医療・福祉の関係機関の連携強化とネットワーク構築
②地域の課題把握とその解決に向けての検討
③サービスの総合調整

［構　成］　地域ケア会議（市全域）、小地域ケア会議（市内6か所）で構成し、その他に専門部会（医療介護連携部会・介護予防部会・権利擁護部会）を設置
各種会議で協議した事項を地域ケア会議へ報告

1－1） 地域ケア会議

［年間テーマ］　自分らしく　豊かな日々を暮らすために

［委　員］　市内関係機関代表、地域包括支援センター、庁内関係部署

［事務局］　高齢福祉課

日程		協議テーマ	参加人数
1	令和7年8月26日	①専門部会等開催報告 ②小地域ケア会議開催報告（西地区のみ） ③第9期地域ケア会議について ④小地域ケア会議から抽出された地域課題について（東地区より）	24
2	令和8年3月17日	①専門部会等開催報告 ②小地域ケア会議開催報告（東地区のみ） ③昨年度抽出された地域課題「高齢者に限らない情報発信・地域にすでにあるネットワークとの連携・活用」に関しての取組について ④小地域ケア会議から抽出された地域課題について（西地区より） ⑤小地域ケア会議から考える地域課題	26

1－2） 小地域ケア会議

［事務局］　地域包括支援センター

＊高齢福祉課は、相談支援係の職員が出席　　＊下段　参加機関

	第1回	第2回
もとまち	令和7年7月18日	令和8年1月27日
	【テーマ】 オートロックマンションの課題 【内容】 ①地域ケア会議の概要説明・前回報告（昨年度含む） ②グループワーク ③発表 ④講評	【テーマ】 孤立しやすい居住環境について 【内容】 ①小地域ケア会議の振返り・作業チーム活動報告 ②マンション理事会メンバーからのお話 ③質疑応答 ④感想・意見交換 ⑤講評 ⑥次回の会議開催について
	歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護支援事業所、民生委員・児童委員協議会、地域福祉コーディネーター、高齢福祉課	歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援事業所、民生委員・児童委員協議会、地域福祉コーディネーター、マンション理事会メンバー、高齢福祉課
こいがくぼ	令和7年7月10日	令和8年1月29日
	【テーマ】 おひとりさまの終活～身元保証人を勉強しよう～ 【内容】 ①講義 「おひとりさまの終活～身元保証人を勉強しよう～」 講師：行政書士 ②グループワーク ③発表 ④まとめ	【テーマ】 身寄りがない方の医療の備えについて考えよう～事前アンケート・厚生労働省のガイドラインから～ 【内容】 ①前回会議の振り返り・今回のテーマ説明 ②勉強会「身寄りがない方の医療について」 ③グループワーク・発表 ④まとめ
	医師会、歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援事業所、民生委員・児童委員協議会、行政書士（講師）、地域福祉コーディネーター、高齢福祉課	医師会、歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援事業所、民生委員・児童委員協議会、地域福祉コーディネーター、高齢福祉課
ほんだ	令和7年7月9日	令和8年1月28日
	【テーマ】 任意後見制度について 【内容】 ①講義 「高齢になっても地域で安心して暮らすために」～その人らしい暮らしを一緒に作る成年後見制度～ 講師：権利擁護センターこくぶんじ　職員 ②質疑応答・意見交換 ③講評	【テーマ】 高齢になっても地域で安心して暮らすために～暮らしを守る権利擁護制度を知ろう～ 【内容】 ①前回の振り返り、第1回国分寺市地域ケア会議の報告 ②演習 ③グループワーク・発表 ④質疑応答 ⑤講評
	薬剤師会、居宅介護支援事業所、小規模多機能居宅介護支援事業所、民生委員・児童委員協議会、地域福祉コーディネーター、権利擁護センターこくぶんじ、高齢福祉課	歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援事業所、民生委員・児童委員協議会、地域福祉コーディネーター、権利擁護センターこくぶんじ、ボランティア活動センターこくぶんじ、高齢福祉課
なみき	令和7年6月27日	令和8年2月19日
	【テーマ】 悪質商法から高齢者を守るためにできることを“カタチ”にして支援者の“チカラ”に 【内容】 ①令和6年度地域ケア会議への課題提起 ②令和7年度小地域ケア会議のねらい ③グループワーク ④発表	【テーマ】 続　悪質商法から高齢者を守るためにできることを“カタチ”にして、支援者の“チカラ”に 【内容】 ①令和6～7年度の小地域ケア会議の経過 ②「こくぶんじ版もしものときの私のおまもり」 ③「おまもり」の周知活動について ④グループワーク・発表 ⑤今後の取組について ⑥感想
	歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援事業所、民生委員・児童委員協議会、小規模多機能型居宅介護支援事業所、権利擁護センターこくぶんじ、経済課、高齢福祉課	歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援事業所、民生委員・児童委員協議会、小規模多機能型居宅介護支援事業所、地域福祉コーディネーター、経済課、高齢福祉課

	第1回	第2回
ひよし	令和7年7月17日	令和8年2月４日
	【テーマ】 移動が難しい方が自立した楽しみのある生活を送るには・・・Part1 【内容】 ①これまでの小地域ケア介護の経過と今後の予定 ②説明：国分寺市の取組について～国分寺市都市交通マスタープランについて～ 説明者：まちづくり計画課職員 ③グループワーク・発表 ④講評	【テーマ】 移動が難しい方が自分らしく楽しみのある生活を送るには・・・Part2 【内容】 ①これまでの小地域ケア介護の経過と今後の予定 ②本日の目的、目標の確認 ③国分寺市や他市の取組状況について ④グループワーク ⑤感想の共有 ⑥本日のまとめ
	医師会、歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援事業所、民生委員・児童委員協議会、小規模多機能型居宅介護支援事業所、地域福祉コーディネーター、まちづくり計画課、高齢福祉課	医師会、歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援事業所、民生委員・児童委員協議会、小規模多機能型居宅介護支援事業所、地域福祉コーディネーター、地域共生推進課、高齢福祉課
ひかり	令和7年7月24日	令和8年2月９日
	【テーマ】 自分らしく豊かな日々を暮らすために～今、このエリアにある活動・ない活動・ほしい活動～ 【内容】 ①地域ケア会議（体系図含む）の説明 ②ひかりエリアに「ある活動・ない活動・ほしい活動」について意見交換 ③「こくにし富士さんぽマップ」について ④講評	【テーマ】 自分らしく豊かな日々を暮らすために～集まらなくても、ひとりじゃない～ 【内容】 ①前回までの振り返り ②ひかりエリアにある活動の説明 ③意見交換 ④アンケート ⑤まとめ
	医師会、歯科医師会、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護支援事業所、民生委員・児童委員協議会、地域福祉コーディネーター、高齢福祉課	医師会、歯科医師会、薬剤師会、居宅介護支援事業所、小規模多機能型居宅介護支援事業所、民生委員・児童委員協議会、地域福祉コーディネーター、高齢福祉課

１－３） 専門部会

［目　的］　地域包括ケアシステム構築に向けて各種専門分野の関係者が地域の課題の共有・協議を行い地域ケア会議へ報告

［事務局］　高齢福祉課

	第1回	第2回
医療・介護連携部会	令和7年7月11日	令和8年2月20日
介護予防部会	令和7年6月26日	令和8年1月22日
権利擁護部会	令和7年6月19日	令和8年1月15日

■Ⅰ－2 民生委員との連携

民生委員・地域包括支援センター連絡会

〔内 容〕・新年度の体制、事業紹介　　・情報交換、意見交換

〔開 催〕 市内6か所各センターのエリアで開催

	もとまち	こいがくぼ	ほんだ
日程	令和7年9月17日	令和7年10月17日	令和7年6月11日
出席人数	22	5	20
	なみき	ひよし	ひかり
日程	令和7年6月4日	令和7年6月2日	令和7年6月23日
出席人数	4	15	7

＊ 出席者数は民生委員のみ

＊ 高齢福祉課は全会場出席

Ⅱ 地域包括支援センターの運営に関する取組

■Ⅱ－1 地域包括支援センターの連携会議

1－1） 地域包括支援センター全体会

〔目 的〕①地域包括支援センターの効果的な運営の支援
②行政と各センターの連携強化と地域包括支援体制の総合調整

〔内 容〕①行政からの情報提供　②各センター間の情報交換及び業務に関する協議　③研修会等

〔開 催〕2回 （『2－2）研修会』を参照のこと）

1―2） 地域包括支援センター職種別連絡会

〔目 的〕 地域包括支援センターに配置されている各専門職間の連携の強化と業務調整

〔内 容〕 業務状況の確認　 実務の検討

	看護職	社会福祉士	主任介護支援専門員	プランナー	第2層生活支援コーディネーター	認知症地域支援推進員
開催回数	6回	3回	4回	3回	3回	6回

1ー3） 管理者会議

〔目　的〕 高齢福祉課と各地域包括支援センターの管理者との連絡・協議等

隔月開催

〔開　催〕 6回



■Ⅱ－2　地域包括支援センターの人材育成支援

2－1） 事例検討会

〔目　的〕 地域包括支援センターの人材育成と業務支援

・事例に対するアセスメント能力や対応能力の向上

・支援困難事例における課題共有と問題解決へのサポート

・包括的・継続的ケアマネジメント支援業務において必要な視点と支援機関としての対応力の向上

〔事　務　局〕 高齢福祉課

日　程		事例提出	参加人数
1	令和7年6月12日	ほんだ	19
2	令和7年9月4日	ひよし	20
3	令和7年12月4日	こいがくぼ	17

2－2） 研修会

日　程		内　容	参加人数
第1回	令和7年4月14日	「地域包括センター業務チェック　振り返りについて」	39
第2回	令和7年10月2日	「要約力について」	42

Ⅲ　介護予防ケアマネジメント

■Ⅲ－１　予防給付、介護予防・日常生活支援総合事業　契約締結状況　（要支援1・2）

要支援1・2の認定者は地域包括支援センターが利用者と契約をする
（居宅介護支援事業所（ケアマネジャー）への委託も可能）

◇要支援1・2の認定者のうち契約者と未契約者の人数と割合

契　約：要支援1・2の認定者の内、包括と契約している人数

未契約：要支援1・2の認定者から、契約者数を引いた人数

令和8年3月末

	全　市		もとまち		こいがくぼ		ほんだ		なみき		ひよし		ひかり	
契約	1,029	65.0%	159	64.1%	174	81.7%	194	65.3%	151	63.2%	169	56.0%	182	64.3%
未契約	553	35.0%	89	35.9%	39	18.3%	103	34.7%	88	36.8%	133	44.0%	101	35.7%
合計（認定者）	1,582	100.0%	248	100.0%	213	100.0%	297	100.0%	239	100.0%	302	100.0%	283	100.0%

◇予防給付実績における委託・直営の割合

令和8年3月末

	全　市		もとまち		こいがくぼ		ほんだ		なみき		ひよし		ひかり	
直営	223	35.8%	40	41.7%	64	57.1%	29	26.4%	32	37.6%	31	29.0%	27	23.9%
委託	400	64.2%	56	58.3%	48	42.9%	81	73.6%	53	62.4%	76	71.0%	86	76.1%
合計	623	100.0%	96	100.0%	112	100.0%	110	100.0%	85	100.0%	107	100.0%	113	100.0%

◇総合事業実績における委託・直営の割合

令和8年3月末

	全　市		もとまち		こいがくぼ		ほんだ		なみき		ひよし		ひかり	
直営	150	36.9%	27	42.9%	35	56.5%	31	36.9%	30	45.5%	15	24.2%	12	17.4%
委託	256	63.1%	36	57.1%	27	43.5%	53	63.1%	36	54.5%	47	75.8%	57	82.6%
合計	406	100.0%	63	100.0%	62	100.0%	84	100.0%	66	100.0%	62	100.0%	69	100.0%

◇総合事業(従前相当)実績における委託・直営の割合

令和8年3月末

	全　市		もとまち		こいがくぼ		ほんだ		なみき		ひよし		ひかり	
直営	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
委託	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%
合計	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%	0	0.0%

■Ⅲ－２　介護予防給付・介護予防ケアマネジメント（介護予防・日常生活支援総合事業）

３－1）　プラン作成数（直営）

地域包括支援センターが直接担当する要支援1・2の認定者の予防プランの作成

令和8年3月末

			全　市	もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
（A～D表）	初回	要支援1	97	14	34	9	20	8	12
		要支援2	72	10	22	13	11	6	10
		事業対象者	8	4	0	2	2	0	0
		計(a)	177	28	56	24	33	14	22
	継続	要支援1	187	38	47	25	26	27	24
		要支援2	249	44	47	36	53	47	22
		事業対象者	8	0	1	1	6	0	0
		計(b)	444	82	95	62	85	74	46
	(a)＋(b)合計		621	110	151	86	118	88	68
サービス担当者会議		要支援1	267	51	80	36	44	25	31
		要支援2	306	53	69	53	65	43	23
		事業対象者	17	4	1	4	8	0	0
		計	590	108	150	93	117	68	54

３－2）　ケアマネジメント実施数（委託）

要支援1・2の認定者のうち居宅介護支援事業所に委託した予防プランのマネジメント業務

令和8年3月末

			全　市	もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
（A～D表）	初回	要支援1	74	18	10	13	8	11	14
		要支援2	81	9	12	21	7	0	32
		事業対象者	1	0	0	0	0	0	1
		計(a)	156	27	22	34	15	11	47
	継続	要支援1	213	32	26	48	36	33	38
		要支援2	285	38	32	63	45	51	56
		事業対象者	4	0	0	0	2	2	0
		計(b)	502	70	58	111	83	86	94
	(a)＋(b)合計		658	97	80	145	98	97	141
サービス担当者会議		要支援1	226	40	35	53	32	31	35
		要支援2	267	28	33	68	38	35	65
		事業対象者	5	0	0	0	1	2	2
		計	498	68	68	121	71	68	102

Ⅳ　介護予防事業

■Ⅳ－１　地域づくりによる介護予防推進支援事業
集いの場「暮らしを拡げる10の筋力トレーニング」

1-1）ハイブリッドフレイル予防合同筋トレ

	日程	参加人数（延数）
1	令和７年７月22日	80
2	令和７年11月14日	41
3	令和８年２月27日	40



1-2）集いの場立ち上げ支援、継続支援

高齢福祉課、各地域包括支援センターが実施

	地域包括支援センター	立ち上げ支援	継続支援
1	もとまち	0	6
2	こいがくぼ	0	8
3	ほんだ	0	16
4	なみき	0	68
5	ひよし	1	66
6	ひかり	9	180
7	高齢福祉課	2	35
		計（延べ）	391

1-3）集いの場活動応援説明会

	日程	地域包括支援センター	会場	参加人数
1	令和７年５月28日	ひよし	うれしのの里	16
			計	16

1-4）集いの場登録団体（令和8年3月31日時点）

	団体名	グループ数	参加人数
1	くろがね友和会	1	12
2	NPOあおぞら	9	137

	団体名	グループ数	参加人数
3	高木町ひだまり	1	11
4	光町北部自治会光・絆の会／ つどいグループ	1	7
5	うれしのつどいの会	1	12
6	月の会	1	16
7	ひだまり健康グループ	1	9
8	西元町体操サークル	1	14
9	けやき元気会	1	8
10	はればれ健康クラブ	1	22
11	鷹の台グループ	1	12
12	恋ヶ窪ベース	1	19
13	南町１丁目グループ	1	14
14	西町筋トレ	1	6
15	百千の会	1	15
16	はなみずき	1	7
17	並木町ミンナ	1	16
18	さつき	1	8
19	内藤二丁目体操クラブ	1	6
20	男子体操クラブ	1	5
21	マリーゴールド	1	12
22	虹の会	1	9
23	内藤みんなの会	1	6
24	ひまわりグループ	1	10
25	さくら	1	13
26	しなやか・10の筋トレ	1	15
27	かようかい	1	25
28	ひよしのつどい	1	9
29	梅の花	1	2
30	チェアタップ同好会	1	5
計		38	462

Ⅴ　総合相談支援

■Ⅴ－1　総合相談支援実施状況

1－1）新規・継続件数

	計	市	地域包括支援センター					
			もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
総件数	27,344	2,050	3,953	2,749	3,815	5,328	3,754	5,695
	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)
新　規	2,777	931	330	265	321	248	382	300
	(10.2%)	(45.4%)	(8.3%)	(9.6%)	(8.4%)	(4.7%)	(10.2%)	(5.3%)
継　続	24,567	1,119	3,623	2,484	3,494	5,080	3,372	5,395
	(89.8%)	(54.6%)	(91.7%)	(90.4%)	(91.6%)	(95.3%)	(89.8%)	(94.7%)
(参考) 令和6年度	27,521	1,816	3,951	2,478	3,988	5,337	3,667	6,284

◆令和7年度

総　数	27,344	(100.0%)
市	2,050	(7.5%)
委託	25,294	(92.5%)

◆令和6年度

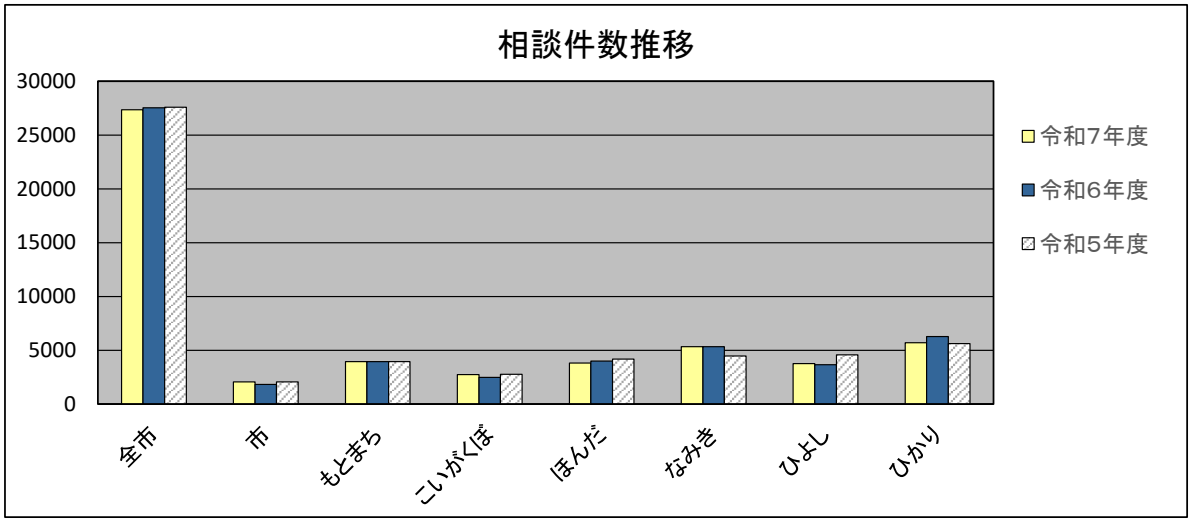
総　数	27,521	(100.0%)
市	1,816	(6.6%)
委託	25,705	(93.4%)

◆令和5年度

総　数	27,584	(100.0%)
市	2,046	(7.4%)
委託	25,538	(92.6%)

＊例年通り相談総数に占める委託先センターの割合が92.5%(7年度)、93.4%(6年度)と高く、地域の相談拠点として周知されている。

＊前年度と比べて、相談件数、その中の新規相談と継続相談の比率は、いずれも横ばいである。



1－2） 実施形態別件数

	計	市	地域包括支援センター					
			もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
総件数	27,344	2,050	3,953	2,749	3,815	5,328	3,754	5,695
	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)
訪 問	3,719	52	555	562	593	599	644	714
	(13.6%)	(2.5%)	(14.0%)	(20.4%)	(15.5%)	(11.2%)	(17.2%)	(12.5%)
来 所	3,685	740	612	220	483	511	450	669
	(13.5%)	(36.1%)	(15.5%)	(8.0%)	(12.7%)	(9.6%)	(12.0%)	(11.7%)
電 話	18,228	1,213	2,531	1,885	2,681	3,774	2,630	3,514
	(66.7%)	(59.2%)	(64.0%)	(68.6%)	(70.3%)	(70.8%)	(70.1%)	(61.7%)
その他	1,712	45	255	82	58	444	30	798
	(6.3%)	(2.2%)	(6.5%)	(3.0%)	(1.5%)	(8.3%)	(0.8%)	(14.0%)

■Ⅴ－2 世帯別相談実数

	計	市	地域包括支援センター					
			もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
実施総数	27,344	2,050	3,953	2,749	3,815	5,328	3,754	5,695
	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)	(100.0%)
単身世帯	9,765	648	1,460	1,162	1,594	1,186	1,543	2,172
	(35.7%)	(31.6%)	(36.9%)	(42.3%)	(41.8%)	(22.3%)	(41.1%)	(38.1%)
高齢者世帯	8,386	465	1,055	920	1,062	2,159	1,022	1,703
	(30.7%)	(22.7%)	(26.7%)	(33.5%)	(27.8%)	(40.5%)	(27.2%)	(29.9%)
高齢者含む世帯(同居)	8,334	751	1,346	611	1,076	1,889	1,101	1,560
	(30.5%)	(36.6%)	(34.1%)	(22.2%)	(28.2%)	(35.5%)	(29.3%)	(27.4%)
その他	434	74	55	27	49	58	36	135
	(1.6%)	(3.6%)	(1.4%)	(1.0%)	(1.3%)	(1.1%)	(1.0%)	(2.4%)
不 明	425	112	37	29	34	36	52	125
	(1.6%)	(5.5%)	(0.9%)	(1.1%)	(0.9%)	(0.7%)	(1.4%)	(2.2%)

単身世帯	・・・・・・・・・	65歳以上の単身の世帯
高齢者世帯	・・・・・・・・・	65歳以上の高齢者のみで構成される世帯 （夫婦・親子・姉妹など）
高齢者を含む世帯	・・・・・・・・・	高齢者と子の世帯（単身・家族含む）の同居
その他	・・・・・・・・・	上記いずれも属さない 世帯構成員65歳未満
不 明	・・・・・・・・・	匿名での相談・世帯状況の把握にいたらなかった場合

※表中の割合は四捨五入により、合計が100%にならない場合があります。

■Ｖ－３　相談内容

	計		市		地域包括支援センター												(参考)
					もとまち		こいがくぼ		ほんだ		なみき		ひよし		ひかり		6年度
相談総数(延べ)	42,478		2,355		5,646		3,779		6,649		9,620		4,869		9,560		42,845
1 在宅福祉サービス	1,622		62		216	5位	191		491	4位	143		144		375		1,639
2 介護保険サービス	14,953	1位	870	1位	2,330	1位	1,683	1位	2,227	1位	2,688	1位	2,106	1位	3,049	1位	14,889
3 入所相談	1,438		79		234	4位	110		201		450		163		201		1,552
4 介護予防・日常生活支援総合事業	1,601		19		172		230	4位	406	5位	254		88		432	5位	1,513
5 保健・医療サービス	6,473	2位	172	5位	1,197	2位	447	2位	767	3位	1,233	3位	443	3位	2,214	2位	6,346
6 介護の技術・方法	1,362		35		46		128		223		421		149		360		1,491
7 介護者支援に関すること	1,421		49		20		30		277		477		264	4位	304		
8 くらしの相談	4,523	3位	175	4位	160		197	5位	901	2位	1,587	2位	766	2位	737	3位	4,534
9 経済的な相談	1,375		87		109		145		288		380		92		274		1,155
10 家族関係	2,363	5位	253	3位	102		77		314		701	5位	185		731	4位	2,222
11 権利擁護	2,966	4位	415	2位	652	3位	254	3位	275		813	4位	201	5位	356		3,194
12 住宅相談	310		9		68		30		79		32		36		56		465
13 社会参加	256		2		7		8		23		79		25		112		195
14 直接的支援・対応	279		70		51		22		45		55		24		12		583
15 緊急支援・対応	220		9		28		26		44		50		33		30		296
16 障害福祉に関すること	333		16		45		7		31		112		37		85		501
17 認知症初期集中支援チームに関すること	20		3		3		0		0		12		0		2		18
18 見守りに関すること	720		19		187		126		54		99		110		125		1,010
19 その他	243		11		19		68		3		34		3		105		1,242

◆令和7年度

第1位 介護保険サービス	14,953
第2位 保健・医療サービス	6,473
第3位 くらしの相談	4,523

◆令和6年度

第1位 介護保険サービス	14,889
第2位 保健・医療サービス	6,346
第3位 くらしの相談	4,534

◆令和5年度

第1位 介護保険サービス	15,946
第2位 保健・医療サービス	7,408
第3位 くらしの相談	3,879

＊相談件数と相談内容件数に違いがあるのは、相談内容は延べ件数であることによる。一つのケースについて、複合的な課題を抱える相談が増加している。



■Ｖ－４ 相談把握経路

相談がどのような対象者（経路）から持ち込まれたのかを計上

		計		市		地域包括支援センター												(参考)
						もとまち		こいがくぼ		ほんだ		なみき		ひよし		ひかり		6年度
相談総数（延べ）		30,488		2,124		4,491		3,436		4,125		5,751		4,173		6,388		30,312
1	本　人	8,487	2位	356	3位	1,275	2位	843	2位	1,374	2位	1,584	2位	1,505	2位	1,550	2位	8,678
2	家　族	10,333	1位	689	2位	1,591	1位	1,180	1位	1,394	1位	2,214	1位	1,636	1位	1,629	1位	10,738
3	ケアマネジャー	4,053	3位	113	4位	453	3位	452	3位	362	3位	765	3位	382	3位	1,526	3位	3,920
4	サービス事業者	1,706	5位	1		208	5位	212	5位	313	4位	375	4位	183	4位	414	4位	1,407
5	地域包括支援センター	859		711	1位	6		9		11		19		12		91		791
6	権利擁護センター	325		5		60		86		39		50		16		69		393
7	自立生活サポートセンター	82		0		7		8		13		2		4		48		80
8	地域福祉コーディネーター	32		0		4		4		3		9		3		9		57
9	基幹相談支援センター	77		0		21		4		0		19		2		31		41
10	相談支援事業者	52		1		21		5		11		7		2		5		68
11	民生委員	64		0		8		3		14		7		18		14		109
12	自治会・町内会	17		0		4		6		2		0		3		2		18
13	近隣	199		7		36		61		19		20		35		21		202
14	友人・知人	167		15		38		23		26		13		28		24		225
15	商店	55		0		3		10		9		17		4		12		44
16	保健所	94		0		52		3		1		8		9		21		44
17	医療関係	1,831	4位	72	5位	388	4位	278	4位	310	5位	306	5位	175	5位	302		1,566
18	施設関係者	319		37		91		29		32		68		17		45		207
19	金融機関	30		0		0		11		10		5		1		3		41
20	警察	141		49		12		7		22		24		8		19		131
21	高齢福祉課	936		4		104		101		113		154		62		398	5位	854
22	生活福祉課	138		10		38		32		9		14		14		21		165
23	障害福祉課	69		17		6		9		1		5		23		8		97
24	その他行政機関	81		12		9		12		5		5		2		36		59
25	認知症疾患医療センター	9		0		3		0		0		4		2		0		22
26	後見人	121		12		23		13		23		25		1		24		69
27	施設紹介業者	23		0		11		1		2		6		3		0		42
28	その他	188		13		19		34		7		26		23		66		244

◆令和7年度	
第1位 家族	10,333
第2位 本人	8,487
第3位 ケアマネジャー	4,053

◆令和6年度	
第1位 家族	10,738
第2位 本人	8,678
第3位 ケアマネジャー	3,920

◆令和5年度	
第1位 家族	11,155
第2位 本人	8,802
第3位 ケアマネジャー	3,892

■Ｖ－５　関係機関連絡・連携

相談内容や対象者の状況から必要と判断して関係機関や専門機関と連絡・連携して対応したものを計上

		計		市		地域包括支援センター										(参考)
						もとまち		こいがくぼ		ほんだ		なみき		ひよし		ひかり		6年度
総数(延べ)		14,244		721		2,276		2,065		1,512		3,331		2,309		2,030		16,782
1	地域包括	623	4位	539	1位	16		15		3		22		17		11		516
2	社会福祉協議会	531	5位	5	5位	81	4位	127	4位	45	4位	106	5位	103	4位	64	4位	802
3	障害福祉	184		2		47	5位	12		30		49		16		28		200
4	保健医療機関	2,032	2位	66	3位	526	2位	297	2位	137	3位	471	2位	320	3位	215	3位	1,939
5	権利擁護機関	264		6	4位	37		29		31	5位	119	4位	6		36		259
6	サービス機関	8,163	1位	5	5位	1,263	1位	1,225	1位	1,085	1位	2,029	1位	1,373	1位	1,183	1位	9,332
7	行政機関	2,030	3位	98	2位	262	3位	251	3位	158	2位	462	3位	371	2位	428	2位	2,721
8	地域	398		0		44		104	5位	23		61		103	4位	63	5位	971
9	その他	19		0		0		5		0		12		0		2		42

◆令和7年度	
第1位 サービス機関	8,163
第2位 保健医療機関	2,032
第3位 行政機関	2,030

◆令和6年度	
第1位 サービス機関	9,332
第2位 行政機関	2,721
第3位 保健医療機関	1,939

◆令和5年度	
第1位 サービス機関	9,044
第2位 行政機関	2,354
第3位 保健医療機関	1,946

＊連携件数はやや減少しているものの、多機関連携を要する複雑化・複合化した相談への対応が引き続き求められている。

■Ｖ－６　アウトリーチ活動

相談に結びつかない方と地域包括支援センターが繋がることを目指し、地域や団体、個別にアプローチする

日程	参加人数	会場（団体名）	テーマ・内容	担当
令和8年3月13日	38	本町・南町地域センター	老後を安心して過ごすために	もとまち
令和8年3月27日	1	武蔵国分寺公園	介護保険申請の流れを説明	こいがくぼ
令和7年7月25日	7	カフェ楽	おしゃべり会～理想の施設選びに大事なこと～	ほんだ
令和8年2月17日	6	カフェ楽	おしゃべり会～地域に必要な居場所について語ろう～	
令和8年3月19日	5	カフェ楽	おしゃべり会～地域でつながろう～	
令和7年5月24日	23	並木公民館	並木公民館まつり 「介護予防」（セルフチェックと体操体験）	なみき
令和7年10月26日	11	北町地域センター	北町地域センターまつり　介護予防・認知症予防啓発	
令和7年4月10日	3	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	ひかり
令和7年5月8日	6	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和7年6月21日	1	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和7年7月10日	2	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和7年8月14日	2	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和7年9月11日	0	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和7年10月9日	2	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和7年11月13日	2	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和7年12月11日	2	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和8年1月8日	4	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和8年2月12日	6	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	
令和8年3月12日	5	坂の上のひとつ	出張相談まるっとひとつ	

Ⅵ　権利擁護

■Ⅵ－１　権利擁護相談内訳

総合相談支援で計上された権利擁護相談の内訳を計上

	計	市	もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり	(参考)6年度
総数(延べ)	2,966	415	652	254	275	813	201	356	3,194
1　成年後見制度	701	116	84	90	103	197	21	90	769
2　高齢者虐待	1,605	267	420	83	121	427	102	185	1,552
3　消費者被害	127	1	17	20	11	42	5	31	211
4　地域福祉権利擁護事業	280	12	48	33	32	64	63	28	381
5　その他	253	19	83	28	8	83	10	22	281

■Ⅵ－２　成年後見制度利用支援

相談支援の結果から、市が成年後見制度の利用支援を実施したものを計上

	7年度	(参考)	
		6年度	5年度
市長申立て	2	5	0
市長申立て検討・調整中	0	0	4
親族申立て・調整中	0	0	0
計	2	5	4

*各地域包括支援センターや権利擁護センターと連携して対応

*認知症、身寄りがないなど申立てが困難な場合に市が申立てを代行

■Ⅵ－３　高齢者虐待

３－１） 高齢者虐待通報・相談件数

高齢者虐待に関する通報及び相談を受けた件数とそのうち養護者によるものを再掲

通報		7年度	（参考）	
			6年度	5年度
通報・相談件数		44	36	26
内訳	高齢者虐待の事実ありと判断した事例	12	12	9
	（うち養護者による虐待）	(13)	(12)	(9)
	高齢者虐待ではないと判断または判断には至らなかった事例	30	24	17

３－２） 高齢者虐待の分類（高齢者虐待防止・養護者支援法による区分）

＊新規把握　高齢者虐待の事実ありと判断した事例 12件

高齢者虐待ではないと判断または判断には至らなかった事例 31件

◇高齢者虐待の分類内訳　（件数）

虐待の種別・類型		7年度	（参考）	
			6年度	5年度
		12	12	9
内訳	身体的虐待	6	7	3
	心理的虐待	9	8	7
	性的虐待	0	0	0
	経済的虐待	1	0	0
	介護の世話の放棄・放任	5	0	0

注）内訳は複数計上

◇高齢者虐待ではないと判断または判断には至らなかったケースの内訳　（件数）

高齢者虐待ではないと判断または判断には至らなかった事例		7年度	（参考）	
			6年度	5年度
		30	24	17
内訳	不適切介護	4	7	2
	DV・家庭内暴力（疑い含む）	6	2	6
	疾患による問題	10	6	6
	家族の問題	20	13	7
	その他	0	0	0

注）内訳は複数計上

３－３） 高齢者虐待に関する支援状況（対応策としての分離の有無）

新規 ： 令和7年度に新規に高齢者虐待として把握したケースの支援状況

継続 ： 令和7年度以前に把握して7年度中も継続しているケースの支援状況

支援内容	新　規	継　続
件数	12	20
被虐待高齢者の保護と虐待者からの分離を行った事例	7	8
被虐待高齢者と虐待者を分離していない事例	5	10
被虐待高齢者が複数で異なる対応（分離と非分離）の事例	0	0
対応について検討、調整中の事例	0	0
その他	0	2

3－4） 支援における連携機関

（延数）

1	地域包括支援センター	34	10	司法書士	0
2	ケアマネジャー	15	11	社会福祉士	1
3	サービス事業者	12	12	民生委員	0
4	施　設	1	13	近隣	1
5	医療機関	8	14	高齢福祉課計画・事業推進係	0
6	保健所	2	15	生活福祉課	2
7	警察	43	16	健康推進課	0
8	社会福祉協議会	1	17	障害福祉課	7
9	弁護士	2	18	その他	2

＊虐待の判断に至らなかった事例も計上

＊家族の疾患や抱える課題、経済的な問題等について支援が必要な事例が増加
　適切な環境整備や課題解決へ向けた支援のため、関係機関との連携が増えている

＊今年度も警察からシートでの相談・通報を受ける事例が特に多かった

3－5） 虐待防止ネットワーク会議の開催

〔目　的〕 高齢者虐待の防止等に関係する機関との連携協力体制を推進する

開催日程	会議内容
令和7年6月4日	虐待防止ネットワーク実務者会議
令和7年10月3日	虐待防止ネットワーク代表者会議

3－6） 高齢者虐待対応研修の開催（オンライン開催）

〔目　的〕 高齢者の権利擁護の理解を促進する

日　程	内容	出席人数
令和8年2月13日	カスタマーハラスメントと権利擁護 ～養護者理解から始める対応～	71

■Ⅵ－4　悪質商法撃退キャラバン



〔目的〕　消費者被害防止・啓発事業として実施

〔企画〕　地域包括支援センターが6センターで、市内1か所で合同開催

〔事務局〕 高齢福祉課

開催日時	会場	参加人数	派遣講師・協力機関
令和7年10月29日	cocobunjiプラザ リオンホールBホール	23	東京都消費生活総合センター、 小金井警察署ふれあいポリス、 経済課消費生活相談室、 防災安全課



Ⅶ 包括的・継続的ケアマネジメント

■Ⅶ－１ ケアマネジャー支援 （個別支援）

１－１） 相談実数

（実数）

計	市	もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
2,675	36	381	606	373	400	418	461

１－２） 相談内容

		計	市	もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
1	ケース共有・照会	1,863	0	341	240	349	307	301	325
2	制度関連	254	33	24	72	23	29	25	48
3	社会資源情報	76	0	8	12	5	30	9	12
4	ケアプラン内容全般	499	2	26	217	45	46	105	58
5	対人援助	57	0	2	3	16	6	12	18
6	医療連携	62	0	1	25	8	5	4	19
7	権利擁護	132	0	22	26	10	26	8	40
8	関係機関調整	149	1	4	10	86	25	5	18
9	家族・介護者支援	225	0	6	51	61	35	29	43
10	その他	63	0	11	5	8	16	5	18
計		3,380	36	445	661	611	525	503	599

１－３） センターの果たした役割

（延数）

		計	市	もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
1	支援チームの構築とチーム全体へのサポートの役割	557	0	15	75	283	49	82	53
2	介護支援専門員等へのサポートの役割	1,317	35	78	257	309	217	238	183
3	支援チームの一員としてのサポートの役割	1,700	0	360	322	226	246	212	334
4	家族・近隣住民等へのサポートの役割	71	0	4	0	5	13	22	27
計		3,645	35	457	654	823	525	554	597

■Ⅶ－２　個別レベル地域ケア会議（個別支援会議）の開催

会議内容		計	もとまち	こいがくぼ	ほんだ	なみき	ひよし	ひかり
1	介護予防（サービスC含む）	10	3	1	0	4	0	2
2	ケアマネジメントの質向上	14	2	4	2	1	4	1
3	地域の支え合い力向上	8	0	2	4	0	2	0
4	地域課題把握	19	2	3	5	8	0	1
5	支援拒否等支援方針検討	42	2	7	6	5	7	15
計		93	9	17	17	18	13	19

■Ⅶ－３　包括的・継続的ケアマネジメント体制構築

３－１）　ケアマネジャー連絡会

〔開催回数〕 3回　　〔参加者〕 国分寺市民が利用する又は利用すると想定される介護支援専門員

〔事務局〕　高齢福祉課

日　程		内　容	参加人数
第1回	令和7年8月18日	根拠のあるケアプラン ～事例をもとに第1表から第2表をつくる～	60
第2回	令和7年12月15日	ヤングケアラーへの支援 ～ケアマネジャーとしての関わり～	53
第3回	令和8年3月2日	ケアマネジャー連絡会総会 部会報告会	69

３－２）　訪問介護サービス提供責任者連絡会

〔開催回数〕 2回　　〔世話人〕 市内訪問介護事業所サービス提供責任者　　〔事務局〕 高齢福祉課

日　程	内　容	参加人数
令和7年8月7日	人材確保について～人材の〈確保〉〈定着〉を考える～	15
令和8年2月5日	人材確保につなげる！ 訪問介護員の魅力や、やりがいを伝えるSNS活用術を学ぼう！	12

３－３） 訪問看護連絡会



〔開催回数〕 4回　　〔運営〕 市内訪問看護事業所所長 〔事務局〕 高齢福祉課

日　程		内　　容	参加人数
第1回	令和7年5月13日	今年度の連絡会について、 各事業所の報告および情報交換・情報共有、 地域包括支援センターとの意見交換会について	10
第2回	令和7年9月9日	地域包括支援センターとの意見交換会について、 各事業所の報告および情報交換・情報共有	10
第3回	令和7年11月18日	地域包括支援センターとの意見交換、グループワーク、 情報交換・情報共有	18
第4回	令和8年2月10日	各事業所の報告および情報交換・情報共有、 来年度の連絡会について	9

３－４） 通所事業者連絡会

〔開催回数〕 2回　　〔世話人〕市内通所事業所　　〔事務局〕 高齢福祉課

日　程		内　　容	参加人数
第1回	令和7年10月22日	BCPについて	14
第2回	令和8年2月12日	情報共有・意見交換（オンライン）	14

■Ⅶ－４　ケアマネジャー研修

【新任研修】

〔目　　的〕 市内で新しく勤務するケアマネジャーの業務が円滑に行われるよう支援する

日　程	内　　容	参加人数
令和7年5月20日 （ハイブリッド開催）	1　国分寺市の概要と地域包括ケアシステムの深化・推進に向けて 2　地域包括支援センターの役割と機能について 3　要介護認定の概要と手続きについて 4　一般介護予防について 5　高齢者一般施策の概要と手続きについて 6　給付管理業務の概要と手続きについて 7　国分寺市介護予防支援・介護予防マネジメントについて 8　障害福祉サービスとの連携について 9　国分寺市介護保険ケアマネジャー連絡会の紹介	37

【現任研修】

〔目　的〕 現任のケアマネジャーを対象にケアマネジメントの向上や業務を支援する

日　程			内　容	参加人数
現任研修Ⅰ	第1回	令和7年9月29日	高齢者虐待の早期発見の重要性と連携について	57
	第2回	令和7年10月21日 （1日目）	ケアプラン作成研修	31
	第3回	令和7年10月24日 （2日目）	ケアプラン作成研修	33
	第4回	令和7年11月25日	ライブスーパービジョン研修	59
現任研修Ⅱ＊	第1回	令和8年2月9日	病院における入退院支援の実際 ～病院も地域もチームの一員～	93

＊医療介護連携部会委員が所属する機関、各会（国分寺市医師会、国分寺市歯科医師会、国分寺市薬剤師会、ケアマネジャー連絡会、サービス提供責任者連絡会、訪問看護連絡会、通所介護事業者連絡会）、多摩立川保健所等を対象に開催

Ⅷ　生活支援体制整備事業

■Ⅷ－１　国分寺市生活支援介護予防サービス整備推進会議

〔目　的〕　①生活支援・介護予防サービスの体制整備に向けて、多様なサービス提供主体や生活支援コーディネーター等が参画し、定期的な情報共有と連携強化を図る

②支え合いの地域づくり、担い手の拡充に向けた取り組み等を企画・検討し、連携・協働による資源開発を推進する

〔事務局〕 高齢福祉課

	開催日	内容
第1回	令和7年5月８日	各生活支援コーディネーターより令和6年度活動報告 今年度の会議活動方針について、近隣大学の活動報告 地域活動に関する情報提供、市民フォーラムについて
第2回	令和7年7月３日	市民フォーラムについて 担い手養成研修や担い手確保に関する意見交換 介護保険施設へのアンケート実施について
第3回	令和8年2月12日	市民フォーラム開催報告、来年度の開催に関する意見交換 担い手養成研修について、令和8年度の会議活動方針について

■Ⅷ－2「支え合いの地域づくり　国分寺市民フォーラム」

〔目　的〕 支え合いの地域づくりの推進と担い手の拡充を目指した市民への働きかけとして実施

〔事務局〕 高齢福祉課

開催日	会場	内容	来場者数
令和7年10月２日	cocobunjiプラザ リオンホール	65才過ぎから学ぶ整理術と地域参加について ①基調講演「孤立を防ぐ整理術 ～福祉整理の現場から～」 ②パネルディスカッション	57

■Ⅷ－３　担い手養成研修に関すること

〔目　的〕 緩和した基準によるサービス（サービスA）および住民主体型サービス（サービスB）、その他地域の支え合い活動の担い手養成のため実施

〔事務局〕 高齢福祉課

生活支援隊・介護予防応援隊養成研修

日　　程	研修受講者	登録者
令和8年2月13日・16日	34	24





Ⅸ　認知症に関すること

■Ⅸ－１　認知症ケアに関すること



１－１）介護保険地域密着型サービス運営推進会議出席

グループホーム等で開催される会議へ、区域の職員として出席

※認知症対応型グループホーム・デイサービスのみを記載

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回	第6回
あじさい苑	令和7年4月23日	令和7年6月25日	令和7年8月27日	令和7年10月22日	令和7年12月24日	令和8年2月25日
	ほんだ	高齢福祉課	高齢福祉課	ひかり	ほんだ	ひよし
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ とくら	令和7年5月24日	令和7年8月2日	令和7年9月13日	令和7年11月29日	令和8年1月24日	令和8年3月28日
	なみき	ひよし	ひかり	ひよし	ひかり	こいがくぼ
国分寺 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ そよ風	令和7年5月20日	令和7年7月29日				
	ひよし	高齢福祉課				
至誠ﾎｰﾑﾐﾝﾅ ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ	令和7年5月28日	令和7年7月23日	令和7年9月24日	令和7年11月19日	令和8年1月21日	令和8年3月25日
	高齢福祉課	高齢福祉課	高齢福祉課	高齢福祉課	高齢福祉課	高齢福祉課
こもれび家族 国分寺	令和7年5月16日	令和7年7月18日	令和7年9月19日	令和7年11月21日	令和8年1月16日	令和8年3月27日
	ほんだ	もとまち	なみき	高齢福祉課	高齢福祉課	高齢福祉課
愛の家 ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ 国分寺本多	令和7年5月31日	令和7年7月26日	令和7年9月13日	令和7年11月29日	令和8年1月24日	令和8年3月14日
	こいがくぼ	こいがくぼ	もとまち	もとまち	ほんだ	ほんだ
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ なごみ 国分寺北町	令和7年5月17日	令和7年7月19日	令和7年9月20日	令和7年11月15日	令和8年1月17日	令和8年3月14日
	なみき	なみき	こいがくぼ	ひかり	ひかり	こいがくぼ
ｸﾞﾙｰﾌﾟﾎｰﾑ にんじん・西恋ヶ窪	令和7年5月23日	令和7年7月18日	令和7年9月24日	令和7年11月19日	令和8年1月14日	令和8年3月18日
	高齢福祉課	もとまち	高齢福祉課	ほんだ	高齢福祉課	高齢福祉課
花物語 こくぶんじ	令和7年4月25日	令和7年6月27日	令和7年8月22日	令和7年10月31日	令和7年12月19日	令和8年2月27日
	高齢福祉課	ひかり	高齢福祉課	なみき	高齢福祉課	高齢福祉課
デイサービス センター やわらぎ・国分寺	令和7年9月19日	令和8年3月6日				
	高齢福祉課	高齢福祉課				

１－２） 認知症の人を支える家族の会(きさらぎ会）開催支援

きさらぎ会の自主運営を広報・会場確保等で支援

開催：第１月曜日　13:30～16:00

会場：いずみプラザ

	日　程	内　容	参加人数
1	令和7年4月７日	懇談会	7
2	令和7年5月５日	祝日にて休み	
3	令和7年6月２日	懇談会	8
4	令和7年7月７日	懇談会	8
5	令和7年8月４日	懇談会	9
6	令和7年9月１日	懇談会	7
7	令和7年10月６日	懇談会	7
8	令和7年11月３日	祝日にて休み	
9	令和7年12月１日	懇談会	8
10	令和8年1月５日	懇談会	7
11	令和8年2月２日	懇談会	7
12	令和8年3月２日	懇談会	7

■Ⅸ－２　認知症の普及啓発に関すること

「認知症になっても安心して暮らせる国分寺」を目指し、認知症の普及啓発を実施する

２－１）　認知症サポーターキャラバン・メイト

認知症の人や家族などを温かく見守るサポーターの養成講座の講師

実働しているキャラバン・メイト	89 人（令和8年3月末現在）		
市民キャラバン・メイト	48 人	地域包括支援センター職員	38 人
東京都認知症介護指導者	1 人	市職員(高齢福祉課所属)	2 人

【キャラバン・メイト養成研修】

日　程	受講人数	実績
令和7年6月7日	29	市主催でキャラバン・メイト養成研修を実施

【キャラバン・メイト全体会】

〔目　的〕 キャラバン・メイト同士が地域での活動や認知症サポーター養成講座について情報交換を行う

日　程	内　容
令和8年2月28日	共生社会の実現を推進するための認知症基本法と新しい認知症観

２－２）　認知症サポーター養成講座

認知症の正しい知識をもち、認知症の人や家族等をあたたかく見守る応援者である、認知症サポーターの養成講座を実施

	日　程	対　象	参加人数	担当包括
1	令和7年4月24 日	地域住民	4	ほんだ
2	令和7年7月26日	地域住民	8	こいがくぼ
3	令和7年8月28日	企業・団体	11	ひかり
4	令和7年9月5日	地域住民・市職員	39	高齢福祉課
5	令和7年9月20日	小学生	28	もとまち
6	令和7年9月20日	小学生	57	もとまち
7	令和7年10月4日	地域住民	9	なみき
8	令和7年10月11日	地域住民	9	もとまち
9	令和7年10月18日	地域住民	11	ひかり
10	令和7年11月8日	地域住民	18	こいがくぼ
11	令和7年11月13日	地域住民・市職員	19	ひよし
12	令和7年11月20日	地域住民	16	ひかり
13	令和8年1月22日	小学生	56	ひかり
14	令和8年2月18日	企業・団体	4	こいがくぼ
15	令和8年2月19日	小学生	84	もとまち
16	令和8年2月19日	小学生	60	もとまち
17	令和8年2月19日	企業・団体	5	こいがくぼ

	日　程	対　象	参加人数	担当包括
18	令和8年2月20日	企業・団体	5	こいがくぼ
19	令和8年2月21日	企業・団体	5	こいがくぼ
20	令和8年3月6日	中学生	30	ほんだ
21	令和8年3月6日	中学生	29	ほんだ
22	令和8年3月9日	中学生	28	ほんだ
23	令和8年3月9日	中学生	30	ほんだ
24	令和8年3月9日	中学生	196	こいがくぼ
25	令和8年3月13日	小学生	84	ほんだ
26	令和8年3月13日	小学生	57	ほんだ
合　計			902	





２－３） 認知症月間（９月）

［目　的］ 認知症基本法に基づき、認知症や認知症の人の理解促進のため、各種の普及啓発に係る取組を実施した

<table>
<tr><th>日程</th><th>項目</th><th>場所</th><th>内容</th><th>参加人数</th></tr>
<tr><td rowspan="3">令和7年9月中</td><td>認知症コーナーの設置</td><td>市内図書館5館</td><td>認知症図書コーナーの設置</td><td></td></tr>
<tr><td rowspan="2">認知症に関する
情報発信</td><td>各地域包括支援
センター</td><td rowspan="2">認知症情報特設コーナーの設置</td><td></td></tr>
<tr><td>いずみプラザ</td><td></td></tr>
<tr><td>令和7年9月5日</td><td>認知症サポーター
養成講座</td><td>cocobunjiプラザ
リオンホール</td><td></td><td>受講者　39
（うち市職員10）</td></tr>
<tr><td rowspan="3">令和7年9月6日</td><td>映画上映会</td><td rowspan="3">cocobunjiプラザ
リオンホール</td><td>映画「オレンジ・ランプ」</td><td>70</td></tr>
<tr><td>認知症サポーター
フォローアップ講座</td><td>想いをカタチにする
～本人の声がすべての原点である～</td><td>25</td></tr>
<tr><td>事業の紹介など</td><td>国分寺病院認知症疾患医療センター、
きさらぎ会、おれんじCafe、
地域包括支援センターの紹介</td><td></td></tr>
<tr><td>令和7年9月27日</td><td>認知症予防普及啓発
講演会</td><td>cocobunjiプラザ
リオンホール</td><td>認知症に備える
～早期発見・対応の取り組み～</td><td>97</td></tr>
</table>

Ｘ　各種講座・教室・イベント関係

■Ｘ－１　出張講座

	日　程	対　象	参加人数	テーマ	担　当
1	令和7年10月15日	65歳以上の市民	30	介護予防について　モルック体験会	もとまち
2	令和7年2月6日	老人会会員	13	地域包括支援センターについて	
3	令和8年3月13日	マンション住民	21	地域包括支援センター及び 介護保険について	
4	令和7年4月24日	地域の高齢者	20	包括支援センター紹介や悪質商法消費者被害、詐欺被害などの注意喚起など	こいがくぼ
5	令和7年6月10日	史跡通り住宅住民	8	10の筋トレ、詐欺消費者被害防止	
6	令和8年1月29日	老人会・新西緊楽会会員	18	栄養と口腔の講座	ほんだ
7	令和7年5月23日	至誠ホームミンナ	8	「食べて元気に転倒予防」 集いの場さくら	なみき
8	令和7年9月19日	むさきの会参加者	22	消費者被害防止講座　小金井警察署と消費生活相談員より詐欺、消費者被害防止の啓発講座	ひよし
9	令和7年4月14日	三多摩健康友の会	13	認知症予防教室	ひかり
10	令和7年7月1日	デュオセーヌ	21	消費者被害防止講座	
11	令和7年11月15日	市民	9	介護保険について	
12	令和7年11月20日	デュオセーヌ入居者・家族	16	認知症について	
13	令和8年1月22日	八小生徒、教師	56	認知症サポーター養成講座	
14	令和8年3月23日	東京土建	19	介護保険制度や老人ホーム	

■Ｘ－２　介護予防教室

（委託内容：年度内に各担当区域で介護予防教室　1回以上）

	日　程	参加人数	テーマ	担　当
1	令和7年6月13日	39	自分の意志で安心して老後生活を送るために施設の種類や特徴を知る	もとまち
2	令和7年5月21日	21	認知症予防に関する講座	こいがくぼ
3	令和8年2月26日	13	口腔機能低下予防に関する講座	ほんだ
4	令和7年11月26日	7	閉じこもり予防・外出の促進を目的とした講座	なみき
5	令和8年1月24日	10	フレイル予防の講義と体操	ひよし
6	令和7年5月12日	14	いきいき美容講座	ひかり

■Ｘ－３ 家族介護者交流会

〔位置づけ〕 地域包括支援センター 委託事業

（委託内容：年度内に各担当区域で家族介護者交流会 2回以上開催）

	日 程	参加人数	テーマ	担 当
1	令和7年12月2日	9	ちぎり絵と交流会	もとまち
2	令和8月2月3日	5	交流会	
3	令和7年6月21日	3	介護体験共有、意見交換	こいがくぼ
4	令和7月10月4日	2	交流会	
5	令和7月12月13日	1	介護のはなし	
6	令和7年9月17日	6	介護している市民の慰労と介護の工夫を案内	ほんだ
7	令和8年3月11日	10	地域でつながり、語り合おう介護の本音	
8	令和7年4月26日	6	介護者同士の語り合いの場～そうか、わたしだけじゃないんだ～	なみき
9	令和8年1月24日	6	がんばらない介護を目指して～おくすり編～	
10	令和7年4月19日	3	家族介護者交流会	ひよし
11	令和7年5月17日	2	家族介護者交流会	
12	令和7年6月21日	3	家族介護者交流会、9月講座の打ち合わせ	
13	令和7年7月19日	3	家族介護者交流会、9月のイベント企画検討	
14	令和7年9月20日	17	講座『老後や介護にかかるお金の話～2000万円必要なの？～』	
15	令和7年10月18日	4	家族介護者交流会	
16	令和7年11月15日	2	家族介護者交流会	
17	令和7年12月20日	3	家族介護者交流会	
18	令和8年1月17日	3	家族介護者交流会	
19	令和8年2月21日	14	どんな老人ホームがあるの「IN国分寺」市内の高齢者施設について学ぶ	
20	令和8年3月21日	3	家族介護者交流会	
21	令和7年4月24日	5	家族介護者交流会	ひかり
22	令和7年6月27日	5	家族介護者交流会	
23	令和7年8月29日	7	家族介護者交流会	
24	令和7年10月23日	5	家族介護者交流会	
25	令和7年12月26日	5	家族介護者交流会	
26	令和8年2月27日	6	家族介護者交流会	

■ Ｘ－４ 転倒予防教室

【位置づけ】 地域包括支援センター 委託事業

（委託内容：年度内に各担当区域で1回以上開催）

	日 程	参加人数	テーマ	担 当
1	令和7年4月16日	24	筋力アップでケガを予防しよう（転倒しない心得教室）	もとまち
2	令和7年10月15日	15	チェアエクササイズで転倒予防	こいがくぼ
3	令和7年9月24日	27	自分の足でいつまでも～転倒予防のすすめ～	ほんだ
4	令和7年4月30日	14	転倒予防のための栄養を考える～たんぱく質のはたらき～	なみき
5	令和7年6月28日	9	楽しく身体を動かして、転倒予防について一緒に学びましょう	ひよし
6	令和7年10月1日	12	転倒予防のための福祉用具	ひかり

■ Ｘ－５ 地域住民の交流等（サロン活動）

センター名	開催回数	主な開催内容
ほんだ	1	消費者被害・特殊詐欺予防啓発
なみき	3	・消費者被害防止講座「暮らしの勉強会」家をかしこく管理するために知っておきたい豆知識 ・集いの場交流会 ・「今からできるおうちの整理について」
ひかり	7	認知症当事者の会「カワセミの会＠国分寺」
もとまち	1	認知症当事者交流会

■ Ｘ－６ 介護予防講演会

日程	場所	テーマ	来場人数
令和8年2月6日	cocobunjiプラザ リオンホール	知ろう、つながろう、動き出そう！ デジタルでひろがる新しいフレイル予防	114

令和8年度
国分寺市地域包括支援センター事業計画



国分寺市福祉部地域包括ケア課

令和８年６月

Ⅰ　国分寺市の概況

【市の動向】

○国分寺市総合ビジョン（令和７年度～令和 14 年度）

共通目標　　**歴史をつなぎ 未来をひらく 個性がひかり輝くまち**

○自治基本条例施行　（平成 21 年４月１日から施行）

「自治の基本理念」「参加・協働・情報共有等の仕組み」「市政運営の基本原則」

○令和６年度～令和８年度国分寺市高齢者保健福祉計画・第９期国分寺市介護保険事業計画

基本理念　　**個人としての尊厳が保たれ　地域・社会の支え合いによる**
自立した豊かな生活を実現する

【高齢者人口・認定状況等】

人　口　　（令和８年４月１日現在）　　130,606 人

高齢者人口

高齢化率　　22.3 ％　　29,157 人

要支援要介護認定者数（令和８年３月末現在）

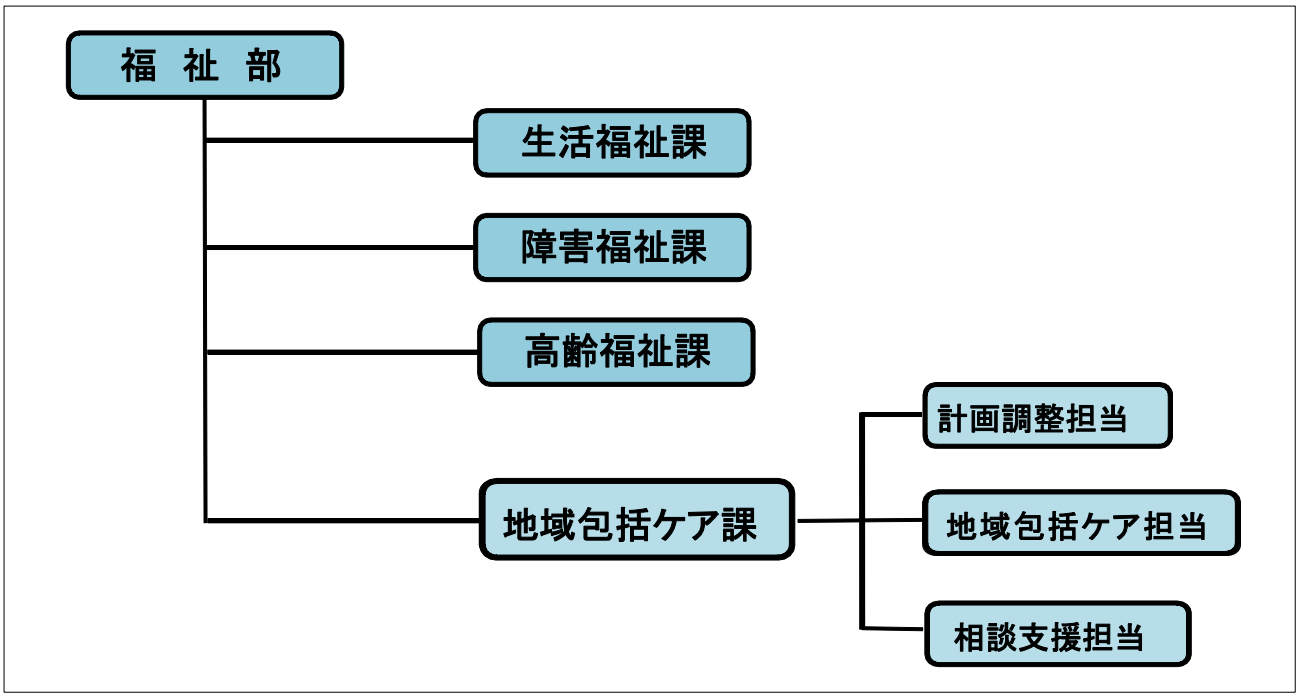
	6,405 人	（内　要支援認定　1,730 人）
＊第１号被保険者	6,270 人	（内　要支援認定　1,705 人）
＊第２号被保険者	135 人	（内　要支援認定　25 人）

高齢者人口における認定率　21.5 ％

【人口･高齢者人口の推移】　　各年4月1日時点

年 度	人 口	65 歳以上人口	(再掲)75 歳以上	高齢化率
令和3	127,272	27,786	14,856	21.8%
令和4	128,011	28,048	15,194	21.9%
令和5	128,691	28,187	15,812	21.9%
令和6	129,007	28,483	16,234	22.1%
令和7	129,578	28,687	16,594	22.1%
令和8	130,606	29,157	16,859	22.3%

【国分寺市福祉部組織体制】



【地域包括ケア課の事務】　　（各担当の主な業務）

計画調整担当

・地域包括支援センター運営協議会に関すること
・認知症施策推進計画に関すること
・その他地域包括ケアの推進に関すること

地域包括ケア担当

・認知症施策に関すること
・一般介護予防施策に関すること
・在宅医療・介護連携の推進に関すること
・介護予防・日常生活支援総合事業に関すること

相談支援担当

・地域包括支援センターに関すること
・総合相談に関すること
・権利擁護に関すること
・ケアマネジャー等への支援に関すること
・高齢者住宅に関すること
・生活支援サービスの体制整備に関すること
・介護予防・日常生活支援総合事業に関すること

Ⅱ　国分寺市の地域包括支援センターの整備状況

1　地域包括支援センターの設置

平成 18 年４月の介護保険法の改正により、地域包括支援センター（介護保険法　第 115 条の 46）が創設されました。

地域包括支援センターは高齢者が住み慣れた地域で尊厳ある生活が続けられるよう、心身の健康の維持、保健・福祉・医療の向上、生活の安定のために必要なあらゆる相談・支援を、包括的かつ継続的に行う中核機関として、地域住民一人ひとりに対する個別的サービスの調整や地域ネットワークの構築・再生、また、地域住民の様々なニーズに応える高齢者福祉のワンストップサービスの拠点となることを目的とします。地域包括ケアを担う拠点として、包括的支援事業を展開します。

国分寺市では、平成 25 年 10 月より、直営１か所、委託６か所設置していましたが、令和２年度末に基幹的機能の充実と保険者機能の強化を踏まえ市直営の基幹型地域包括支援センターを廃止いたしました。

令和３年４月より高齢福祉課は「基幹的機能」を維持し、①総合調整、②統括、③人材育成支援、④後方支援・直接介入の４つの機能を担い、専門職を配置し委託型地域包括支援センターの支援を行い、委託先センター６か所においては地域の高齢者の相談拠点として、相談機能の充実を図ってきました。令和８年４月より地域包括ケア課として同様の体制で委託型地域包括支援センターの支援をしていきます。

〔地域包括支援センターの具体的な業務内容〕

「地域包括支援センターの設置運営について」令和7年7月 17 日一部改正　10 頁参照により

○ 第１号介護予防支援事業

第１号介護予防支援事業は、介護予防・日常生活支援総合事業対象者、居宅要支援者（要支援１・２）のうち、介護予防及び日常生活支援を目的として、訪問型サービス、通所型サービス、その他生活支援サービスが包括的かつ効果的に提供されるよう必要な援助を行うこと

○ 総合相談支援事業

高齢者の心身の状況や生活の実態・必要な支援等を幅広く把握し、相談を受け地域における適切なサービスや関係機関・制度につなげる支援を行うこと

○ 権利擁護事業

成年後見制度の活用促進や地域福祉権利擁護等の活用、消費者被害の防止、高齢者虐待への対応等、高齢者の生活の維持を図ること
また、そのための連携やネットワークの構築に関すること

○ 包括的･継続的ケアマネジメント支援事業

高齢者に対し、包括的・継続的なサービスが提供されるよう地域の多様な社会資源を活用したケアマネジメント体制を整えること
ケアマネジャーに対する個別的な相談や助言、地域のケアマネジャーのネットワークの構築等を行うこと

2 各計画期間における整備状況

	地域包括支援センター	地域相談センター（在宅介護支援センター）
第1期 (H12年~14年)		■平成 12 年4月 高齢者総合相談室設置 在宅介護支援センター（直営で開設） 基幹型・地域型併設　1か所 居宅介護支援事業所併設 ■平成 14 年4月 在宅介護支援センターたんぽぽ開設 （社会福祉法人　心会） ＊基幹型 （直営） 地域型　直営 1　委託 1
第2期 (H15年~17年)		■平成 15 年4月 高齢者相談室へ課名変更 ■平成 17 年4月 在宅介護支援センターひかり開設 （特定医療法人社団　健生会） 在宅介護支援センターにんじん開設 （社会福祉法人　にんじんの会） ＊基幹型 （直営） 地域型　直営 1　委託 3
第3期 (H18年~20年)	●平成 18 年4月 国分寺市地域包括支援センター開設 ＊直営　1 ●平成 19 年4月 国分寺地域包括支援センターもとまち開設 （社会福祉法人　至誠学舎立川） 国分寺地域包括支援センターひかり開設 （特定医療法人社団　健生会）　＊直営1　委託2	■平成 18 年4月 在宅介護支援センターもとまち （社会福祉法人　至誠学舎立川） ＊基幹型　廃止（地域包括支援センターへ移行） 地域型　委託　4 ■平成 19 年4月 ＊地域型　委託　2 2箇所廃止（地域包括支援センターへ移行）
第4期 (H21年~23年)	■平成 21 年4月 （高齢者保健福祉計画・第4期介護保険事業計画） 地域包括支援センター　3（直営1　委託2） 国分寺市地域包括支援センター（高齢者相談室） 国分寺地域包括支援センターもとまち 国分寺地域包括支援センターひかり（平成 22 年度より　社会医療法人社団　健生会へ法人名称変更） 地域相談センター　3（委託3） 国分寺地域相談センターひよし　（旧　在宅介護支援センターたんぽぽ） 国分寺地域相談センターこいがくぼ　（旧　在宅介護支援センターにんじん） 国分寺地域相談センターなみき　（社会福祉法人　至誠学舎立川　平成 21 年4月新規開設）	
第5期 (H24年~26年)	■平成 24 年4月 （高齢者保健福祉計画・第5期介護保険事業計画） ＜平成 24 年度＞ 地域包括支援センター　3（直営1　委託2） 国分寺市地域包括支援センター（高齢者相談室） 国分寺地域包括支援センターもとまち 国分寺地域包括支援センターひかり 地域相談センター　3（委託3） 国分寺地域相談センターひよし 国分寺地域相談センターこいがくぼ 国分寺地域相談センターなみき ●平成 25 年 10 月～ 地域包括支援センター　7（基幹型・直営1　委託6） （基幹型）国分寺市地域包括支援センター（高齢者相談室） （委託）国分寺地域包括支援センターもとまち （委託）国分寺地域包括支援センターひかり ＜地域相談センターから移行＞ （委託）国分寺地域包括支援センターひよし （委託）国分寺地域包括支援センターこいがくぼ （委託）国分寺地域包括支援センターなみき ＜新規開設＞ （委託）国分寺地域包括支援センターほんだ （社会福祉法人　至誠学舎立川）	
第6期 (H27年~29年)	■平成 27 年4月 （高齢者保健福祉計画・第6期介護保険事業計画） 地域包括支援センター　7（基幹型・直営1　委託6） （基幹型）国分寺市地域包括支援センター（高齢者相談室） ＜東部地域＞ （委託）国分寺地域包括支援センターもとまち （委託）国分寺地域包括支援センターこいがくぼ （委託）国分寺地域包括支援センターほんだ ＜西部地域＞ （委託）国分寺地域包括支援センターひよし （委託）国分寺地域包括支援センターひかり （委託）国分寺地域包括支援センターなみき ■平成 29 年4月　高齢者相談室・介護保険課が統合し高齢福祉課へ課名変更	
第7期 (H30年~R2年)	■平成 30 年4月 （高齢者保健福祉計画・第7期介護保険事業計画） ■平成 30 年4月　福祉保健部が健康部と福祉部の2部体制に変更 ■令和3年3月末 （基幹型）国分寺市地域包括支援センター（高齢福祉課）を廃止	

第8期 (R3年~R5年)	■令和3年4月（高齢者保健福祉計画・第8期介護保険事業計画） 地域包括支援センター　6（委託6） 高齢福祉課は基幹的機能を担い地域包括支援センターを支援 ■令和4年4月　地域包括ケア担当を新設
第9期 (R6年~R8年)	■令和6年4月（高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画） 地域包括支援センター　6（委託6） 高齢福祉課は基幹的機能を担い地域包括支援センターを支援 ■令和7年 10 月　窓口開設時間を9時～17 時に変更 ■令和8年4月　　地域包括ケア課を新設

3　地域包括支援センター担当区域

各センターは担当区域を基本エリアとして業務を運営しています。地域包括ケア課は全センターの支援を行います。

◆担当区域及び運営委託法人　　＊地域包括支援センター　6（委託6）

※各センターで担当区域の要支援1・2及び事業対象者の介護予防ケアマネジメントを実施

センター名（運営法人等）		所在地	担当区域等
東部地域	国分寺地域包括支援センターもとまち ★ （社会福祉法人　至誠学舎立川）	東元町2-5-17 さわやかプラザもとまち1階	東元町 ・ 西元町 ・ 南町
	国分寺地域包括支援センターこいがくぼ （社会福祉法人　にんじんの会）	西恋ヶ窪1-50-1 にんじんホーム1階	泉町 ・ 西恋ヶ窪 ・ 東戸倉
	国分寺地域包括支援センターほんだ （社会福祉法人　至誠学舎立川）	本多2-3-3 国分寺市商工会館3階	本町 ・ 本多 ・ 東恋ヶ窪
西部地域	国分寺地域包括支援センターなみき ★ （社会福祉法人　至誠学舎立川）	並木町3-12-2 至誠ホームミンナ1階	富士本 ・ 新町 ・ 並木町 ・ 北町
	国分寺地域包括支援センターひよし （社会福祉法人　心会）	日吉町4-32-6 うれしのの里1階	戸倉 ・ 日吉町 ・ 内藤
	国分寺地域包括支援センターひかり （社会医療法人社団　健生会）	光町3-13-34 国分寺ひかり診療所3階	光町 ・ 高木町 ・ 西町

★は各地域のリーダー

4 地域包括支援センター事業委託 業務内容

地域共生社会の実現に向けて、地域の拠点として地域に根付いた事業が実施できるよう機能強化を図ります。今年度は、センター内の各職種が専門的な視点を持ち寄り、重層かつ多面的な相談支援事業の実施を目指します。また、多分野の相談機関等とも連携を深め、地域住民の総合的な支援に取り組みます。

介護予防・日常生活支援総合事業においては、自立支援に資する介護予防マネジメントに取り組み、多様化する生活支援ニーズと地域住民主体の支え合い活動をつなぎます。

◆地域包括支援センター事業委託　主な業務内容

<table>
<tr><th>介護予防・日常生活支援総合事業</th><th>包括的支援事業</th></tr>
<tr><td>○サービス・活動事業
要支援者等へ介護予防ケアマネジメント
指定居宅介護支援事業所への支援
○一般介護予防事業
介護予防把握事業
介護予防普及啓発事業
介護予防教室事業
転倒予防事業
地域団体への出張講座
集いの場支援
○地域介護予防活動支援事業</td><td rowspan="3">○総合相談支援事業
地域におけるネットワークの構築
実態把握
総合相談支援（アウトリーチ活動　ほか）
○権利擁護事業
○包括的・継続的ケアマネジメント支援事業
包括的・継続的なケア体制の構築
地域における介護支援専門員のネットワークの活用
日常的個別指導・相談
支援困難事例等への指導・助言
○生活支援体制整備事業
第２層生活支援コーディネーターの配置
地域の支援ニーズとサービス提供主体のマッチング
○認知症総合支援事業
認知症に関する普及啓発（キャラバン・メイトの活動等）
「初期集中支援チーム」の一員としての活動
○地域ケア会議推進事業</td></tr>
<tr><th>その他</th></tr>
<tr><td>○高齢者を熱中症等から守る対策事業
○家族介護者交流会
○介護保険制度に関する相談・申請受付及び市高齢者福祉サービスの申請受付業務</td></tr>
</table>

５ 地域包括支援センター人員体制

「国分寺市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例」により、国分寺市地域包括支援センターは、保健師もしくは看護師・社会福祉士・主任介護支援専門員の３職種及び介護支援専門員等の配置が義務付けられています。

また、認知症総合支援事業の推進に係る推進員（認知症地域支援推進員）は、連絡会等を通じて推進員同士の連携体制を強化し、市全体の認知症支援推進に係る活動方針や計画策定に参画しています。

昨年度より地域のケアマネジメント体制を確保するため、地域包括支援センターによって要支援者等のケアマネジメント業務を担う職員（１人）を新たに配置しました。地域包括支援センターの実情に合わせた配置をすることで、ケアマネジメント業務の充実、業務の負担軽減を目指します。

また、今年度より委託型地域包括支援センターの総合調整や後方支援等の基幹的機能を担っていた高齢福祉課は新設された地域包括ケア課として再編されました。地域包括支援センターに対する適切なマネジメントを実施し、基幹的機能を十分に発揮するために、引き続き専門職を配置し委託型地域包括支援センターの支援を継続して相談支援体制の充実に努めます。

◆地域包括支援センター人員体制推移

各年4月1日現在の配置

		年度	保健師 看護師	社会 福祉士	主任 介護支援 専門員	介護支援 専門員等	認知症 地域支援 推進員	生活支援 ｺｰﾃﾞｨ ﾈｰﾀｰ	事務	計
国分寺地域包括支援センター	もとまち	R6年	1	1	1	1	1	1	0	6
		R7年	1	1	1	2	2(1)	1	0	8(1)
		R8年	1	1	1	1	2(1)	2(1)	1	※8(1)
	こいがくぼ	R6年	1	1	1	1	1	1	0	6
		R7年	1	1	1	1	1	1	1	7
		R8年	1	1	1	1	1	1	1	7
	ほんだ	R6年	1	1	1	1	1	1	0	6
		R7年	1	1	1	2	1	1	0	7
		R8年	1	1	1	2	1	1	0	7
	なみき	R6年	1	1	1	1	1	1	0	6
		R7年	1	1	1	2	1	1	0	7
		R8年	1	1	1	2	1	1	0	7
	ひよし	R6年	1	2(1)	0	1	1	1	0	6(1)
		R7年	1	1	1	2	1	1	0	7
		R8年	1	1	1	1	1	0	0	※6
	ひかり	R6年	1	2(1)	1	1	1	1	0	7(1)
		R7年	1	2(1)	1	1	1	1	0	7(1)
		R8年	1	2(1)	1	1	1	1	1	8(1)

注1）　（　）は法人の方針で増員して配置（再掲）
注2）　もとまちは認知症地域支援推進員と生活支援コーディネーターを加配の1名が兼務
注3）　ひよしは管理者を別途配置

◆地域包括ケア課（地域包括支援センター支援）人員体制推移

各年4月1日現在の配置

	年度	保健師 看護師 理学療法士	社会 福祉士	主任 介護支援 専門員	介護支援 専門員等	認知症 地域支援 推進員	生活支援 ｺｰﾃﾞｨ ﾈｰﾀｰ	事務	計
地域包括ケア課	R6年	6	6	0	0	0	0	3	15
	R7年	6	5	0	0	0	0	4	15
	R8年	5	4	0	0	0	0	6	15

注4）　令和7年度までは高齢福祉課（地域包括支援センター担当）の人員体制を記載

Ⅲ　令和８年度運営方針及び重点施策

１　総合的な運営方針

国分寺市では、国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画を策定しています。市は下記のポイントに沿った重点施策をもとに地域包括支援センターを運営します。

国分寺市高齢者保健福祉計画・第9期介護保険事業計画のポイント

1　地域共生社会の実現

地域共生社会の実現に向け、介護・障害・子ども・生活困窮等、支援を必要とするすべての住民が地域で支え合える包括的な支援体制構築を進めるとともに同時に、その中核的な基盤となり得る地域包括ケアシステムの深化・推進を図ります。

2　介護予防・健康づくり施策の充実・推進

健康づくりや社会貢献等の生きがいづくりの創出を目的とした、地域づくりによる介護予防施策を更に充実・推進させ、健康寿命延伸に向けても取り組みます。

3　認知症施策の推進

認知症の発症を遅らせ、認知症になっても希望を持って自分らしく暮らし続けることができる社会を目指し、認知症の方やその家族の視点を重視しながら、認知症施策を推進します。

4　地域包括ケアシステムを支える人材の確保及び介護現場の生産性の向上の推進

介護事業者をはじめとする関係機関等と一体となり、介護に対するイメージの向上や普及啓発、情報提供の充実、働きやすい環境づくりの支援に取り組むとともに、介護人材や多様な担い手の育成にも取り組みます。

5　災害・感染症対策に係る体制整備

今後も起こりうる災害・感染症に備え、介護事業者等と連携し防災や感染症対策についての周知啓発や研修、訓練等実施し、国・都との情報共有・連携を含め、迅速かつ適切な対応が可能となるよう体制整備を進めます。

市は統括を行う保険者（国分寺市）として、地域の中核機関である地域包括支援センターを「総合調整」・「統括」・「人材育成支援」・「後方支援・直接介入」の4つの基幹的機能の充実と保険者機能の強化の両面から支援します。市は第9期で基幹的機能の充実を図るための新たな取組として、基幹的機能に関する業務チェック票をもとに、地域包括支援センター運営協議会で意見集約を行います。

2 重点施策

（1） 地域共生社会の実現

包括的な相談支援体制の充実

地域包括支援センターが地域の身近な相談機関として従来培ってきた相談技術と多職種による多面的な視点を活かしたチームアプローチによって、高齢者及びその世帯全体のアセスメントを実施します。課題を抱える高齢者以外の家族支援についても、重層的支援体制整備事業の趣旨を踏まえ、地域福祉コーディネーターが主催する支援会議等を活用し、関係機関との協働による世帯全体へのチーム支援を行います。

市（地域包括ケア課）は、研修等を通じて地域包括支援センター全体や個々の職員のレベルアップを支援するとともに、地域包括支援センターが地域や庁内の関係機関とスムーズな相談支援体制が図れるようにともに取り組みます。併せて、これらの相談支援に対応できるよう業務の効率化、負担軽減についての検討を引き続き進めます。

生活支援体制整備の推進

地域住民や多様な主体が協働して高齢者の生活支援を推進するために、助け合い・支え合いの地域づくりに向けた活動を推進していきます。

第2層生活支援コーディネーターや地域住民等を中心に、協議体づくりを含めた暮らしに必要な社会資源の検討、ネットワークの構築を継続します。特に第2層生活支援コーディネーターを起点にした地域づくりのため、昨年度から取り組んでいる「地域まるごと戦略シート」等の考え方を意識した取組を進めます。

併せて、直営にて配置している第1層生活支援コーディネーターを中心に第1層協議体である生活支援・介護予防サービス整備推進会議の更なる充実を図り、地域づくりの障壁となっている課題の共有や課題解決につながる協議を進め、市全体の体制整備を進めていきます。

地域ケア会議の効果的な運営の推進

住み慣れた地域で尊厳を保持しながら自分らしい日常生活を継続する地域包括ケアシステムの完成を目指し、地域ケア会議の効果的な運営を目指します。第8期からの地域包括支援センター単位で開催している小地域ケア会議の推進を継続・充実します。

特に小地域ケア会議開催後に東西エリアで実施する「地域課題選別会議」については、エリアを意識した課題の共有や市レベルの地域ケア会議で報告する課題の協議を進めます。また、市レベルでの地域ケア会議では、地域課題選別会議の内容に焦点を当て委員が地域課題を把握し、意見交換できるよう、運営していきます。

多職種協働による在宅医療・介護連携の推進と基盤強化充実

医療と介護の両方のニーズを持つ高齢者等が増加することを見据えて、在宅医療・介護連携事業をさらに推進していきます。在宅医療・介護連携相談窓口事業（窓口設置機関：社会福祉法人浴光会よくこうまちのほけんしつ）により、市内の基盤強化に取り組むほか、医療介護連携部会の開催、多職種連携研修により、多職種協働による在宅・介護連携を推進します。災害時の在宅医療体制強化に向けて、医療・介護・障害福祉分野の多職種連携体制の構築に取り組みます。

市民向けには、「医療・介護」について元気なうちから備えておくための ACP（人生会議）について、関係者および市民への更なる理解促進に努めます。

（2）介護予防・健康づくり施策の推進と充実

地域介護予防活動支援の充実

地域住民による介護予防活動の普及を目指し、住民主体で運営する集いの場「暮らしを拡げる 10 の筋力トレーニング」を中心に展開します。日頃からの健康づくりや介護予防への意識がより高まり、互助の充実・拡大を目指し、一定の講習を修了した地域住民である介護予防推進員とも連携していきます。

また、介護予防普及啓発事業である通所型介護予防普及啓発事業（マシン筋トレ）については、教室型と開放型を実施し、高齢者自身が健康づくりに主体的に取り組むことができるよう支援します。特に開放型の参加者で地域活動への参加に興味ある方への情報提供等については、地域包括支援センターが中心となり取り組みます。

プレフレイル状態にある高齢者を速やかに把握し、短期集中予防サービス（サービス C）の利用を推進することで、日々の生活行為の改善や活動・社会参加の維持または促進がなされるよう支援します。また、サービス C 利用者の事例を通して、効果的な介護予防のアプローチ方法や、介護予防の視点から地域資源との連携および足りない地域資源について、介護予防部会等で検討していきます。

高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施

また、令和6年度から実施している高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施事業について、介護・医療・健康に係るデータを活用するほか、一体的実施事業委託事業者と地域包括支援センターとの効果的な連携を図り、地域での取組を推進します。

（3） 認知症施策の推進

認知症に関する理解の増進

令和6年1月に共生社会の実現を推進するための認知症基本法（以下「認知症基本法」といいます。）が施行され、認知症や認知症の人に関する理解の増進に努め、「新しい認知症観」に立った施策を推進していくことが求められています。

認知症基本法に基づく認知症月間（9月）のほか、地域や学校、企業等で認知症サポーター養成講座の実施を拡大するとともに、ステップアップ講座、キャラバン・メイトの活動を支援する取組を引き続き推進します。

また、認知症予防についても、普及啓発に加えて、新たに認知症検診事業を国分寺市医師会への委託により実施し、早期発見・早期診断につながる仕組みを構築します。

施策の推進にあたっては、地域包括支援センターに配置した認知症地域支援推進員との連携を図ります。

地域全体での支援体制の構築

認知症の人とその家族が孤立しない地域を目指すため、認知症地域支援推進員と住民がつながり、必要な支援について検討を継続していきます。

そのために認知症の人やその家族のニーズの把握や、地域資源を活用しながら認知症サポーターを中心とした地域住民への支援としてチームオレンジの構築につなげていきます。

（4） 地域包括ケアシステムを支える人材の確保及び介護現場の生産性の向上の推進

地域住民の支え手の拡充と高齢者の社会参加に向けた取組

地域包括支援センターの様々な取組を通じて、地域住民相互の支え手の発掘や人材を創出する視点を持ち、住民相互の支援の輪を拡げていきます。

高齢者一人一人が携える経験値や能力を活かし、高齢者が「支える側」としての社会参加を意識して取り組む必要があります。そのために、担い手養成研修を再編し、人材確保に向けた取組の推進を目指します。また市民フォーラムの開催により、多くの市民が地域活動へ参加する体制構築を推進します。

ケアマネジャーへの支援体制の充実

地域のケアマネジャーが日々のケアマネジメント業務の中で直面している複雑化・複合化した課題等をケアマネジャーが抱え込まないように、地域包括支援センターが適宜キャッチし、適切な支援を共に検討していく体制の構築・維持を目指します。

また、研修等の実施や連絡会の事務局運営等を通じて、ケアマネジャーのスキルアップや活動支援に繋がるような支援を継続します。

（5） 災害や感染症対策に係る体制整備

BCP（事業継続計画）については、地域包括支援センター委託法人の役割や介護予防支援事業所としての取組を踏まえながら、具体的な行動マニュアルを検討する体制づくりを進めます。 また、日頃から地域の防災等への取組を把握するように努めます。

様式１　　国分寺市

令和８年度　地域包括支援センター事業計画

国分寺地域包括支援センターもとまち

担当区域　東元町　西元町　南町　（担当高齢者人口　4,919 人）

職員配置　８〈１〉人　看護師　１、社会福祉士　１、主任介護支援専門員　１〈１〉、介護支援専門員　１、認知症地域支援推進員　２、生活支援コーディネーター　２、事務　１

＊〈　〉は管理者と兼務，再掲

＊認知症地域支援推進員と生活支援コーディネーターを加配の１名が兼務

● 令和８年度　運営方針

① センターの各事業や日常業務について効率化を図り、業務負担の軽減につなげる
② 他機関と連携し、今までに積み上げた地域課題の解決に向けて、具体的に取り組んでいく
③ 地域住民との協働を強化し、認知症支援，通いの場等の事業について積極的に取り組む

● 令和８年度　重点事業

重点項目	事業内容	計画区分	実施計画
１．体制整備	１）全スタッフ協働での体制作り	業務ﾁｪｯｸ	a. 四半期ごとに地域包括支援センター事業計画を評価し、各職員の業務の役割や進捗を確認（通年）
		市−１	b. 地域に関わる事業について、センター全体での共有を強化し、かつ職種間連携によって業務の効率化につなげる（通年）
	２）ケース対応の体制作り	センター独自	a. ケース対応力の向上のため、ミーティングなどを活用し、併設居宅介護支援事業などとの勉強会の実施（通年）
		市−４	b. 総合相談や予防プラン委託について、地域のケアマネジャーへの引継ぎや情報提供など、より丁寧な対応を検討及び実施（通年）
	３）地域課題の把握や必要な社会資源の開発に向けた体制作り	市−１	a. 年度初めにマトリクス図を使用した地域課題の抽出を実施し、新たなテーマでの小地域ケア会議を開催（通年）
		市−１ 市−２	b. 担当地域のニーズを分析し、地域まるごと戦略シートに沿った、新たな「つどいの場」立ち上げに向けた説明会を実施（通年）
	４）災害や感染症対策に関わる体制整備	市−５	a. 策定された自然災害、感染症対策に関する BCP（事業継続計画）について、より実態に即した内容への検討及び更新（通年）
２．地域の関係機関との連携強化	１）地域のケアマネジャーとの連携強化	市−４	a. 包括主任ケアマネジャー連絡会と連動し、ケアマネジャーからの具体的な相談内容を分析し、情報提供方法などを検討（通年）
	２）関係機関との連携強化	市−１	a. 8050 ケース等について、個別支援会議、勉強会や情報交換会等の機会を通じた障害関係機関や社会福祉協議会との連携（随時）
		市−１	b. 権利擁護センターと連携した成年後見制度の周知不足の解消に向けた出前講座開催などの取り組み（通年）
３．地域の実情の把握強化	１） 地域住民との関係作りの強化	市−３	a. 認知症支援について、当事者とチームオレンジをつなぐような体制づくりの検討（通年）
		市−１	b. 通いの場である「モルックグループ」について、効果的な周知方法の検討など、活動の継続に向けた後方支援を実施（通年）
		市−２ 市−４	c. 各種教室、通いの場、つどいの場など様々な事業や活動を通じた介護予防推進員との連携（随時）

様式１　　国分寺市

令和８年度　地域包括支援センター事業計画

国分寺地域包括支援センターこいがくぼ

担当区域　泉町　西恋ヶ窪　東戸倉　（担当高齢者人口　4,492 人）
職員配置　７〈１〉人　看護師　１、社会福祉士　１、主任介護支援専門員　１〈１〉、介護支援専門員　１、認知症地域支援推進員　１、生活支援コーディネーター　１、事務　１
＊〈　〉は管理者と兼務、再掲

● 令和８年度　運営方針

① 複合的な課題を抱えた世帯全体を多角的に把握し、適切な支援につなげる
② 既存の地域活動団体との協働、および地域活動の新たな支え手の創出により、介護予防、認知症支援、消費者被害防止等の取り組みを推進する

● 令和８年度　重点事業

重点項目	事業内容	計画区分	実施計画
１．総合相談、個別支援における対応力の向上	１)包括内での多職種協働による、多角的なアセスメントと適切な支援	市−１	a. 毎朝夕のミーティングと週１回の拡大ミーティングにおいて、個別ケースの支援方針検討や支援の進捗状況報告を迅速に行い、より精度の高い支援を行う
		業務ﾁｪｯｸ	b. 支援終結ケースの中で、対応に苦慮したケースや多職種協働ケース等について、次の適切な支援に活かすとともに、担当職員へのねぎらいの機会として、振り返りカンファレンスを行う
	２)その人らしい豊かな暮らしにつながる支援	市−１	a. 介護保険サービスだけでなく、高齢者の生活を支えるための多様な民間サービスについて、その強みや特性を把握して、個別支援の場面で適切に活用する
		市−１ 業務ﾁｪｯｸ	b. 介護保険以外の諸制度（医療保険、障害福祉等）を理解し、関係機関と迅速に協力体制を築くことにより、制度間の切れ目のない支援を行う
２．介護予防、認知症支援、消費者被害防止の取組の推進	１)既存の地域活動団体への情報提供や周知啓発	市−２ 市−３	a. 自治会や老人クラブ等の活動内容やニーズを把握し、それぞれの団体の状況にあったやり方で、介護予防、認知症支援、消費者被害防止を盛り込んだ出張講座を行う
		市−１	b. 民生委員、自治会会長、ケアマネジャーなどが集う地域懇談会を開催し、地域における様々な課題を共有するとともに、地域のネットワークを強化する
	２)地域包括ケアを支える場所、支え手の創出	市−４	a. コロナ禍以降、回数を減らしていた各種講座をコロナ禍以前の水準に戻し、地域住民向けに介護予防等の多様な講座を開催する。その中で、住民相互の支援の必要性について啓発し、支え手の創出に取り組む
		市−２ 市−４	b. 住民同士のつながりが希薄で閉じこもり高齢者の多い地域において、自治会等の既存団体や、各種講座等で発掘した支え手と協力して、新たな集いの場の立ち上げに取り組む
	３)新しい認知症観の普及啓発	市−３	a. 地域住民、学校、企業など、幅広い世代や属性の方々を対象に認知症サポーター養成講座を行う
		市−３	b. おれんじカフェを拠点としたチームオレンジの活動において、認知症の人の気持ちを尊重し、チームメンバーの意向や意欲も大切にしながら、チームとしての主体的な活動を支えていく

様式１　　国分寺市

令和８年度　地域包括支援センター事業計画

国分寺地域包括支援センターほんだ

担当区域　本町　本多　東恋ヶ窪　（担当高齢者人口　5,952 人）
職員配置　7〈1〉人　看護師　1、社会福祉士　1、主任介護支援専門員　1〈1〉、介護支援専門員　2、認知症地域支援推進員　1、生活支援コーディネーター　1
＊〈　〉は管理者と兼務、再掲

● 令和８年度　運営方針

①複雑化する相談に対応するために、多職種や他機関とのさらなる連携強化
②地域包括ケアシステム推進のための関係機関との連携
③介護予防・認知症支援・生活支援体制整備等に主体的に取り組める地域づくりの推進

● 令和８年度　重点事業

重点項目	事業内容	計画区分	実施計画
１.センター体制整備	１)総合相談対応のスキルアップ向上	センター独自	a. 職員間の支援方針の協議、共有を重ね、多角的アプローチを徹底する
		業務ﾁｪｯｸ	b. 複雑化するケースに対応する能力向上のため、内部・外部研修へ参加し内容をセンター内で共有する
	２)複雑化するケースに対応するため関係機関との連携推進	センター独自	a. 個別支援会議や小地域ケア会議を通じ地域課題等を共有し、関係機関と連携し対応できる基盤を強化する
		市−４ 業務ﾁｪｯｸ	b. 課題を抱える世帯全体へのアプローチのため、関係機関との連携や会議体の活用を積極的にすすめる
２．地域包括ケアシステムの推進	１）　関係機関等との連携	業務ﾁｪｯｸ	a. 消費者被害について多機関と情報を共有しながら住民意識の浸透に資する出張講座の開催などに取り組む
			b. ケアマネジャーからの相談に対して、問題点だけでなく利用者の強みを活かした支援や計画が作成できる方法を検討する
	２)地域の関係機関との連携継続	市−１ 業務ﾁｪｯｸ	a. 民生委員連絡会、個別支援会議、小地域ケア会議等の会議体を通じて地域の問題や課題、強みを共有し、住民主体で活動に取り組めるよう連携する
	３)介護予防の視点を踏まえた取組支援	市−２	a. フレイル予防の高齢者を速やかに把握し、社会参加の維持・サービスＣ利用の促進がなされるよう支援する
		業務ﾁｪｯｸ	b. 介護予防の必要性を広げる普及啓発活動の継続と講座の企画開催
３．地域住民が主体的に取り組める活動への支援及び情報提供	１)認知症に関する理解の増進	市−３ 業務ﾁｪｯｸ	a. 認知症に関する普及啓発の継続と新しい認知症観に立った施策の推進
		市−３	b. キャラバン・メイトと連携し認知症サポーター養成講座継続実施
	２)通いの場等への継続支援	市−２	a. 集いの場等の説明会を検討し、立ち上げ支援を実施
		市−１	b. 第２層生活支援コーディネーターを中心とした地域のネットワークつくりの継続

様式１　　国分寺市

令和８年度　地域包括支援センター事業計画

国分寺地域包括支援センターなみき

担当区域　富士本　新町　並木町　北町　（担当高齢者人口　3,780 人）
職員配置　７〈１〉人　看護師　１、社会福祉士　１〈１〉、主任介護支援専門員　１、介護支援専門員　２、認知症地域支援推進員　１、生活支援コーディネーター　１
＊〈　〉は管理者と兼務、再掲

● 令和８年度　運営方針

① 複雑・複合化した課題に多面的にアプローチできる窓口機能の強化
② 地域住民や支援者の権利が守られ、安心して暮らしていける地域づくりの推進
③ 主体性のある住民が地域で活動意欲を持ち続けられる環境づくりの推進

● 令和８年度　重点事業

重点項目	事業内容	計画区分	実施計画
１．安定した相談支援体制の整備	1)職員の相談スキルの向上	市-１	a. 効率的・効果的な定例ミーティングの開催と随時の情報共有
		市-１	b. 法人内外研修への積極的参加とフィードバックによるチーム全体の知識・技術の向上を図る
		業務ﾁｪｯｸ	c. センター内勉強会を定期的に開催し、職員間で学び合える関係づくりを進める
		市-１	d. 地域包括ケア課へ定期的かつ簡潔に報告・相談を行う
	2)働きやすい職場環境の維持	市-１	a. 年度の役割分担表・事業スケジュールに沿った業務運営の継続
		業務ﾁｪｯｸ	b. 困難事例や活動担当は複数とし、役割が分散する体制を継続
		市-１	c. 昨年度からの窓口開所時間の短縮に合わせた、効率的・効果的な相談業務、企画運営に取り組む
		市-５	d. 災害時・感染症発生時の対応を意識した業務運営
	3）地域課題、地域・支援者のニーズを踏まえた支援の推進	市-１	a. 個別支援会議の実施による課題と強みの把握
		市-４ 業務ﾁｪｯｸ	b. ケアマネジャーとの丁寧なやりとりからニーズを積み上げ分析し、定期的なフィードバックを行う
		市-４ 業務ﾁｪｯｸ	c. 委託先ケアマネジャーが作成した介護予防支援計画等の進捗管理を行う等、支援が滞りなく提供できるよう連携・協働する
		市-１	d. 介護保険サービスに偏らない民間・地域資源の発掘と活用
２．地域包括ケアシステムの推進	1）介護予防・地域づくりの促進	市-２	a. 集いの場の立ち上げに向けた体験説明会を開催し、10 の筋力トレーニングの普及啓発を行う
		市-２ 業務ﾁｪｯｸ	b. 並木公民館改修工事による地域活動の縮小化を予防するための検討と活動団体との懇談の実施
		市-１	c. 地域づくりに賛同する個人宅・団体・店舗等の発掘と既存団体の後方支援を進める
	2)関係機関との連携強化	市-１	a. 高齢者が悪質商法や詐欺被害に遭わないための取組の継続(支援者向けツールの周知活動と高齢者への被害防止啓発)
		市-１	b. 他分野、多様な支援機関との意見交換の機会を設け、顔の見える関係づくりを進め、連携しやすい土壌をつくる
	3)認知症支援の取組の充実	市-３ 業務ﾁｪｯｸ	a. 市民キャラバン・メイトとの講座の企画・運営における協働(認知症サポーター養成講座、認知症サポーターステップアップ講座等)とチームオレンジに向けた取組の推進
		市-３	b. 認知症当事者ミーティングの活動支援(包括ひかりとの連携)
		市-３	c. 市内外の認知症疾患医療センターとの連携強化
		業務ﾁｪｯｸ	d. 家族介護者のニーズに寄り添った交流会の開催

様式１　　国分寺市

令和８年度　地域包括支援センター事業計画

国分寺地域包括支援センターひよし

担当区域　　戸倉　日吉町　内藤　（担当高齢者人口　5,111 人）
職員配置　６人　　看護師　１、社会福祉士　１、主任介護支援専門員　1、
介護支援専門員　１、認知症地域支援推進員　１、管理者　１

● 令和８年度　運営方針

①地域住民、関係機関との連携を深め、地域のネットワーク構築と協働に向け取り組む
②総合相談業務の質の向上と、多職種の視点を活かした相談体制の強化

● 令和８年度　重点事業

重点項目	事業内容	計画区分	実施計画
１．体制整備	１）全職員による協働と体制強化	業務ﾁｪｯｸ 市−１	a. 定期的に地域包括支援センター事業計画を評価し、各職員の業務の役割や進捗の確認を行う
		業務ﾁｪｯｸ 市−１	b. 複雑化する相談ケースに対し、多職種の視点で検討、共有し、職員のスキルアップへつなげる
		市−２	c. 相談力向上のため、センター内の勉強会及び外部講師の勉強会を開催し、実践力、対応力強化へつなげる
		市−５	d. 災害・感染症対策への体制整備作りの継続
２．地域包括ケアシステムの推進	１）地域状況の共有と関係つくり	市−４ 業務ﾁｪｯｸ	a. 居宅介護支援事業所やサービス事業所に向けて、ひよしエリアの特色や様々な地域の情報について周知する
		市−１	b. 地域懇談会を開催し、民生委員等地域の関係者とのネットワークを構築し、地域課題について共有する
		市−１	c. ひよし新聞の全戸配布を継続し、包括の周知や地域の情報の周知を図る
	２）認知症の支援の取り組み及び、普及啓発	市−３	a. キャラバン・メイトのメンバーを増やし、らくだのつぶやきの活動のサポートを強化する
		市−３	b. 認知症の理解を深める場として、認知症サポーター養成講座の開催について、地域へ働きかける
	３）自立支援・介護予防に向けた取組の推進	市−２	a. 介護予防推進員と連携し、集いの場の周知、継続支援を行う
		市−２	b. フレイル予防について周知するため、地域で行われる様々な活動に出向き、わかりやすく実践しやすい伝え方を工夫し、意識を高めていく
		市−２	c. 自立支援、介護予防の視点を持ったケアマネジメントを全職員で心がける
	４）地域のケアマネジャーとの連携強化	市−４	a. 居宅介護支援事業所に向けて、お便りを配布し、包括ひよし地区の地域の情報や地域資源について紹介し、ケアマネジメントに役立てることができるよう検討する
		市−４	b. 個別支援会議を効果的に活用し、ケアマネジャーへの適切な支援を行う
		市−４ 業務ﾁｪｯｸ	c. 予防プランについて、委託先の問い合わせにスムーズに対応できるよう、独自に作成した Q&A ツールや手引きを活用しながら全職員がスムーズに対応できるよう取り組む
	５）小地域ケア会議の充実	市−１	a. 小地域ケア会議において、地域課題の解決に向けて、課題の内容に合わせた分野の関係者との連携を意識して、効果的に取り組む

様式１　　国分寺市

令和８年度　地域包括支援センター事業計画

国分寺地域包括支援センターひかり

担当区域　　光町　高木町　西町　（担当高齢者人口　4,903 人）
職員配置　８〈１〉人　　看護師　１、社会福祉士　２〈１〉、主任介護支援専門員　１、
介護支援専門員　１、認知症地域支援推進員　１、
生活支援コーディネーター　１、事務　１
＊〈　〉は管理者と兼務、再掲

● 令和８年度　運営方針

① 各種事業を連動させ、職員全体でチームとして取組をすすめる
② 多職種・関係機関・地域住民と連携し、地域のネットワークを構築する

● 令和８年度　重点事業

重点項目	事業内容	計画区分	実施計画
１.地域包括支援センターの機能強化	１)相談支援体制の充実	市−１ 業務ﾁｪｯｸ	a.複雑化・複合化する支援困難ケースに対応していくため、他機関との連携や各会議体を活用し、チームで支援方針を検討する
		市−１ 市−２ 業務ﾁｪｯｸ	b.総合相談においては、地域資源の活用を意識して、相談業務をすすめる
		市−４ 業務ﾁｪｯｸ	c.ケアマネジャーからの相談やニーズを職員全体で共有し、課題解決に向けた連携力を強化する
	２)介護予防支援・介護予防ケアマネジメントのレベルアップ	市−２ 業務ﾁｪｯｸ	a.「役割や生きがいのある生活と自立支援」について、事例検討を実施する
		市−２ 業務ﾁｪｯｸ	b.要支援の状態なっても、住み慣れた地域で自分らしい日常生活を継続できるケアマネジメントを実践していく
２．地域包括ケアシステムの進化、推進を図る	１)地域づくりの推進	市−１ 市−４ 業務ﾁｪｯｸ	a.高齢者のスマートフォン活用支援と、既存の居場所との連携で、時代に即した情報発信、受信力を高め、個別性に配慮した孤立・孤独予防を推進する
		市−１ 市−４ 業務ﾁｪｯｸ	b.生活支援隊･介護予防支援隊養成講座研修の受講生などと協働で、エリアの実情に応じた生活支援サービスの仕組みを検討する
	２）地域介護予防活動支援の充実	市−２ 市−４ 業務ﾁｪｯｸ	a.既存の集いの場の維持・発展に向けて、後方支援を継続する
		市−２ 市−４ 業務ﾁｪｯｸ	b.地域の誰もが参加しやすい場所へ集いの場を拡大していく
	３）安心して暮らせるまちづくり	市−３ 業務ﾁｪｯｸ	a.認知症のある人への地域の理解を深めるため、銀行や郵便局・商店などへ地域包括支援センターの周知と普及啓発をすすめる
		市−３ 市−４ 業務ﾁｪｯｸ	b.一人暮らしや身寄りのない世帯、成年後見制度が必要な高齢者の増加が見込まれるため、市民や関係機関などへ周知をすすめる
		市−５	c.市と協働して、地域包括支援センターとして実効的なＢＣＰ(事業継続計画)を確立する

【凡例】

市－１　：市 重点施策　（１）地域共生社会の実現

市－２　：市 重点施策　（２）介護予防・健康づくり施策の充実・推進

市－３　：市 重点施策　（３）認知症施策推進大綱を踏まえた認知症施策の推進

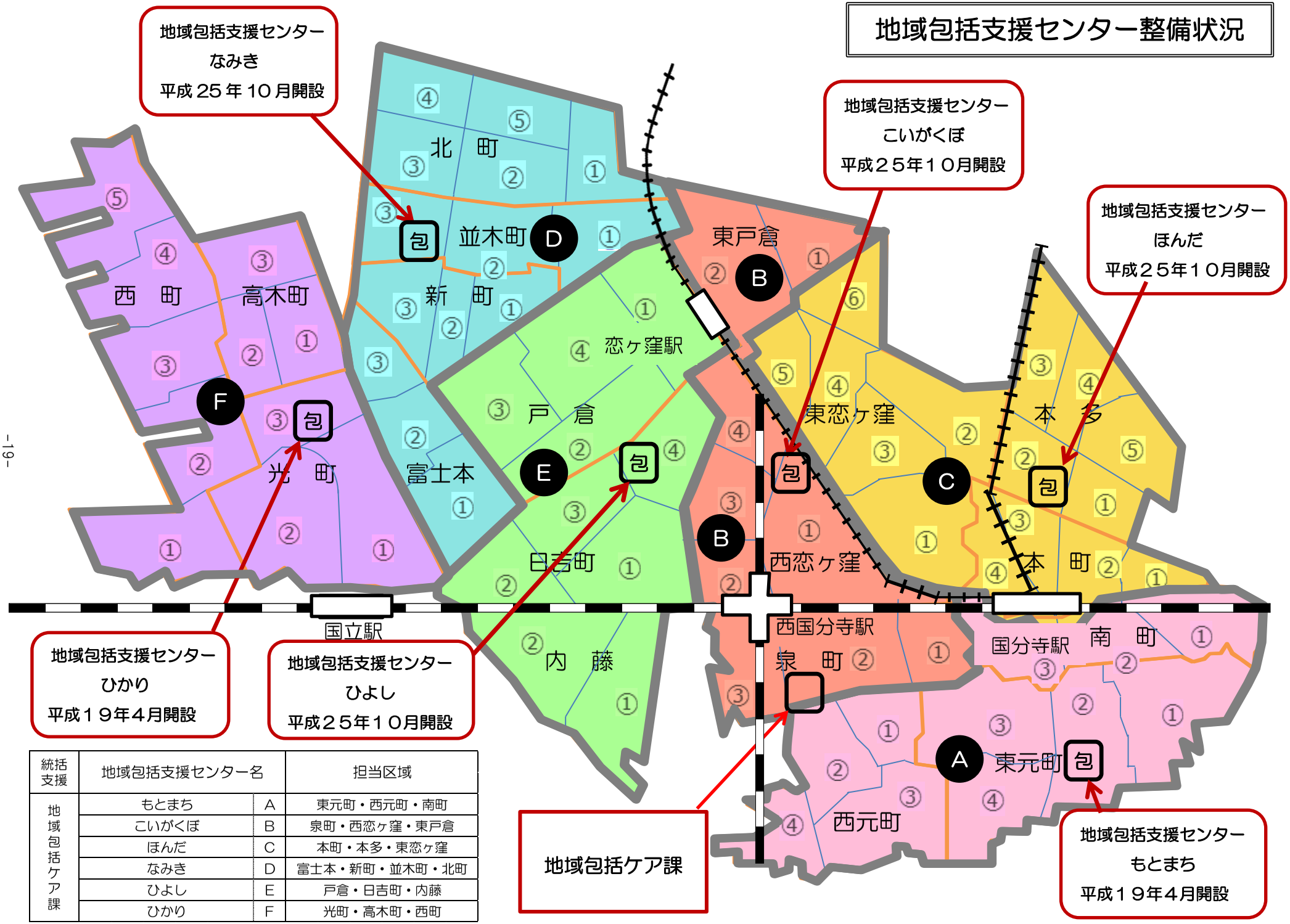
市－４　：市 重点施策　（４）地域包括ケアシステムを支える人材の確保及び介護現場の生産性の向上の推進

市－５　：市 重点施策　（５）災害や感染症対策に係る体制整備

業務チェック：前年度業務チェック票　『④次年度取り組みたい項目』

センター独自：上記以外でセンターが独自に取り組む項目

地域包括支援センター整備状況



統括支援	地域包括支援センター名		担当区域
地域包括ケア課	もとまち	A	東元町・西元町・南町
	こいがくぼ	B	泉町・西恋ヶ窪・東戸倉
	ほんだ	C	本町・本多・東恋ヶ窪
	なみき	D	富士本・新町・並木町・北町
	ひよし	E	戸倉・日吉町・内藤
	ひかり	F	光町・高木町・西町

■令和8年度 市内地域包括支援体制及び担当区域

地域包括ケア課

統括支援	ブロック	地域包括支援センター	担当区域				区域内訳				
			人口	高齢者人口	高齢化率	面積(㎢)	町名	人口	高齢者人口	高齢化率	面積(㎢)
地域包括ケア課	東部地域	もとまち	21,445	4,919	22.9%	1.93	東元町	10,032	2,382	23.7%	0.88
							西元町	4,140	985	23.8%	0.62
							南町	7,273	1,552	21.3%	0.43
		こいがくぼ	19,924	4,492	22.5%	1.58	泉町	9,445	2,203	23.3%	0.50
							西恋ヶ窪	6,579	1,428	21.7%	0.70
							東戸倉	3,900	861	22.1%	0.38
		ほんだ	31,004	5,952	19.2%	2.03	本町	6,902	1,253	18.2%	0.36
							本多	9,292	1,950	21.0%	0.65
							東恋ヶ窪	14,810	2,749	18.6%	1.02
	西部地域	なみき	15,641	3,780	24.2%	1.81	富士本	4,820	1,326	27.5%	0.39
							新町	3,894	895	23.0%	0.31
							並木町	3,278	657	20.0%	0.48
							北町	3,649	902	24.7%	0.63
		ひよし	22,171	5,111	23.1%	2.06	戸倉	8,452	2,109	25.0%	0.89
							日吉町	8,626	1,879	21.8%	0.79
							内藤	5,093	1,123	22.0%	0.38
		ひかり	20,421	4,903	24.0%	2.05	光町	6,638	1,398	21.1%	0.74
							高木町	3,207	793	24.7%	0.35
							西町	10,576	2,712	25.6%	0.96
1	2	6	130,606	29,157	22.3%	11.46	注）人口は令和8年4月1日現在				



©ホッチプロジェクト